平成21年度

年　　報

平成25年8月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目　　次

1. 保健学部門の活動　・・・・・・　2

2. 各分野の活動

2-1. 分野の活動：看護学分野　・・・　7

2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野　・・・　１１

2-3. 分野の活動：検査技術科学分野　・・・　１４

3. 教員の活動

3-1. 教員の活動：看護学分野　・・・　１７

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野　・・・　７１

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野　・・・　１００

4. 教員組織および委員会一覧　・・・　１１６

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年5月1日	九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会および九州大学医系地区部局臨床試験倫理審査委員会の設置	これまでの九州大学医学研究院等倫理委員会規程が廃止され、これまでの５つ専門委員会が廃止となった。また、新たに倫理審査委員会規定が制定され、以下の4つの委員会が設置された。 1. 九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会 2. 九州大学医系地区部局ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会 3. 九州大学医系地区部局ヒトＥＳ細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会	保健学部門会議　議事録
平成21年5月13日	副部門長に関する申し合わせ、の承認	副部門長に関する申し合わせ（案）を承認し、副部門長の一名を部門長の職務執行者に指名した	保健学部門会議　議事録
	第二期中期目標・中期計画を策定した		保健学部門会議　議事録
平成21年9月16日	授業料未納者の取扱い指針の決定	授業料未納者に対し、財務部の最終支払期限（９月末)までに支払えない場合は、おおむね一ヶ月以内の何日に支払うかを確認した上、同時に、当日までに必ず支払うことの確約を取り、確約日までに支払われない場合には、除籍とすることを指針として対応することとした。	学生委員会　議事録
平成21年9月	新型インフルエンザによる休校・学級閉鎖等に関する指針の策定	新型インフルエンザによる休校・学級閉鎖等について、欠席者が２割を超える状況になった場合に、実施することに決定した。	保健学専攻会議・保健学科会議　議事録
平成21年10月26日	医学系学府保健学専攻博士課程　設置記念式典	博士後期課程設置記念行事として、記念講演会、記念式典ならびに祝賀会を開催した。 講演会講師：佐藤裕先生（日本医史学会・誠心会井上病院）、渡部廉弘氏（文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐） 会場：コラボステーションⅠ 参加者：106名	博士後期課程設置記念式典・祝賀会プログラム
平成22年1月6日	部門長選挙の実施	加来恒壽教授（現部門長）を次期部門長に選出した。任期は平成22-23年度の予定）	保健学部門会議　議事録
平成22年1月6日	保健学科社会人入試の廃止	保健学科社会人入試を平成24年度（平成23年度実施分）より廃止することを要望することを決定した。	保健学専攻会議・保健学科会議　議事録 入試実施委員会議事録
平成22年1月13日	入学者受入方針（アドミッションポリシー）の明確化	入学者受入方針（アドミッションポリシー）の明確化を行った。	入試実施委員会議事録
平成22年3月	大学院修士課程の自己点検評価および外部評価の実施	平成19年に設置された大学院修士課程の自己点検評価および外部評価を実施した。この結果を「外部評価報告書、自己点検・評価報告書」としてまとめた。	大学院修士課程外部評価報告書、自己点検・評価報告書
平成22年3月3日	大学院修士課程の指導および審査体制の変更について	大学院修士課程の指導教員として准教授を認めた。また、審査および最終試験について准教授を副査に認めた。	保健学部門会議　議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月7日	学部入学式	新入生143名（看護:73、放射:36、検査:34）が入学した。	保健学科　学年暦
平成21年4月9日	大学院入学式	修士21名（看護:8、医用量子:7、検査技術:6）、博士11名（看護:7、医療技術:4）が入学した。 博士課程は1期生の入学である。	保健学専攻　学年暦
平成21年4月25日、26日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が1泊2日の合宿研修を福岡県立社会教育総合研修センター（糟屋郡篠栗町）にて行った。	学生委員会　議事録
平成21年6月12日	就職セミナー	参加：３年生134名 会場：コラボステーションⅠ 福岡県若者しごとサポートセンターから講師を招き、三専攻合同での研修会を開催した。	学生委員会　議事録
平成21年8月10日	保健学部門FD	「学内におけるハラスメント問題を考える：教員と学生の関係から」 参加者：46名 ハラスメントについて、基礎的な観点、九大の調査結果、リーダーシップ論が展開された。さらに実際の事例の紹介をもとに、意見交換を行った。	保健学部門FD報告書
平成21年8月28日	修士課程入学試験		保健学専攻　学年暦
平成21年8月31日	博士課程入学試験（秋）		保健学専攻　学年暦
平成21年10月13日	博士課程入学試験（春）		保健学専攻　学年暦
平成21年11月14日	入学者選抜個別学力検査（社会人）		保健学科　学年暦
平成22年1月16日、17日	大学入試センター試験		保健学科　学年暦
平成22年1月23日	入学者選抜個別学力検査（AOⅡ）		保健学科　学年暦
平成22年2月19日	就職セミナー	参加：３年生91名（放射、検査） 会場：5番講義室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会　議事録
平成22年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査（前期）		保健学科　学年暦
平成22年2月25日、26日、27日	入学者選抜個別学力検査（帰国子女・私費外国人）		保健学科　学年暦
平成22年3月8日	博士課程追加入学試験		保健学専攻　学年暦
平成22年3月25日	卒業式・学位記授与式	学士141名（看護:76、放射:29、検査:36） 修士 22名（看護: 9、量子: 8、検査: 5）	保健学専攻　学年暦 保健学科　学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
	教育の質向上支援プログラム(EEP H21-22)による教員の海外派遣	4名の教員をタイ、米国に派遣した。 タイ：末次典恵助教（8月25日-9月8日） 米国：杜下淳次教授（1月27日-2月20日）、中尾富士子講師（2月15日-3月13日）、藤本秀士教授（2月24日-3月19日） 4名の教員を国内（奈良先端科学センター）で開催された国際FDワークショップに派遣した。：豊福不可依教授、有村秀孝准教授、藪内英剛准教授、熊澤誠志講師	保健学部門会議　議事録 教育の質向上支援プログラム(EEP)　成果報告書
平成21年10月15日～平成22年9月22日	若手研究者交流支援事業～東アジア首脳会議参加国からの招へい～平成21年度第2回	東アジア大学連携による先端血液学研究者育成プログラム（コーディネータ：梅村　創）	若手研究者交流支援事業～東アジア首脳会議参加国からの招へい～平成21年度報告書
平成21年11月18日	保健学国際フォーラム	会場：コラボステーションⅠ 講演会「韓国と日本における保健学教育と研究」Prof Kyung Rim Shin (Ewha Woman Univ), Prof Jung Min Kim (Korea Univ), Prof Kyung Jin Cho (Korea Univ), Prof Etsuko Kita (Japanese Red Cross Kyushu Int College of Nursing) 他、分野別学生交流会	保健学国際フォーラム　プログラム

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年8月7日	オープンキャンパス	将来に受験を考えている高校生を対象にオープンキャンパスを開催した。参加者1,050名。 全体説明会：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館にて、専攻ごとに展示・体験コーナー・相談窓口などを企画した。	学生委員会　議事録
平成21年8月8日	大学院説明会	大学院受験希望者を対象に、大学院の概要についての説明会を再際した。	保健学部門会議　議事録 入試実施委員会　議事録
平成21年9月26日	保健学公開講座	会場：コラボステーションⅠ テーマ：メタボリック症候群の征圧に向けて （3）地域で予防するメタボリック症候群 「地域で支える私の健康：地域づくりは健康づくり、地域健康づくり活動の効果」前野有佳里助教、「特定健診（メタボ健診）をどのように理解すべきか？ その現状と課題」小池城司 福岡市健康づくり財団、「3年間のメタボリック症候群公開講座をふりかえって」樗木晶子教授 参加者：72名	保健学公開講座　プログラム
平成21年10月3日	文部科学省大学教育改革支援事業「質の高い大学教育推進プログラム」による講演会の開催	第2回「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」　記念講演会 会場：アクロス福岡　国際会議場 「メンタルクリニックの現場から」帚木蓬生先生	記念講演会プログラム 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」取組成果報告書
	高校・小学校への出前講義を実施した。	10月23日：東筑高校（長家智子准教授） 12月11日：明善高校（大澤進教授） 1月13日：香住丘小学校（樗木晶子教授、小坂克子教授）	学生係　記録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年～22年度	文部科学省大学教育改革支援事業「質の高い大学教育推進プログラム」 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」	平成20年から3年間の予定で採択された。今年度が2年目である。文部科学省より平成20年度は2000万円、平成21年度は1900万円の補助金を受けた。同時に本事業に対して九州大学より戦略的教育ＧＰ支援事業デュアルサポート経費として平成20年度500万円、平成21年度は300万円の支援を受けた。	保健学部門会議資料 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」報告書
平成21年～22年度	教育の質向上支援プログラム(EEP) 「保健学リーダー養成海外FDプログラム」	平成21年、22年の2年間の予定で採択された。今年度が1年目である。経費400万円/2年（うち部局負担200万円）	教育の質向上支援プログラム(EEP)　成果報告書
平成21年～25年度	文部科学省大学改革推進事業「看護職キャリアシステム構築プラン」 「看護実践力ブロッサム開花プロジェクト」	九州大学病院看護部との共同で、平成21年から5年間の予定で採択された。今年度が1年目。 九州大学病院看護部と連携し、教育プログラムや教育体制を開発整備することで看護学生の看護実践能力の質を保証し、看護職員の質の持続的な向上を図り、将来に向けたキャリアパスを構築することを目的とする。	保健学部門会議資料 「看護実践力ブロッサム開花プロジェクト」報告書
平成19年～23年度	九州がんプロフェッショナル養成プラン（大学改革推進等補助金）	文部科学省の「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」で選定され、九州におけるがん医療に関する指導者リーダを養成し，がん医療の均てん化を図る取組。がん専門看護師、医学物理士、細胞検査士の育成を行うとともに、シンポジウム等を開催。平成21年度は各コースで計10名（2名、7名、1名）を受入れ，計10名（0名、8名、2名）が修了、計3名（0名、1名、2名）が合格した。	保健学部門会議資料 http://www.k-ganpro.com/html/9_topics/img/file4.pdf
平成21年	保健学科本館のトイレ改修工事の実施	保健学科本館のトイレ改修工事を実施した。	保健学部門会議資料 施設委員会議事録
平成21年	名誉教授の選出	定年退職する岡村建教授（検査技術科学分野）が名誉教授に推薦され、教育研究評議会（全学）で決定された。	保健学部門会議資料

2. 各分野の活動

◇ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月15日 平成21年5月27日 平成21年6月17日 平成21年7月15日 平成21年9月9日 平成21年10月14日 平成21年11月26日 平成21年12月15日 平成22年1月28日 平成22年2月18日 平成22年3月23日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成21年4月	がん看護専門看護師コース開設	大学院修士課程にがん看護専門看護師コースを開設し、2名の学生が入学した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1)学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月	学部生（第7期）の入学	担任：鳩野洋子教授、藤野成美講師、中尾富士子講師、末次美子助教	分野会議議事録
平成22年2月9日	看護学専攻FD	テーマ「看護教育に活かすPBL」 講師：山岡章浩先生 本学医学教育部門 内容：講演、グループワーク	平成21年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2)実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月9日 平成21年5月25日 平成21年6月24日 平成21年7月28日 平成21年9月9日 平成21年10月14日 平成21年11月11日 平成21年12月9日 平成22年1月13日 平成22年2月17日 平成22年3月17日	実習委員会（科目担当責任代表者実習委員会）	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する検討会を開催した。	実習委員会議事録
平成21年 通年	臨地実習に関する説明会 （九大病院以外の病院、自治体、機関、施設など）	看護学専攻3,4年生の老年看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習、地域看護学実習、助産学実習の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項、実習委員会議事録
平成21年4月24日 平成21年7月1日 平成21年12月2日	福岡県地域看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	実習委員会議事録
平成21年	九大病院実習指導者への委嘱	九大病院看護部の実習指導者に医学研究院から実習指導者としての委嘱が行われるようになった。	
平成21年5月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項、実習委員会議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年9月10日	病院実習連絡会議(九州大学病院)	九州大学病院において実施する看護学専攻の全ての臨地実習に関して、看護部長、副看護部長、全看護師長、全臨床実習指導者および看護分野教員との連絡会議を行った。	実習連絡会議議事録
平成21年11月9日	地域看護連絡協議会ブロック会議	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、市町村保健師主催の協議会に出席し、実習説明並びに実習への協力依頼を行った。	実習委員会議事録

2. 教育活動 3)選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年8月24日	助産師課程選抜試験	助産師課程を志願する看護学専攻3年生に対して、選抜試験が行われた。	分野会議議事録

2. 教育活動 4)研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年10月-11月	講座別　卒業研究中間発表会	看護学専攻４年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成21年12月21日	卒業研究発表会	看護学専攻4年生全員が、卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集
平成21年9月7日	修士課程　看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5)国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年9月 -平成22年1月	国家試験学内模擬試験（看護師5回、保健師2回）	医学部保健学科看護学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	看護分野会議議事録
平成22年1月	助産師国家試験学内模擬試験	看護学専攻4年生助産師教育課程選択学生を対象に助産師国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成22年2月	第98回看護師国家試験、第95回保健師国家試験、第92回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試験96.1%、保健師国家試験96.1%、助産師国家試験70%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月18日 -5月30日	留学生の受け入れ	看護研究の調査支援のため、研究室に受け入れた。チューレー和田氏:スウェーデン・ウプサラ大学生)	分野会議議事録
平成21年11月18日	第5回九州大学保健学国際フォーラム	国際フォーラム演者のProf Kyung Rim Shin (Ewha Woman Univ)を招待し、講演、交流を行った。	国際フォーラム資料

4. 社会連携 1)人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年度人事交流 通年	看護実践力ブロッサム開花プロジェクト・実習指導要項開発プログラム（毎月）・新人看護師育成プログラム(毎月)	文部科学省大学改革推進事業「看護職キャリアシステム構築プラン、看護実践力ブロッサム開花プロジェクト」への情報提供、指導、助言を行った。（川本教授、大池教授、中尾(富)講師、藤野講師、末次(美)助教、宮園助教）	看護実践力ブロッサム開花プロジェクト報告書
平成21年　12回/年	九州大学病院 実習指導者研修会	臨地実習指導における目的、方法、評価及び指導者と教員の役割等について毎月講師を派遣し教育を行った。（臨床看護：川本教授他3名）（地域看護：鳩野教授他１名）	九州大学病院実習指導者研修会資料
平成21年 通年	福岡県専任教員養成講習会	専任教員養成課程の講義・演習を行った。	福岡県専任教員養成講習会資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年5月23日	平成21年度 日本看護系大学協議会総会	東京で開催された日本看護系大学協議会総会に出席し、協議会の活動や各委員会会の取組みについて協議を行った。	分野会議議事録
平成21年6月	通算45回全国助産師教育協議会	助産師教員のコアコンペテンシーズの検討と協議会の将来構想案の検討を行った。教員・臨床指導者研修会の協力ファシリテータが地区別にリストされた。	分野会議議事録
平成21年6月1日	国立大学保健医療学系代表者協議会	金沢で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席し、看護師等の養成教育4年制化や大学院についての協議を行った。	分野会議議事録
平成21年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：看護基礎教育検討委員会	看護基礎教育検討委員会委員として、基礎教育の課題と取組みに関してをメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成21年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：大学院教育検討委員会	大学院教育検討委員会委員として、大学院教育の充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成21年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会：組織検討委員会	組織検討委員会委員として、大学教育の整備および充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成21年７月2日-3日	全国国立大学法人助産師教育専任教員会議	第55回全国国立大学法人助産師教育専任教員会議を開催当番校として担当し、百年講堂にて開催した。	分野会議議事録
平成21年8月1日-2日	全国保健師教育機関協議会総会、および研修会	東京で開催された総会め研修会に出席した。総会では.協議会運営のあり方、保健師教育のあり方について協議を行った。	分野会議議事録
平成21年8月18日	平成21年度全国助産師協議会　九州・沖縄地区研修会(長崎)	九州・沖縄地区の学校の情報交換と議題の協議を行った。①保助看法一部変更に伴う今後の教育形態の方向性について」、「②継続事例実習の取り組みについて」「厚生労働省看護職員確保対策特別事業の国庫補助について」などが協議された。	分野会議議事録
平成21年8月20日-21日	第21回全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会	佐賀市にて開催された協議会に出席し、保健師教育のあり方について検討を行った。	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年10月13日-15日	平成21年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された看護学教育ワークショップに出席し、「大学教育におけるカリキュラム検討の動向の講演」の後、GWを行った。	分野会議議事録
平成22年1月7日	平成21年度 日本看護系大学協議会臨時総会	福島で行われた臨時総会に出席した。日本看護系大学協議会の法人化について協議を行った。	分野会議議事録
平成21年2月19日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック第2回研修会	九州大学で開催された第2回の研修会に参加し、今後必要とされる保健師活動と保健師教育をテーマに検討した。また運営協力を行った。	分野会議議事録

4．社会連携　3)公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年9月26日	九州大学医学部保健学科公開講座「」講演	地域住民の方を対象にテーマ「メタボリック症候群の制圧にむけて（３）－地域で予防するメタボリック症候群－」の講演を実施した。 講師：樗木教授、前野助教	公開講座資料

4．社会連携　4)がんプロフェッショナル要請プラン

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月27日	平成21年度第1回がん看護プロフェッショナル 教育セミナー	がん看護プロフェッショナルセミナーで「がん看護専門看護師教育の現状と課題」について講演した。 講師：大池教授	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ
平成21年6月19日	九州がんプロフェッショナル養成プラン	九州がんプロフェッショナル養成協議会に参加し、意見交換と看護師系作業部会について報告した。	九州がんプロフェッショナル養成協議会議事録
平成21年9月28日	九州大学がんセミナー	テーマ：「臨床の知－看護師が臨床で用いる知knowl sdgeについて－」 講師：東京女子医科大学 佐藤教授	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ
平成22年 1月7日-1月8日	大学教育改革プログラム合同フォーラム	平成21年大学教育改革プログラム 合同フォーラムに参加し、がん看護教育課程に関する意見交換を行った。	九州がんプロ養成基盤推進プランホームページ

5．その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年9月12日-13日	第76回日本応用心理学会年次大会	病院キャンパス内で年次大会を開催した（大会長：川本教授）。	日本応用心理学会誌

◇ 医用量子線科学分野の活動 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月2日 平成21年5月14日 平成21年6月4日 平成21年7月1日 平成21年9月2日 平成21年10月8日 平成21年11月5日 平成21年12月8日 平成22年1月6日 平成22年2月4日 平成22年3月9日	医用量子線科学分野分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成22年2月15日	東田善治教授の最終講義	3月末日で定年退職する東田善治教授の最終講義を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月7日	学部生（第7期）の入学	主担任：小坂克子、副担任：赤坂勉	学生便覧 分野会議議事録
平成21年4月14日 平成21年11月19日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、実習施設3か所の指導者による検討会を行った。	臨地実習打合せ会議議事録
平成21年5月18日 平成21年11月11日 平成22年1月7日 平成22年2月3日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成21年8月6日	修士課程　中間発表会	修士課程大学院生8名の研究の進捗状況について発表会を行った。	分野会議議事録
平成21年8月12日	学生懇親ソフトボール大会	学部1～４年生、大学院生の合計40名が参加し、病院地区グラウンドにおいてソフトボールを通じて懇親を深めた。	分野会議議事録
平成21年9月24日 ～25日	九重合宿研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と教員がともに1泊2日の研修を行った。	分野会議議事録
平成21年12月10日 ～11日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
平成22年2月22日	九州電力玄海原子力発電所見学	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生が九州電力玄海原子力発電所見学を行った。	分野会議議事録
平成22年2月24日 、25日	先端技術セミナー	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った（4社）。	分野会議議事録
平成22年3月31日	第62回診療放射線技師国家試験	新卒者29名中27名、既卒者1名中0名が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月20日	海外特別講演会	″Computer-Aided Diagnosis in Breast Tomosynthesis and Chest CT″ University of Michigan, Professor Heang-Ping Chan	分野会議議事録

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年11月16日	高麗大学より教員と学生が来学	高麗大学より金正敏教授と学生2名が来学し、共同研究や今後の交流について検討した。	分野会議議事録
平成22年3月17-19日	教育の質向上支援プログラム(EEP)による教員の海外FDへの派遣	カリフォルニア大学デービス校Teaching Resources Centerが実施している研修プログラムに教員を派遣した。 参加者：豊福・藪内・有村・熊澤 会場：奈良先端科学センター	分野会議議事録

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年7月2日	第10回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	東京都にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。 参加：東田教授、平田教授	分野会議議事録
平成21年7月3日	第54回全国診療放射線技師教育施設協議会	東京都にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。 参加：東田教授、平田教授	分野会議議事録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年7月17日	医用量子線セミナー第1回	「分かり易いニューラルネットと医用画像処理応用」 鈴木賢治先生（シカゴ大学)	分野会議議事録 医用量子線セミナープログラム
平成21年11月	放射線取扱主任者試験第一種国家試験	合格者 ３年生：5名 ４年生：7名 卒業生：5名	官報
平成21年11月	医学物理士試験	1名が合格した。	分野会議議事録 http://www.k-ganpro.com/html/9_topics/img/file4.pdf
平成21年11月21日22日	第4回九州放射線医療技術学術大会における学生の発表	会場：沖縄コンベンションセンター 学部生：13名 院生：1名	学会抄録集
平成21年度	学生筆頭論文数	原著論文：5編（英文4編） 国際会議報告：4編（英文1編） ＊卒業生は在籍時の研究内容についての論文に限る。	

6. 特筆すべき実績、受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年4月19日	第66回 日本放射線技術学会　総会学術大会	大会長賞（杜下淳次）	学会抄録集
平成21年4月19日	第66回 日本放射線技術学会　総会学術大会	座長推薦優秀研究発表賞（高橋慶多）	学会抄録集
平成21年4月19日	第66回 日本放射線技術学会　総会学術大会	学生賞（高橋慶多）	学会抄録集

7. 大型設備・機器の整備

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年3月	医用量子線科学	フラットパネルデテクタ(富士メディカル：DR CALNEO-MT)	
平成22年3月	医用量子線科学	CR装置（富士メディカル：FCR XL-2)	
平成22年3月	医用量子線科学	核医学画像診断システム（GE Advantage WS, Siemence esoft WS)	

◇ 検査技術科学分野の活動 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年 4月15日 平成21年 5月13日 平成21年 6月3日 平成21年 7月1日 平成21年 9月2日 平成21年10月13日 平成21年11月04日 平成21年12月17日 平成22年 1月13日 平成22年 2月3日 平成22年 3月3日	検査技術科学分野分野会議	分野全員の参加による、分野の運営に関する検討会を開催した	各回議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年 9月14日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、九州大学病院検査部担当者と情報交換会を行った。	議事録
平成21年10月17日 平成21年12月12日 平成22年 2月 6日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	国家試験模擬試験
平成21年 7月24日	卒業研究　中間評価	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生を対象に卒業研究の進捗状況についての評価を行った。	卒業研究中間評価
平成21年 9月15日	修士課程　中間発表会	修士課程大学院生 5名の研究進捗状況について発表会を行った。	研究発表会抄録集
平成21年11月11日	研究室紹介	医学部保健学科検査技術科学専攻3年生を対象とした卒業研究に向けての各研究室の詳細について説明会を行った。	各研究室紹介スライド
平成21年12月25日	卒業研究　発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究発表会抄録集

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年5月4日	タイ国マヒドン大学の博士学審査委員会	保健学科に訪問研究者として滞在し共同研究をしたKanitta Surinoun氏の学位審査国外委員、委員長として参加した。（梅村 創 教授）	JSPS拠点形成事業「アジア血液学」成果報告書
平成21年11月18日	第4回九州大学保健学国際フォーラムでの高麗大学との交流	韓国高麗大学校、張教授、Ms.Moonと検査技術科学専攻学生、教員で"Student's Meeting"を開催し交流した。	保健学部門会議資料
平成21年11月24日	JSPS拠点形成事業「アジア血液学」第5回ワークショップ、香港大学、香港	"MicroRNAs in Red Blood Cells, active or inactive?"として研究成果を発表した。（梅村 創 教授）	JSPS拠点形成事業「アジア血液学」成果報告書
平成22年2月10日	タイ国マヒドン大学スータット教授医学系学府保健学専攻修士課程特別講義	講演タイトル：Health care transition in the developing countries in 2010 （梅村 創 教授）	JSPS拠点形成事業「アジア血液学」成果報告書

年月日	事項	活動の概要	資料
平成22年2月24日 -3月19日	教育の質向上支援プログラム(EEP H21-22)による教員の海外派遣	藤本秀士教授を米国に派遣した。	保健学部門会議　議事録 教育の質向上支援プログラム(EEP)　成果報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年5月24日 平成22年3月27日	健康食品管理士九州地区研修会の開催	健康食品管理士の認定するための研修会を九州支部長として大澤 進 教授が開催した。	研修会案内
平成21年7月19日	臨床病理同学院の緊急臨床検査士資格認定試験開催	大澤 進 教授は九州地区試験委員長として緊急臨床検査士資格認定試験を保健学部門校舎で行った。	開催通知案内状
平成21年10月16	サイエンスキャラバン	小島 夫美子講師は”安心安全を科学する”をテーマに開催された九州大学主催のサイエンスキャラバン2009で”さりげなくしたたかに生きる虫”を演題として糸島市民を対象に講演をおこなった。	開催案内ポスター, Web試料
平成21年4月 ～平成22年3月	NHK福岡放送局健康番組「きらり☆おやじ塾」企画	梅村 創 教授は市民の健康管理に関わる番組制作に参加した。	九州大学教員データベース

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

≪基礎看護≫

教授	大池　美也子
教授	北原　悦子
准教授	長家　智子
准教授	原田　博子
講師	丸山　マサ美
助教	末次　典恵
助教	道面　千惠子　(H.21 育児休業中)
助教	松木　美奈子　(育休代理教員)

1. 教育活動

1. 大学院講義

大池美也子

コンサルテーション論(分担)	前期
がん看護特論(分担)	前期
看護学研究方法論Ⅱ(分担)	前期
看護教育論(分担)	前期
看護教育方法開発学Ⅰ(分担)	前期

北原悦子

基礎看護学特論Ⅲ (分担)	前期
国際社会とチーム医療 (分担)	前期

長家智子

基礎看護学特論Ⅰ (分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ (分担)	後期
看護教育論(分担)	前期
看護教育方法開発学Ⅰ (分担)	後期

丸山マサ美

医療と生命倫理(分担)	後期

2. 大学院実験・実習　なし

3. 大学院演習

大池美也子

基礎看護学特論Ⅲ(分担)	前期
がん看護演習Ⅱ(分担)	後期
がん看護演習Ⅲ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅰ(分担)	後期
基礎看護学特論Ⅱ(分担)	後期

北原悦子

基礎看護学特論Ⅲ (分担)	前期
基礎看護学特論Ⅰ (分担)	後期

基礎看護学特論Ⅱ（分担）　後期

長家智子

基礎看護学特論Ⅲ（分担）　前期

基礎看護学特論Ⅰ（分担）　後期

基礎看護学特論Ⅱ（分担）　後期

4. 大学院修士課程修了者

高木亜希子	看護系5年一貫教育課程における生徒の就学継続に関する現状ーフォーカスグループインタビューによる調査からー
青木芳恵	緩和ケア病棟における看護師のプレゼンスに関する質的研究ー現象学的アプローチによる患者に関わる場面の分析からー
姫野深雪	がん患者の身体の志向性に関する質的研究ー外科的治療法を受けた卵巣がん患者の体験に焦点を当ててー

5. 大学院博士課程修了者　なし

6. 学部講義

大池美也子　前期

生活環境とコミュニケーション（分担）　前期

看護理論（分担）　前期

生活援助技術（分担）　前期

症状ケア技術（分担）　後期

卒業研究　後期

北原悦子

生活環境とコミュニケーション（分担）　前期

看護管理（分担）　後期

看護における教育と管理（分担）　前期

生活援助技術（分担）　前期

症状ケア技術（分担）　後期

卒業研究　後期

長家智子

生活環境とコミュニケーション（分担）　前期

看護過程論　後期

看護における教育と管理　前期

感染看護学　後期

生活援助技術（分担）　前期

症状ケア技術（分担）　後期

卒業研究　後期

原田博子

症状ケア技術（分担）　後期

丸山マサ美

生活援助技術（分担）　前期

症状ケア技術（分担）　後期

卒業研究　後期

末次典恵

生活援助技術（分担）	前期
症状ケア技術（分担）	後期
卒業研究	後期

松木美奈子

生活援助技術（分担）	前期
症状ケア技術（分担）	後期
卒業研究	後期

7. 学部の実験・実習・演習

大池美也子

生活環境とコミュニケーション（分担）	前期
生活援助技術（分担）	前期
症状ケア技術（分担）	後期
基礎看護学実習Ⅰ	前期
基礎看護学実習Ⅱ	後期

北原悦子

生活環境とコミュニケーション（分担）	前期
生活援助技術（分担）	前期
症状ケア技術（分担）	後期
基礎看護学実習Ⅰ	前期
基礎看護学実習Ⅱ	後期

長家智子

生活環境とコミュニケーション（分担）	前期
生活援助技術（分担）	前期
症状ケア技術（分担）	後期
基礎看護学実習Ⅰ	前期
基礎看護学実習Ⅱ	後期

原田博子

基礎看護学実習Ⅱ（分担）	後期
症状ケア技術（分担）	後期

丸山マサ美

生活援助技術（分担）	前期
症状ケア技術（分担）	後期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	前期
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	後期

末次典恵

生活環境とコミュニケーション（分担）	前期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	前期
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	後期

松木美奈子

生活環境とコミュニケーション（分担）	前期
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	前期
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	後期

8. 卒業論文作成者

斉藤友子	ハンガリーの自殺予防対策の現状ーインタビューと文献からー
成尾真希	救急看護の現場で働く看護師の死生観に関する研究
渕上愛	看護師が患者に対して用いるユーモアの文献検討
和田衣未	糖尿病患者に対する患者教育の方法に関する文献検討
太田亮子	新人看護師の離職の要因および辞めない理由と新人看護師研修の実態
白水彩乃	自然災害時の避難所における被災高齢者の生活に影響する要因
壱岐弘恵	がん患者の死の不安に関する看護の文献検討
宮原佑里恵	患者がとらえる看護学生に対する意識の検討
梅北幸子	食道がん患者の闘病記からの看護の視点―食べられる・食べられない思いに焦点をあててー
岡優子	認知症患者に対する効果的な関わり方についての文献検討
平野藍	終末期がん患者に対する看護師の関わり方についての文献検討
大神奈緒	看護の専門性に関する日米比較ー職務満足度に焦点を当ててtー
田淵綾	韓国人学生の文化を考慮した看護ー日本と韓国の文献比較を通してー
笠輝明	日本における脳死下臓器移植に関する文献研究
姫野梓	患者・患者家族・看護師が満足するケアの評価に関する研究
前田恵美子	一般病棟における成人・老年患者のストレス要因に関する文献検討

9. 研究生　なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導　なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	患者教育におけるナラテイブ・アプローチの構築	大池
2	看護学基礎教育における e-Learning 教材の開発	大池
3	患者教育における看護師の教育的かかわりモデルの開発と検証	大池
4	看護学生・看護職の道徳的感性の育成と実態に関する研究	北原
5	看護関連法令・法制度に関する研究	北原
6	災害看護学の教育に関する研究	北原
7	基礎看護教育における教育方法の開発	長家
8	PCI 術後患者の QOL と自己管理行動，心理・社会的側面の関連性	長家
9	基礎看護学教育における看護診断・看護過程の教育効果に関する研究	長家
10	看護基礎教育におけるICT教材の開発と活用に関する研究	長家
11	死生観の国際比較研究	丸山
12	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

大池美也子

- 「基盤研究(A)」「看護の教育的関わりモデル」を活用したアクションリサーチとモデルによる介入効果，（連携）．
- 「基盤研究(C)」フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発，（連携）．
- 「基盤研究(C)」新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築，（分担）．

北原悦子

- 「基盤研究(C)」看護実践能力育成に向けた WBT 教材の開発と活用に関する研，（分担）．
- 「基盤研究(C)」フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発，（分担）．
- 「基盤研究(C)」新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築 ，（分担）．

長家智子

- 「基盤研究(C)」看護実践能力育成に向けた WBT 教材の開発と活用に関する研究，（代表）．
- 「基盤研究(C)」フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発，（連携）．
- 「基盤研究(C)」新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築，（分担）．

末次典恵

- 「基盤研究(C)」フィジカルアセスメント実践能力強化のための教材プログラムの開発，（代表）．
- 「基盤研究(C)」看護実践能力育成に向けた WBT 教材の開発と活用に関する研究，（分担）
- 「基盤研究(C)」新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築，（分担）．

3. 学内研究経費の受け入れ

北原悦子

- 「質の高い大学教育推進プログラム」生活援助技術・症状ケア技術に関する看**護技術教育教材作成，（代表）**．

末次典恵

- 「質の高い大学教育推進プログラム」生活援助技術・症状ケア技術に関する看護技術教育教材作成，（分担）．

4. 奨学寄附金の受入れ　なし

5. その他の外部資金の受入れ　なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ　なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 増本舞，濱梨恵子，伊崎啓子，大池美也子：卒後2年目看護師の自律性とその影響要因，第 40 回日本看護学会論文集(看護教育)，2010 年 02 月．

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kikuko Taketomi, Miyako Oike：Preceptors’experiences guiding preceptees， The 1st International Nursing Research Conference of， 2009 年 09 月 01 日， Japan.
- Tomoko Nagaie, Norie Suetsugu, Miyako Oike, Etsuko Kitahara, Masafumi Ohki：A study of coordinated system utilizing WBT， The Collaborative Meetings on Health Infomatics In hiroshima ， 2009 年 11 月 23 日， Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌

- 高木亜希子, 大池美也子, 長家智子: 五年一貫教育課程における看護教員の現状と課題, 九州大学教育社会学研究集録, 2010 年 03 月.

d. 調査研究報告

- 原田広枝, 大池美也子, 北原悦子, 中嶋美恵子, 吉川千鶴子, 須崎しのぶ, 山下千波, 川口賀津子: 平成20～23年度 科学研究補助金基盤研究 C (課題番号 20595290) 「新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築」研究成果中間報告書, 2010 年 03 月.
- 北原悦子, 大池美也子, 長家智子, 末次典恵, 大喜雅文 (取組推進担当者代表): 文部科学省 平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム」 医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育 平成20・21年度取り組み成果報告書, p38～39, 2010 年 03 月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 隅川左織, 大池美也子: 口唇形成術を受けた口唇口蓋裂児の母親の経験, 日本看護研究学会, 2009 年 08 月 04 日, 横浜.
- 大池美也子, 長者智子, 松木美奈子, 北原悦子, 末次典恵, 丸山マサ美, 木原深雪: 基礎看護学においてPBLを導入した授業の検討, 第 14 回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2009 年 11 月 07 日, 宮崎.
- 須崎しのぶ, 原田広枝, 末次典恵, 長家智子, 北原悦子, 長弘千恵, 山下千波, 川口賀津子, 中嶋恵美子, 吉川千鶴子, 大池美也子: 新卒看護職者の職場適応に関する影響要因(3), 教育担当看護管理者の看護基礎教育期間への要望分析, 第 29 回日本看護科学学会, 2009 年 11 月 27 日, 千葉.
- 山下千波, 原田広枝, 末次典恵, 長家智子, 北原悦子, 長弘千恵, 須崎しのぶ, 川口賀津子, 中島恵美子, 吉川千鶴子, 大池美也子: 新卒看護職者の職場適応に関する影響要因(2), 第 29 回日本看護科学学会, 2009 年 11 月 28 日, 千葉.
- 長家智子, 末次典恵, 大池美也子, 北原悦子: 臨床におけるICT活用教育実施状況と大学との連携の可能性, 第 29 回日本看護科学学会, 2009 年 11 月 28 日, 千葉.
- 河口てる子, 下村裕子, 横山悦子, 安酸史子, 大池美也子, 岡美智代, 近藤ふさえ, 小長谷百絵, 小平京子, 滝口成美, 恩幣宏美, 伊藤ひろみ, 道面千恵子, 丹下幸子:「看護の教育的関わりモデル」を用いたアクションリサーチ:モデル Version 6.1 の概要, 第 29 回日本看護科学学会, 2009 年 11 月 28 日, 千葉.
- 大池美也子, 道面千恵子, 安酸史子, 井上智恵, 林優子, 小林貴子, 長谷川直人, 東めぐみ, 山田栄実, 小田和美, 横山悦子, 下村裕子, 河口てる子:「看護の教育的関わりモデル」を用いたアクションリサーチ:大学研究者からのアクションによる看護師の変化, 第 29 回日本看護科学学会, 2009 年 11 月 28 日, 千葉.
- 永井隆夫, 北原悦子, 永井彩, 和田恵美子, 吉田康志 : 看護師にとってのワーク・ライフ・バランスと多元的人事管理, 第 7 回人材育成学会学術集会. 2009.
- 長家智子, 末次典恵, 大池美也子, 北原悦子:看護実践能力の育成に向けたWBTの活用, 第4回 e 学習理論研究会, 2009 年 05 月 27 日, 福岡.
- 後藤佐知子, 長恵美子, 久保山悠, 羽江彰子, 大池美也子:移行期のがん告知とインフォームドコンセントの現状と課題, 第 24 回日本がん看護学会, 2010 年 02 月 13 日, 静岡.
- 松浦英代 原田博子: 萩地域の DMAT 編成を目指す DIG による災害訓練の実際, 医療マネジメント学会山口地区 , 2009 年 11 月 21 日, 山口県周南市.
- 藪木久恵 品川多美子 河野真理子 宮内美智代 原田博子: タイムマネジメントから考える遅出勤務の導入効果, 医療マネジメント学会山口地区, 2009 年 11 月 21 日, 山口.
- 丸山マサ美, 青山和子, ライダー島崎玲子: 被占領下における九州大学看護学校と教育・病院・行政ーインタビューー証言による検証ー, 日本看護歴史学会, 2009 年 08 月 20 日, 東京.
- 長家智子: 看護診断用語は難しいか, 第 15 回看護診断学会, 2009 年 06 月 28 日, 福岡.

- 本田裕美, 長家智子, 村田節子: 看護学生の思考の特徴からみた強化すべき教授内容, 第 15 回日本看護診断学会, 2009 年 06 月 27 日, 福岡.
- 村田節子, 長家智子, 本田裕美: アセスメント過程における思考の変化要因と指導の方向性, 第 29 回日本看護科学学会, 2009 年 11 月 28 日, 千葉.
- 橋川亜季, 長家智子: 自死遺族の悲嘆とグリーフケア, 第 9 回福岡県看護学会, 2009 年 12 月 05 日, 福岡.
- 濱田汐理, 長家智子: 看護学生の居住形態から見た食生活と健康意識, 第 14 回日本看護研究学会九州・沖縄地方回学術集会, 2009 年 12 月 05 日, 福岡.
- 末次典恵: 静脈血採血における穿刺技術に関する看護系テキスト記述内容の検討, 第 8 回 日本看護技術学会学術集会, 2009 年 09 月 26 日, 旭川.
- 末次典恵, 北原悦子, 大池美也子, 長家智子: フィジカルアセスメント技術教育方法の基礎教育における課題の検討, 第 14 回日本看護研究学会 九州・沖縄地方会学術集会, 2009 年 11 月 07 日, 宮崎.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 高久史麿監修, 大池美也子, 北原悦子, 長家智子, 末次典恵, 道面千恵子, 松木美奈子, 他: (共著) 看護学生とナースのためのベーシックナーシング, メディカルレビュー社, 2010 年 01 月.

b. 総説

- 長家智子, 末次典恵, 大池美也子, 北原悦子: 基礎看護技術の習得に役立つ画像, 看護31(14), 2009 年 11 月 .

c. 解説, 書評など

- 長家智子, 末次典恵, 大池美也子, 北原悦子: e-ラーニングの目的と期待できる効果 教育から学習へのステップ テストコンテンツ, 看護31(14), 2009 年 11 月.
- 長家智子: 看護学生にとっての看護診断用語, 日本看護診断学会誌, 15(1), p.79-83, 2010 年 03 月 .

受賞 報道 なし

4. 産学連携活動

1. **共同研究** なし
2. **受託研究** なし
3. **取得特許** なし
4. **兼業** なし
5. **特記すべきその他の技術相談** なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 大池, マヒドン大学(Thailand), 大学・研究所訪問, 2009 年 04 月～2009 年 04 月 .
- 末次, Faculty of Nursing (at Siriraj), Mahidol University(Thailand), 大学・研究所訪問, 2009 年 08 月～2009 年 09 月.

2. 外国人研究者の受入れ

a. **訪問教授・研究員**　なし

b. **訪問研究者**　なし

留学生の受入れ　なし

学生の海外派遣　なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大池, 教育研究評議会評議員.
- 北原, 学生委員.
- 北原, 学生生活・修学相談室相談員.

2. 部局委員

- 大池, 九州がんプロフェッショナルがん看護師教育課程における看護作業部会代表.
- 大池, 医療系統合教育センター長.
- 長家, 中期計画委員.

3. 部門・コース内委員

- 大池, 入学試験実施委員会.
- 大池, 将来計画点検評価委員会.
- 大池, 実習委員会.
- 長家, 年報副委員長.
- 長家, 卒業研究実行委員.
- 丸山, 年報委員.
- 丸山, 卒業研究委員.
- 末次, 将来計画, 点検・評価委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大池, 九州看護福祉大学, 非常勤講師.
- 北原, 福岡県看護協会, 集中講義.
- 原田, 放送大学非常勤講師.
- 末次, 第一薬科大学, 非常勤講師.
- 末次, 日本赤十字広島看護大学, 集中講義.

2. 学協会

- 大池, 日本看護学研究学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護協会第 41 回日本看護学会(成人看護2)準備委員会(準備委員長), 国内.
- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, 会長, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護科学会誌和文誌, (査読委員), 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 査読委員 (専任査読者), 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 原田, 日本看護倫理学会, 評議員, 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 運営委員 (教育委員会委員・国際学術交流委員会委員), 国内.
- 丸山, 日本看護歴史学会, 理事 (研究推進委員会), 国内.
- 北原, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 北原, 日本看護学教育学会, 査読委員, 国内.
- 北原, 日本看護診断学会 , 評議員, 国内.

- 北原，日本看護学教育学会，査読委員 ，国内.
- 北原，日本看護診断学会，評議員，国内.
- 北原，日本看護学教育学会誌，査読委員 ，国内.
- 道面，日本糖尿病教育看護学会誌，査読委員 ，国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 北原，日本看護診断学会学術集会実行委員（2009年6月　福岡市）.
- 北原，平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」【看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想 戦略企画連携室付き.

5. 公開講座・公開講演会

- 北原，「九州地区看護理論研究会研修「質的研究の基礎2」，の主催」，九州地区看護理論研究会．西南女学院大学（北九州市）九州大学医学部保健学科（福岡市）久留米大学医学部看護学科（久留米市），セミナー・研修会.
- 北原，「福岡県助産師会 「国際助産師の日」の司会進行」，福岡県助産師会．西南女学院大学（北九州市）九州大学医学部保健学科（福岡市）久留米大学医学部看護学科（久留米市），セミナー・研修会.
- 長家，「実習指導者研修会」，福岡県主催．福岡市　ナースプラザ，セミナー・研修会.
- 長家，「福岡県看護協会研修会「看護診断」」，福岡県看護協会．福岡市　ナースプラザ，セミナー・研修会.
- 長家，「「看護診断の基礎」」，福岡県医師会．福岡市　福岡県医師会館，セミナー・研修会.
- 丸山，「医療倫理・患者の権利（総論）」，国立病院機構九州医療センター．福岡市早良区，講演会・公開討論.
- 丸山，「医療人に求められる倫理観」，早良病院．福岡市，講演会・公開討論.
- 末次，「平成 21 年度がんに関わる看護師の育成研修/フィジカルアセスメント演習」，福岡県．九州大学病院スキルトレーニングセンター，セミナー・研修会

6. 初等中等教育への貢献

- 大池，「理科支援員等派遣事情における特別授業」「消化と排泄」，福岡市立玄洋小学校．講演・セミナー等.
- 長家，「大学紹介と基礎看護学に関する模擬授業」，東筑高校．講演・セミナー等.

看護学分野

≪臨床看護≫

教授	樗木　晶子
教授	川本　利恵子
教授	中尾　久子
講師	中尾　富士子
助教	宮園　真美
助教	木下　由美子
助教	金岡　麻希

1. 教育活動

1. 大学院講義

樗木晶子

生体情報解析学 I(分担)	前期
保健医療とソーシャルサポート(分担)	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	後期

川本利恵子

がん看護特論(分担)	前期
看護研究方法論 I (統計の基礎)	前期
コンサルテーション論	前期
がん医療支援論(分担)	前期
がん看護援助論(分担)	前期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	後期

中尾久子

看護倫理学(分担)	前期
看護組織・マネジメント論(分担)	後期
医療と生命倫理(分担)	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	前期
がん看護援助論	前期
健康支援ケアシステム論 I	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	後期

中尾富士子

がん看護演習 I	前期
がん医療支援論	前期
がん看護援助論	後期
国際社会とチーム医療	前期

2. **大学院実験・実習**　なし

3. **大学院演習**

樗木晶子	
臨床看護学特論 I・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
生体情報解析学 II(分担)	前期
看護学特別研究	通年
保健学特別研究	通年
川本利恵子	
がん看護特論(分担)	前期
看護研究方法論 I (統計の基礎)	前期
臨床看護学特論 I・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	通年
コンサルテーション論	前期
がん医療支援論(分担)	前期
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	後期
がん看護援助論(分担)	前期
がん看護演習 I (分担)	前期
がん看護演習Ⅲ	後期
課題研究	通年
看護学特別研究	通年
保健学特別研究	通年
中尾久子	
臨床看護学特論 I・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
看護倫理学(分担)	前期
看護組織・マネジメント論(分担)	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	前期
中尾富士子	
がん看護演習 I (分担)	前期
がん看護援助論(分担)	後期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	通年
臨床看護学特論 I・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
宮園真美	
臨床看護学特論 I・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅲ(分担)	通年
木下由美子	
臨床看護学特論 I・セルフケア支援論(分担)	通年
臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)	通年

臨床看護学特論Ⅲ(分担)　通年

金岡麻希

臨床看護学特論Ⅰ・セルフケア支援論(分担)　通年

臨床看護学特論Ⅱ・クリティカルケア論(分担)　通年

臨床看護学特論Ⅲ(分担)　通年

4. 大学院修士課程修了者

小野久美子	中堅看護師の仕事上の役割ストレスと負担感の関連 ーー仕事意欲と人的支援を関連要因としてー The Relationshop between Role Stress and Feeling of Burden in Middle Experienced Nurses - Work Motivations and Human Supports Related Factors-
白井ひろ子	女性看護師の勤務形態別における食生活の影響要因 Factors Affecting Eating Habits Associated with Female Nurse's Three Different Types of Working Shifts
弓削なぎさ	健康な成人女性におけるオイルマッサージの継続的な介入による自律神経活動の変化と心理的影響の検討 The Effects of a Continuous Oil Massage on the Human Autonomic Nervous System and Psychological State in Healty Women

5. 大学院博士課程修了者　なし

6. 学部講義

樗木晶子

人体の機能と構造 IA(分担)　通年

人体の機能と構造IB(分担)　通年

ジェンダー学(分担)　前期

性差医学(分担)　前期

成人看護の対象と方法(分担)　前期

医学総論(分担)　前期

臨床医学群循環器(分担)　後期

成人看護学概論(分担)　前期

循環器機能検査学　後期

川本利恵子

成人看護学概論(分担)　前期

成人看護の対象と方法(分担)　前期

周手術期看護の展開(分担)　前期

医学総論Ⅰ　前期

医学総論Ⅱ　前期

急性期看護論(分担)　後期

救急蘇生学　後期

救急集中看護論(分担)　後期

中尾久子	
成人看護学概論（分担）	前期
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
生活指導論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
中尾富士子	
老年看護学概論(分担)	前期
成人看護学概論	前期
成人看護の対象と方法	前期
コアセミナー	前期
生活指導論	前期
慢性期看護論	前期
宮園真美	
急性期看護論(分担)	後期
周手術期看護の展開(分担)	前期
臨床老年看護学(分担)	後期
老年看護方法論(分担)	前期
倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
木下由美子	
生活指導論(分担)	前期
慢性期看護論(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期
臨床老年看護学(分担)	後期
老年看護方法論(分担)	前期
倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
周手術期看護の展開(分担)	前期
老年看護学概論(分担)	前期
金岡麻希	
周手術期看護の展開（分担）	前期
老年看護方法論(分担)	前期
急性期看護論(分担)	後期
救急集中治療看護論(分担)	後期
救急蘇生学(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

樗木晶子	
生理機能検査学実習(分担)	後期
成人老年看護学実習 I(分担)	前期
臨床医学基本実習	後期
卒業研究	通年
川本利恵子	
周手術期看護の展開	前期
急性期看護論(分担)	後期
成人看護学急性期実習	通年
卒業研究	通年
中尾久子	
看護倫理・ターミナルケア論(分担)	前期
老年看護方法論(分担)	前期
生活指導論(分担)	前期
成人看護学慢性期実習	通年
卒業研究	通年
中尾富士子	
成人老年看護学実習 I	前期
成人老年看護学実習 II	前期
成人看護学慢性期実習	後期
卒業研究	通年
宮園真美	
老年看護方法論(分担)	前期
成人老年看護学実習 I	前期
成人老年看護学実習 II	前期
成人看護学急性期実習	後期
卒業研究	通年
木下由美子	
老年看護方法論(分担)	前期
成人老年看護学実習 I	前期
成人老年看護学実習 II	前期
成人看護学慢性期実習	後期
卒業研究	通年
金岡麻希	
老年看護方法論(分担)	前期
成人老年看護学実習 I	前期
成人老年看護学実習 II	前期
成人看護学急性期実習	後期
卒業研究	通年

8. 卒業論文作成者

木村友美	虚血性心疾患治療後患者の自己管理意欲を高める退院後の介入ー定期的な情報提供と心理的サポートの有効性ー
岩崎亜由美	糖尿病性血液透析患者を対象としたフットケアの分析～血液透析専門医院における取り組みを体験して～
尾崎純佳	慢性心不全患者の包括的心臓リハビリテーションに向けてのうつ・QOL スコアとその経時的変化の検討
小野美幸	心不全患者のフットサウナによるバイタルサインの変化，気分変化，および睡眠状態変化
畑優子	血液透析を受ける患者の発症から現在までの自分の生活におりあいをつける心のプロセス
高橋冴子	救急患者の家族のニーズに関する調査
西紗奈江	文献検討による術後せん妄発症要因分析
山本優	看護職の専門性の高まりと自律性に関する研究―業務内容に焦点を当てて―
木下惣太	家族性腫瘍を対象とした遺伝カウンセリングや公的医療助成制度の現状
二宮彩	乳がん術後のリンパ浮腫に対するセルフケアへの看護の現状と課題
古沢里奈	我が国における若年性乳がん患者への看護の現状
岡崎裕子	胃がん術後患者の一時的な食生活変容への対処に向けた援助
那須　悠	乳がん患者の心理とサイコオンコロジー的援助
古賀千裕	がん患者の苦痛を癒す代替療法
坂本梨笑	終末期患者への精神的ケア
津上幸子	糖尿病の患者教育における自己効力感を高める支援の望ましいあり方
松本和樹	ALS 療養者の QOL を向上するための看護
堀江亜衣子	震災発生後の一般住民への心のケアの実際と課題
真砂麻実	生体肝移植ドナーが術前オリエンテーションを受けて予測していたものと術後に感じる差異

9. 研究生

橋口暢子

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導　なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

樗木晶子

心疾患や高齢者におけるサウナ（首下温熱装置），下半身温熱，足温を用いた温熱効果の検討

脊髄損傷患者における血圧調節と生活支援のための機器の開発

植え込み型除細動器患者における QOL 改善のためのケアシステムの開発

川本利恵子

胃切除術が骨代謝に及ぼす影響と栄養や活動などに与える変化の解明

情報社会がコミュニケーション能力とナーシングワークに及ぼす影響の検討

中尾久子

医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ（がん医療，看護）

ストレス，ストレス反応および生活行動の関連性

高齢者の身体拘束とQOL

我が国の病院の倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題

宮園真美

サウナ浴による生理・心理反応

埋め込み型除細動器を装着した患者の QOL

木下由美子

直腸がん患者のQOL

金岡麻希

生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

樗木晶子

- 「基盤研究(B)」入浴・サウナ浴を用いた心疾患患者における治療的患者ケアプログラムの開発，（代表），
- 「基盤研究(C)」 我が国の倫理委員会における省令コンサルテーション機能の現状と課題，（分担），「基盤研究(S)」脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック圧制御システムの開発，樗木（分担），0 千円．（公開）
- 「萌芽研究」植込み型除細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発，（代表），「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワーク特性変容の検討，（分担）
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み，（分担），「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築，（分担）
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた頸下型簡易サウナによる看護プログラム，（分担）

川本利恵子

- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発，（分担）
- 「萌芽研究」植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発，（分担）
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワークの特性変容の解明，（代表）
- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み，（分担）

中尾久子

- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み，（代表）
- 「萌芽研究」植込み型除細動器患者に関する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発，（分担）
- 「基盤研究(B)」入浴・サウナ浴を用いた心疾患患者における治療的患者ケアプログラムの開発，（分担）

- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発,（分担）
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システム構築に向けた基礎的研究,（分担）
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワーク特性変容の解明 ,（分担）

中尾富士子

- 「基盤研究(B)」がん医療・看護における倫理症例集作成の試み,（分担）
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワーク特性変容の解明,（分担）
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラム,（分担）
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排便障害支援システムに向けた基礎的研究,（分担）

宮園真美

- 「萌芽研究」植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上を目指した看護ケアモデルの開発,（分担）
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排泄障害支援システムの構築,（分担）
- 「基盤研究(B)」がん医療看護における倫理症例集作成の試み,（分担）
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワーク特性変容,（分担）
- 「挑戦的萌芽研究」植え込み型除細動器患者に対する生活の質の向上を目指したケア,（分担）
- 「基盤研究(C)」措置入院における保健師のケア技術とケアプログラム開発,（分担）
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発,（代表）

木下由美子

- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排泄障害支援システムの構築,（代表）
- 「基盤研究(B)」がん医療看護における倫理症例集作成の試み,（分担）
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発,（分担）
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワーク特性変容,（分担）

金岡麻希

- 「若手研究（スタートアップ）」生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究,（代表）
- 「基盤研究(C)」医療情報電子システム化がもたらしたナーシングワーク特性変容の検討,（分担）
- 「基盤研究(B)」がん医療看護における倫理症例集作成の試み,（分担）
- 「基盤研究(C)」直腸癌で超低位前方切除術を受けた患者の排泄障害支援システムの構築,（分担）
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発,（分担）

3. 学内研究経費の受入れ

樗木晶子

- 「平成 21 年度九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」女性医療人キャリア継続プログラムの開発ー九州大学病院の取組ー,（代表）

川本利恵子

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」女性医療人キャリア継続の為の人的サポート資源の構築とその基盤研究,（分担）

中尾富士子

- 「質の高い大学教育推進プログラム:医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」リンパ浮腫患者の治療のためのエビデンスに基づく看護技術学習教材:リンパドレナージの技術を学ぶ，(代表)

宮園真美

- 「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」電子教材作成」急性期看護学実践学習 Web 教材の開発，(代表)

金岡麻希

- 「「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」電子教材作成」急性期看護学実践学習 Web 教材の開発，(分担)

4. 奨学寄付金の受入れ

樗木晶子

- 「医学研究院保健学部門研究資金」センチュリーメディカル株式会社
- 「医学研究院保健学部門研究資金」第一三共株式会社

5. その他の外部研究資金の受入れ

樗木晶子

- 「エーザイ(株)　タンボコール錠 50mg　特定使用調査」
- 「第一三共株式会社　ベプリジールという抗不整脈薬の有効性と安全性について」
- 「Fast VT 停止における抗頻拍ペーシングの有用性 ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査(The SATISFACTION trial)」
- 「ヤマギワ株式会社　超音波検査室における最適な照明環境の研究」

6. 受託研究員・研修員の受入れ　なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Inoue H, Fujiki A, Origasa H, Ogawa S, Okumura K, Kubota I, Aizawa Y, Yamashita T, Atarashi H, Horie M, Ohe T, Doi Y, Shimizu A, Chishaki A, Saikawa T, Yano K, Kitabatake A, Mitamura H, Kodama I, Kamakura S.　: Prevalence of atrial fibrillation in the general population of Japan.， *International Journal of Cardiology* ， 137:102-107, 2009 年 10 月.
- Takeda k, Takemoto M, Mukai Y, Seto T, Ohwaki K, Chishaki A, Sunagawa K.: A Clear Documentation on the Activation Sequence of the His-Purkinje System during Bundle Branch Reentrant Ventricular Tachycardia in a Patient with Myotonic Dystrophy.， *J Cardiol* ，， 2009 年 05 月.
- Sakai S, Yabuuchi H, Chishaki A, Okafuji T, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Honda H. : Effect of cardiac function on aortic peak time and peak enhancement during coronary CT angiography.， *European Journal of Radiology* , 75 (2010) 173-177

- Ito K, Takemoto M, Mukai Y, Inoue S, Kaji Y, Chishaki A, Sunagawa K: Radio-frequency Catheter Ablation of Atypical Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia from a Left-sided Approach, *J Arrhythmia* , 100,12,360-366,2009.12.
- 樗木晶子, 宮園真美, 眞茅みゆき, 樗木浩朗, 井上修二朗, 向井靖, 竹本真生, 加治良一, 砂川賢二, 有村達之, 奥澤朋奈, 久保千春: 植込み型除細動器における Quality of Life., *心臓*, 41:635-641, 2009 年 06 月.
- 宮園真美, 前野有佳里, 樗木晶子, 橋口暢子, 金岡麻紀, 木下由美子, 中尾久子, 中尾富士子, 川本利恵子, 栃原裕: 頸下ドームサウナ使用時の高齢者の生理・心理反応, *日本循環器看護学会誌*, 5:43-51, 2009 年 09 月.
- Takeda k, Takemoto M, Mukai Y, Seto T, Ohwaki K, Chishaki A, Sunagawa K.: Bundle Branch Reentrant Ventricular Tachycardia in a Patient with Myotonic Dystrophy., *J Cardiol* , 53,463-466,2009.06.
- 新小田春美, 末次美子, 樗木晶子, 加耒恒壽, 西岡和男, 浅見恵梨子, 内村直尚, 神山潤, 加藤則子, 南部由美子, 松本一弥 : 乳幼児の発達年齢および親子の睡眠習慣からみた遅寝の実態とその影響要因の分析, *福岡医学雑誌*, , 99,246-261,2009.08.
- 畠中史朗, 杜下淳次, 樗木晶子, 野口ゆかり, 外園栄作, 小宮陽子, 東田善治, 島ノ江信芳, 中村邦夫, 田代洋行: 環境照度の違いが CRT モニタの輝度比と超音波画像のコントラストに与える影響., *日本放射線技術学会誌*, 65,18-22,2009.11.
- 内小保理, 内博史, 小川祥子, 權藤知聡, 師井洋一, 古江増隆, 樗木晶子: アトピー性皮膚炎患者における皮膚疾患特異的 QOL 評価, *皮膚の科学*, , 8,680-686,2009.12.
- Nakao H, Chishaki A, Obayashi M. : Awareness of ethical issues by nursing professonals at a general local hospital in Japan., *Fukuoka Acta Medica*, 99:175-183, 2009 年 04 月.
- 内小保理, 内博史, 小川祥子, 權藤知聡, 師井洋一, 古江増隆, 樗木晶子: 九州大学病院皮膚科におけるアトピー性皮膚炎初診患者の QOL に対する検討 Skindex16,DLQI を用いて, *日本皮膚科学会雑誌* , 120,45-54,2010.01.
- 船越公太, 向井靖, 中野貴史, 井上修二朗, 竹本真生, 江島健一, 多田英生, 肥後太基, 樗木晶子: 多彩な経時的心電図変化を示し, PCPS 似ても救命し得なかった激症型心筋炎の症例, *心臓*, , 41,69-73,2009.07.
- Ito K, Takemoto M, Mukai Y, Inoue S, Kaji Y, Chishaki A, Sunagawa K: Radio-frequency Catheter Ablation of Atypical Atrioventricular Nodal Reentrant Tachycardia from a Trans-Aortic Approach , *Fukuoka Acta Medica*, , 100,12,360-366,2009.12.
- Aizawa Y, Kohsaka S, Suzuki S, Atarashi H, Kamakura S, Sakurai M, Nakaya H, Fukatani M, Mitamura H, Yamazaki T, Yamashita T, Ogawa S; J-RHYTHM Investigators.(Chishaki A) : Comparison of antiarrhythmics used in patients with paroxysmal atrial fibrillation: subanalysis of J-RHYTHM Study. , *Circ J.*, 74: 71 - 76, 2010.
- 中尾富士子, 古谷彰, 吉村耕一, 濱野公一, 木下由美子, 川本利恵子, 中尾久子, 鈴木志津枝 : 蜂窩織炎を契機に発症した二次性リンパ浮腫患者に対する複合的理学療法に基づく介入プログラムの効果, *福岡医学雑誌*, , 2009 年 06 月.
- Sue Turale, Misae Ito, Kyoko Murakami, Fujiko Nakao: Nursing scholarship in Japan: Development, facilitators, and barriers , *Nursing and health Sciences*, , 2009 年 06 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

樗木晶子

- Sakamoto T, Yoshida M, Murayama Y, Chishaki A, Sunagawa K: Arterial Pressure Destabilization in Patients with Cervical Spinal Cord Injury Requires Tailored Therapeutic Strategies Depending upon the Post Injury Period., The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2010 年 03 月 06 日, Japan.
- Chishaki A, Nishizaka M, Ide T, Makaya M, Chishaki H, Sunagawa K.: Mental Well-being and Physical Fitness of Women Doctors -Relation to Personal Support and Labor Environment-, The 74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2010 年 03 月 06 日, Japan.
- Nakao H, Nakao F, Chisyaki A, Kinoshita Y, Kanaoka M, Miyazono M, Kawamoto R: Ethics Education on Cancer Nursing in Japan., 16th International Conferende on Cancer Nursing, 2010 年 03 月 09 日, United States of America.

- Hisako NAKAO, Fujiko NAKAO, Akiko CHISHAKI, Yumiko KINOSHITA, Maki KANAOKA, Mami MIYAZONO, Rieko KAWAMOTO：Ethics Education on Cancer Nursing in Japan，The 16th International Conference on Cancer Nursing，2010 年 03 月 10 日，United States of America.
- Fujiko NAKAO, Misae ITO, Shizue SUZUKI, Yumiko KINOSHITA, Hisako NAKAO：The efficacy of program based on Complex Decongestive Physiotherapy for cancer survivors with lymphedema at an outpatient setting in Japan，The 16th International Conference on Cancer Nursing，2010 年 03 月 10 日，United States of America.

c. **大学・研究機関などの刊行誌**　なし

d. **調査研究報告**

- 研究代表者:樗木晶子: 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト平成 21 年度(特別枠) 女性医療人キャリア継続プログラムの開発ー九州大学病院の取組ー，九州大学研究費報告書，，2010 年 03 月.
- 研究代表者:樗木晶子: 地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム(女性医療人きらめきプロジェクト)，文部科学研究費大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)平成 19-21 年度報告書, 2010 年 03 月.
- 研究代表者:樗木晶子, 研究分担者:中尾久子, 井出友美, 長弘千恵, 砂川賢二, 竹本真生, 井上修二郎: 入浴・サウナ浴を用いた心疾患患者における治療的患者ケアプログラムの開発，文部科学研究費基盤研究(B)平成 18-21 年度報告書，2010 年 03 月.
- 中尾久子, 大林雅之, 家永　登, 樗木晶子, 赤林　朗: 我が国の倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題(The present situation and issues of ethics consultations in ethics committees in Japan)，2009 年 05 月.
- 女性の続発性リンパ浮腫に対する外来看護システム構築，科学研究費補助金研究成果報告書, 2009 年 05 月.

e. **国内学会での講演，発表**

- 藤野ユリ子　武冨貴久子, 中畑高子, 樗木晶子, 川本利恵子: 女性医療人の臨床現場定着及び復帰支援九州大学病院きらめきプロジェクトの取り組，第 27 回日本看護科学学会, 2009 年 05 月 01 日，福岡.
- 船越公太, 井上修二朗, 向井靖, 井手友美, 肥後大基, 樗木晶子, 砂川賢二: アミオダロン投薬開始遠隔期にアミオダロン誘発性甲状腺中毒症を発症し労作時息切れが増悪した拡張型心筋症の一例，第 5 回九州アミオダロン研究会，2009 年 04 月 11 日，福岡.
- 宮園真美, 前野有佳里, 橋口暢子, 樗木晶子, 栃原裕: 首下ドーム型サウナ使用時の生理心理反応，第 58 回日本生理人類学会，2009 年 05 月 01 日，大阪.
- 竹本真生, 中島淳博, 宗内淳, 山村健一郎, 向井靖, 井上修二朗, 加治良一, 樗木晶子, 塩川祐一, 砂川賢二: ヒスペーシングによる心臓再同期療法心不全治療に著効した修正大血管転位症に合併した完全房室ブロック 1 小児症例，第 39 回臨床心臓電気生理研究会，2009 年 05 月 30 日，富山.
- 宮園真美, 渕上加奈子, 樗木晶子, 肥後大基, 濱田正美, 砂川賢二: 虚血性心疾患患者の自己管理意欲を高める退院後の介入～お便りと電話による定期的アプローチの有効性～，第 45 回日本循環器病予防学会，2009 年 06 月 06 日，横浜.
- 樗木晶子: 様々な心臓手術後の上室性・心室性不整脈に対し, 集学的治療を要した陳旧性広範前壁心筋梗塞の1例.，第 10 回九州重症不整脈研究会，2009 年 06 月 20 日，福岡.
- 樗木晶子, 井上修二朗, 向井靖, 竹本真生, 砂川賢二, 丸山巌, 加治良一, 樗木浩朗: 植込み型除細動器患者の精神的・身体的サポートによる QOL の改善，第 24 回日本不整脈学会学術大会・第 26 回日本心電学会学術集会合同学術集会，2009 年 07 月 03 日，京都.
- 竹本真生, 向井靖, 井上修二朗, 樗木晶子, 砂川賢二, 加治良一: EnSite を用いた inappropriate sinus tachycardia (IST) に対するカテーテルアブレーション(RFCA)，第 24

回日本不整脈学会学術大会・第 26 回日本心電学会学術集会合同学術集会，2009 年 07 月 03 日，京都.

- 井上修二朗, 竹本真生, 向井靖, 樗木晶子, 砂川賢二, 加治良一: 右室流出路起源心室性期外収縮に対する CARTO XP システムを用いたアブレーション治療の有用性の検討, 10. 第 24 回日本不整脈学会学術大会・第 26 回日本心電学会学術集会合同学術集会, 2009 年 07 月 04 日，京都.
- 井上修二朗, 竹本真生, 中島淳博, 向井靖, 宗内淳, 樗木晶子, 加治良一, 砂川賢二: 徐脈頻脈症候群の治療により蛋白漏出性腸症が改善したファロー四徴症根治術後の症例, 第 45 回日本小児循環器学会総会・学術集会，2009 年 07 月 15 日，神戸.
- 井上修二朗, 竹本真生, 向井靖, 樗木晶子, 加治良一, 砂川賢二, 空閑毅, 光武新人: 三尖弁輪起源多発性 PVC の ABL に NCM が有用であった一例，第 20 回九州不整脈研究会，2009 年 08 月 01 日，福岡.
- 宮園真美, 樗木晶子, 木下由美子, 金岡麻希, 中尾富士子, 川本利恵子, 中尾久子, 濱田正美: 虚血性心疾患患者への定期的情報提供と電話による退院後生活指導，第 35 回日本看護研究学会学術集会，2009 年 08 月 03 日，横浜.
- 橋口暢子, 樗木晶子, 栃原裕: 低湿度が入浴・清拭後の生理・心理反応に及ぼす影響, 平成 21 年度入浴研究会，2009 年 09 月 03 日，福岡.
- 樗木晶子: 九州大学での女性研究者支援，第 1 回九州アイランド女性研究者支援シンポジウム，2009 年 09 月 05 日，宮崎.
- 宮園真美, 樗木晶子, 木下由美子, 金岡麻希, 中尾富士子，川本利恵子, 中尾久子, 濱田正美 ：虚血性心疾患患者への定期的情報提供と電話による退院後生活指導 ，第 35 回日本看護研究学会，2009 年 10 月 01 日，横浜.
- 井上修二朗, 竹本真生, 向井靖, 樗木晶子, 砂川賢二, 田ノ上禎久, 富永隆治, 加治良一: 大動脈弁置換術の際に左冠尖への術中 Cryoablation が奏功した, 流出路源心室性期外収縮・心室頻拍の 1 例. , 第 21 回カテーテル・アブレーション委員会公開研究会, 2009 年 10 月 17 日，川越.
- 中尾久子, 赤林　朗, 大林雅之, 家永　登, 樗木晶子: 倫理的問題に対する病院の組織的取組みの現状と課題　ー倫理委員会と症例コンサルテーションを中心にー，日本生命倫理学会，2009 年 11 月 15 日，横浜.
- 中尾久子, 樗木晶子: 医療の場における倫理的問題への組織的取組みの現状と課題　ー看護者への面接調査を通してー，第 29 回日本看護科学学会学術集会，2009 年 11 月 27 日，千葉.
- 樗木晶子: 教育セミナーⅠ　心電図の基礎，第 6 回日本循環器看護学会学術集会，2009 年 11 月 29 日，福岡.
- 甲木雅人, 大井啓司, 井上修二朗, 向井靖, 肥後太基, 竹本真生, 樗木晶子, 砂川賢二: VSD 術後遠隔期に心室細動をきたした一例，第 13 回日本成人先天性心疾患学会，2010 年 01 月 08 日，福岡.
- 井上修二朗, 竹本真生, 向井靖, 樗木晶子, 砂川賢二, 田ノ上禎久, 富永隆治: 左冠尖への術中 Cryoablation が奏功した, 流出路起源心室性期外収縮の 1 例，12th Annual Scientific Meeting of Japanese Society for Adult Congenital Heart Disease，2010 年 01 月 10 日，大阪.
- 宮園真美, 樗木晶子, 川本利恵子, 中尾久子, 竹本真生, 向井靖, 井上修二朗, 砂川賢二, 久保千春, 眞茅みゆき: 植込み型除細動器(ICD)患者に対する生活の質(QOL)の向上をめざした看護ケアモデルの開発，第 74 回日本循環器学会総会学術集会，2010 年 03 月 06 日，京都.
- 向井靖, 竹本真生, 井上修二朗, 安田潮人, 小田代敬太, 樗木晶子, 加治良一, 赤司浩一, 砂川賢二: 開心術後の切開線心房頻拍に対する CARTO ガイド下あぶれーションの現状，第2回西日本心臓電気生理研究会，2010 年 03 月 27 日，福岡.
- 潮みゆき, 川本, 利恵子, 村嶋幸代, 金山正子, 杉浦美佐子: 修正イーベル法を活用した看護師国家試験問題の難易度の検討，第 14 回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会，2009 年 11 月 07 日，宮崎.

- 古野貴臣, 中尾久子, 川本, 利恵子: 新卒看護師の離職願望に関連する要因の検討, 第 14 回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会，2009 年 11 月 07 日，宮崎.

- 小野久美子, 中尾久子, 川本, 利恵子: 中堅看護師の職業性ストレスの現状と今後の課題ー文献研究を通してー, 第 14 回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会, 2009 年 11 月 07 日, 宮崎.
- 中尾久子, 樗木晶子: 医療の場における倫理的問題への組織的取組みの現状と課題 ー看護者への面接調査を通してー, 第 29 回日本看護科学学会学術集会, 2009 年 11 月 27 日, 千葉.

- 樗木晶子, 木下由美子, 金岡麻希, 中尾富士子, 川本利恵子, 中尾久子, 濱田正美 : 虚血性心疾患患者への定期的情報提供と電話による退院後生活指導, 日本看護研究学会, 2009 年 08 月 03 日, 横浜.
- 宮園真美, 渕上加奈子, 樗木晶子, 肥後大基, 濱田正美, 砂川賢二: 虚血性心疾患患者の自己管理意欲を高める退院後の介入～お便りと電話による定期的アプローチの有効性～, 第 45 回日本循環器病予防学会, 2009 年 06 月 05 日, 横浜.

f. **学会以外での講演, 発表** なし

著作

a. 単行本

樗木晶子

- 樗木晶子: (単著) コメディカルのための糖尿病治療の基本的な考え方と心理的アプローチ, 糖尿病と不整脈, 永淵正法, 安西慶三, 南昌江, 瀧井正人, 樗木晶子編, 2009 年 08 月, 医学書店.
- 樗木晶子: (単著) 循環器臨床サピア 5, 患者アウトカムからみた不整脈の薬物治療, 山下武志編, 2010 年 02 月, 中山書店.
- 高久史麿監修, 樗木晶子, 川本利恵子, 中尾久子他: (共著) ベーシックナーシング, 2010 年 01 月, メディカル・レビュー社.

川本利恵子

- (編集) 第 99 回看護師国家試験合格チャレンジテスト, 2009 年 11 月, 学習研究社. (公開)
- (共著)高久史麿監修, 川本利恵子, 秋鹿祐輔, 赤司千波, 穴井孝信他: ベーシックナーシング「改訂版」, 2010 年 01 月, メディカルレビュー社.

中尾久子

- 高久史麿監修, 樗木晶子, 川本利恵子, 中尾久子他: (共著) ベーシックナーシング, 2010 年 01 月, メディカル・レビュー社.

宮園真美

- 宮園真美(他 49 名): (共著) 看護師・看護学生のためのレビューブック 第 12 版, 2010 年 03 月

木下由美子

- 木下由美子(他 49 名): (共著) 看護師・看護学生のためのレビューブック 第 12 版, 2010 年 03 月

金岡麻希

- 金岡麻希(他 49 名):(共著) 看護師・看護学生のためのレビューブック 第 12 版, 2010 年 03 月

b. 総説

樗木晶子

- 健診で見つかる Brugada 型心電図の risk stratification , 心電図, 2009 年 04 月
- 「心房細動治療ガイドライン 2008」をふまえた発作性心房細動の治療〜シベンゾリンとプロパフェノンの使い分け〜 , 診療と新薬, 2009 年 05 月
- 女性医師のキャリア継続を目指して−九州大学病院での取り組み:女性医療人きらめきプロジェクト−, 循環器専門医, 2009 年 09 月
- 植込み型除細動器(ICD)と除細動機能付き心臓再同期療法(CRT-D)における生活の質(QOL), 臨床と研究, 2010 年 01 月

c. 解説, 書評など

川本利恵子

- 川本利恵子: 国家試験問題作成は教員に必要な能力の一つ;検討の歩みを振り返って, 看護教育 49(8):658−662, 2008. , 2009 年 05 月
- 川本利恵子, 宮本有紀, 村嶋幸代: 精神科 NP から見た NP の現在, 看護管理, 2009 年 06 月

中尾久子

- 中尾久子, 中尾富士子: 部署での教育力 UP! 病棟オリジナル指導体制・教育手法のお手本】病棟スタッフの倫理的感性を磨く効果的な教育方法, ナースマネージャー, 2010 年 03 月
- 実現できる! 24 時間 365 日の訪問看護, 看護, 2010 年 02 月

中尾富士子

- 中尾久子, 中尾富士子: 部署での教育力 UP! 病棟オリジナル指導体制・教育手法のお手本】病棟スタッフの倫理的感性を磨く効果的な教育方法, ナースマネージャー, 2010 年 03 月

宮園真美

- 金岡麻希, 宮園真美, 木下由美子, 川本利恵子: 第 98 回看護師国家試験解説 出題形式の変更と修正イーベル法を用いた出題傾向の分析, 看護教育, 2009 年 06 月
- 宮園真美他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回解答・解説書), 2009 年 04 月, 学研メディカル秀潤社.
- 宮園真美他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 2 回解答・解説書) , 2009 年 08 月, 学研メディカル秀潤社.
- 宮園真美他::『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 3 回解答・解説書) , 20091 年 11 月, 学研メディカル秀潤社.

木下由美子

- 金岡麻希, 宮園真美, 木下由美子, 川本利恵子: 第 98 回看護師国家試験解説　出題形式の変更と修正イーベル法を用いた出題傾向の分析，看護教育，2009 年 06 月
- 木下由美子他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回解答・解説書)，2009 年 04 月，学研メディカル秀潤社.
- 木下由美子他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 2 回解答・解説書)，2009 年 08 月，学研メディカル秀潤社.
- 木下由美子他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 3 回解答・解説書)，20091 年 11 月，学研メディカル秀潤社.

金岡麻希

- 金岡麻希, 宮園真美, 木下由美子, 川本利恵子: 第 98 回看護師国家試験解説　出題形式の変更と修正イーベル法を用いた出題傾向の分析，看護教育，2009 年 06 月
- 金岡麻希他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第1回解答・解説書)，2009 年 04 月，学研メディカル秀潤社.
- 金岡麻希他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 2 回解答・解説書)，2009 年 08 月，学研メディカル秀潤社.
- 金岡麻希他:『看護師国試合格チャレンジテスト』編集委員会:第 99 回看護師国試合格チャレンジテスト(第 3 回解答・解説書)，20091 年 11 月，学研メディカル秀潤社.

受賞

木下由美子

- 研究奨励賞，九州大学看護師同窓会　，2009 年 10 月.

報道

- 樗木，宮崎日々新聞，「豊かな学研の場創出を，働きやすい環境整備，大学の枠を超え連携必要。パネリストとして」，2009 年 09 月.
- 樗木，松の実九州大学女子卒業生の会，「九州大学における男女共同参画の新体制と今後の取り組みについて紹介。」，2009 年 09 月.
- 樗木，フォーラム福岡2009.，「女性医療人きらめきプロジェクト，女性医師の復職支援，看護師らの業務拡大に期待感を紹介」，2009 年 09 月.
- 樗木，九州大学男女共同参画推進室，「女性医療人きらめきプロジェクトが九州大学病院きらめきプロジェクトになった」，2010 年 03 月.
- 中尾，週刊　医学界新聞，「書評 「アメリカ医療が映し出す日本医療の光と影」　著:李　啓充 「続 アメリカ医療の光と影　バースコントロール・終末期医療の倫理と患者の権利」 2009.4 出版」，2009 年 10 月.

4. 産学連携活動

1. **共同研究**
   - 樗木，ベプリジールという抗不整脈薬の有効性と安全性について，第一三共株式会社，2009 年 10 月～2011 年 10 月.
   - 樗木，超音波検査室における最適な照明環境の研究，ヤマギワ株式会社，2008 年 04 月～2012 年 03 月.
2. **受託研究**
   - 樗木，タンボコール錠 50mg　特定使用調査，エーザイ(株)，2008 年 10 月～2010 年 03 月.
   - 樗木，Fast VT 停止における抗頻拍ペーシングの有用性 ATP during charging 機能を用いた日本での実態調査(The SATISFACTION trial)，，2009 年 08 月～2011 年 09 月.
3. **取得特許**　なし
4. **兼業**　なし

5. **特記すべきその他の技術相談**　なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

a. 樗木, American Heart Association（United States of America）, 国際会議, 2009 年 11 月～2009 年 11 月
b. 川本, ニューヨーク市立大学ハンター校看護学部（United States of America）, 大学・研究所訪問, 2009 年 11 月～2009 年 11 月
c. 川本, Portland State University（PSU）（United States of America）, その他, 2010 年 01 月～2010 年 01 月
d. 中尾(富), University of California, San Francisco（United States of America）, 大学・研究所訪問, 2010 年 02 月～2010 年 03 月
e. 宮園, Hunter College of The City University of New York（United States of America）, 大学・研究所訪問, 2009 年 09 月～2009 年 09 月

2. 外国人研究者の受入れ

a.訪問教授・研究員　なし

b. 訪問研究者

- Ture Shunsuke Wada, , Uppsala universitet, Sweden.

留学生の受入れ　なし
学生の海外派遣　なし

6. 学内行政事務などの担当

全学委員

- 樗木, 男女共同参画室室長
- 樗木, 総長特別補佐

2. 部局委員

- 樗木, 九州大学病院遺伝子治療研究倫理審査委員
- 樗木, 遺伝子治療臨床研究審査専門委員
- 川本, 基礎研究 B 棟管理運営委員川本, 大学院運営のあり方 WG
- 川本, 人事委員会
- 中尾, 医学研究院等倫理委員会
- 中尾, 看護学・保健学研究倫理審査専門委員会委員長
- 中尾, 医療系統合教育センター委員会
- 中尾, 九州大学医の倫理に関する協議会 WG
- 中尾, 九州大学教務委員
- 金岡, 先進医療適応評価委員

3. 部門・コース内委員

- 樗木, 教員業績評価委員
- 川本, 人事委員
- 川本, 総務委員
- 川本, 入試実施委員
- 川本, 施設環境副委員長
- 川本, 将来計画, 点検・評価委員
- 川本, 再任審査委員
- 川本, 教員業績評価委員
- 川本, 研究推進委員
- 川本, 卒業研究委員
- 川本, 実習委員
- 川本, カリキュラム WG
- 川本, 学生支援会運営委員
- 中尾, 教務委員
- 中尾, 再任審査委員会
- 中尾, 大学院委員長
- 中尾, 財務委員
- 中尾, 研究推進委員
- 中尾, 将来・計画・点検委員
- 中尾, 臨床看護学講座主任
- 中尾, 実習委員
- 中尾, カリキュラム WG
- 中尾(富), 地域・国際連携委員会
- 中尾(富), 実習委員
- 宮園, 学生委員会
- 宮園, 学生支援会運営委員
- 木下, 卒業研究委員
- 金岡, 博士後期課程設置記念行事実行委員
- 金岡, カリキュラム WG

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 川本, 第 15 回日本看護診断学会学術大会 ，集中講義
- 川本, 北九州市病院局，集中講義
- 川本, がん看護にかかわる看護師育成研修 がん看護に生かす理論，集中講義
- 川本, 福岡市民病院，集中講義
- 川本, 山口大学医学部付属病院，集中講義
- 川本, 全国保健師教育機関協議会，集中講義
- 川本, 福岡県保健福祉部医療指導課, 看護教員養成講習会，非常勤講師
- 川本, 国立病院機構関門医療センター看護部講習会，集中講義
- 川本, 福岡県保健福祉部医療指導課, 福岡県看護師養成所専任教員再教育研修会，非常勤講師
- 川本, 福岡県看護実習指導者講習会，非常勤講師
- 川本, 日本老年行動科学会 老年行動科学講座，非常勤講師
- 中尾, 大分県立看護科学大学／看護研究交流センター，集中講義
- 中尾, 久留米大学／認定看護師教育教育センター，集中講義
- 中尾, 久留米大学大学院医学研究科修士課程，非常勤講師
- 中尾(富), 国立大学法人大分大学大学院医学系研究科，非常勤講師
- 宮園, 福岡県看護教員養成講習会，非常勤講師

- 木下, 福岡県看護教員養成講習会，非常勤講師
- 金岡, 福岡県看護教員養成講習会，非常勤講師

2. 学協会

- 樗木, 日本時間生物学会，評議員，国内.
- 樗木, 日本心電学会，評議員，国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会，理事，国内.
- 樗木, 日本生体医工学会，理事（九州支部理事），国内.
- 樗木, 日本内科学会，その他（認定研修指導医），国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会誌，査読委員，国内.
- 樗木, Anual International IEEE EMBS ，査読委員，国際.
- 樗木, 日本循環器学会 ，査読委員，国内.
- 樗木, Circulation Journal，査読委員，国際.
- 樗木, PACE，査読委員，国際.
- 樗木, Clinical and Experimental Hypertension，査読委員，国際.
- 川本, 日本看護協会，その他（看護職能委員），国内.
- 川本, 日本看護研究学会，評議員，国内.
- 川本, 日本看護学教育学会，評議員，国内.
- 川本, 日本手術看護学会誌，その他（査読委員），国内.
- 川本, 日本看護研究学会雑誌，その他（査読委員），国内.
- 川本, 日本看護科学学会雑誌，その他（査読委員），国内.
- 川本, 日本看護科学学会雑誌，その他（査読委員），国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会，その他（情報委員会委員），国内.
- 中尾, 女性医療人きらめきプロジェクト，その他（評価委員），国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会ニューズレター, 編集委員（情報委員会:編集）, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌，査読委員，国内.
- 木下, 福岡県看護協会 5 地区支部役員，その他（書記），国内.
- 木下, 九州大学看護師同窓会，その他（会計），国内.

3. 官界

- 川本, 北九州市情報公開審査会委員
- 川本, 大学評価委員会大学評価分科会委員，大学基準協会
- 川本, 科学研究費委員会専門委員，日本学術振興会
- 中尾,「福岡県内の医療・保健・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査, 広報, 研修を通した身体拘束廃止の取り組み推進」，福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議(委員長)

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 樗木,「福岡県立女子大学改革検討委員会委員」
- 樗木, 福岡県立福岡女子大学の抜本改革に向けた食・健康コース部会委員
- 樗木, 福岡県教職員身体検査審議会委員
- 樗木, 福岡市公務災害補償等認定委員会・委員
- 樗木, 学校心臓検診心電図判読委員

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 九州大学医学部保健学科．九州大学医学部保健学科，公開講座.

- 樗木,「循環器疾患の保健指導について」と題して福岡県下の保健師や栄養士にたいして生活習慣病予防対策について教育講演を行った。」, 平成 21 年度市町村担当課長及び保健師合同研修会. 福岡市合同庁舎, セミナー・研修会.
- 樗木,「第 22 回日本循環器病予防セミナーに参加した医師, 看護師, 保健師などに対して「循環器研究のための QOL 評価」と題して教育講演を行った。」, 第 22 回日本循環器病予防セミナー事務局. 鳴子, セミナー・研修会.
- 樗木,「セミナーに参加した医師に対して「抗不整脈薬の使い方ーそのコツと注意点」と題して教育講演を行った。」, 国立病院機構九州医療センター. 国立病院機構九州医療センター内, セミナー・研修会.
- 樗木,「生活習慣と保健指導についてー高血圧, 糖尿病と腎合併症を中心にー」, 鹿児島県国民健康保険団体連合会. 鹿児島県国民健康保険団体連合会内, セミナー・研修会.
- 川本,「市民公開講座」, 第 15 回日本看護診断学会. 福岡国際会議場, 公開講座.
- 中尾,「看護倫理」, 国立病院機構 岩国医療センター. 山口県岩国市, セミナー・研修会.
- 中尾,「臨床看護実践における倫理」, 鳥取赤十字病院. 鳥取市, セミナー・研修会.
- 中尾,「看護と倫理-柔らかな感性を育む事例検討への取り組み- 」, 広島県立病院. 広島市, セミナー・研修会.
- 中尾(富),「福岡県がん看護に関わる看護師の育成研修:リンパ浮腫について」, 福岡県. 九州大学病院, セミナー・研修会.
- 中尾(富),「がん看護に関わる看護師の育成研修/家族看護」, 主催:福岡県, 研修施設:九州大学病院. , セミナー・研修会.
- 中尾(富),「がん看護に関わる看護師の育成研修/在宅ケア「リンパマッサージ」について, 主催:福岡県, 研修施設:九州大学. , セミナー・研修会.
- 中尾(富),「がん看護実務研修/リンパ浮腫患者への看護について」, 主催大分県, 研修施設:大分大学. , セミナー・研修会.
- 中尾(富),「看護実践能力Ⅱ/ 「がん治療に伴うリンパ浮腫患者への看護」, 山口県看護協会. , 講演会・公開討論.

6. 初等中等教育への貢献

- 樗木,「福岡市立香住丘小学校における出前授業「体の仕組みと働き」」, 福岡市立香住丘小学校. 講演・セミナー等.

看護学分野

≪発達看護≫

教授	加来恒壽
教授	松﨑彰信
教授	平田伸子
准教授	新小田春美
准教授	濱田裕子
准教授	木下義晶
講師	野口ゆかり
助教	仲道由紀
助教	藤田紋佳
助教	末次美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

加来恒壽

先端医療論(分担)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	前期
がん病態・治療論(分担)	前期
リプロダクティブヘルス看護論(分担)	後期

平田伸子

発達看護学特論Ⅲ(分担)	通年
看護学特別研究(修士)(分担)	通年
リプロダクティブヘルス看護論(分担)	後期

松崎彰信

各種がんの管理・治療	後期
母子発達看護論	前期
先端医療論	前期
がん病態・治療論	前期
ヘルスサイエンス論	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ	前期
病態情報解析学Ⅰ	前期

新小田春美

母子発達看護論(分担)	前期
発達看護学特論Ⅱ(分担)	後期
発達看護学特論Ⅲ(分担)	通年

濵田裕子

小児家族看護学	後期
発達看護学演習(分担)	前期
母子発達看護論(分担)	前期
感性コミュニケーション概論(分担)	前期
発達看護学特論Ⅲ(分担)	通年

野口ゆかり
　　発達看護学特論Ⅱ(分担)　後期
仲道由紀
　　発達看護学特論Ⅱ(分担)　後期
藤田紋佳
　　母子発達看護論(分担)　前期
末次美子
　　発達看護学特論Ⅲ(分担)　通年

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

加来恒壽
　看護学特別研究　通年
　保健学特別研究　通年
平田伸子
　　発達看護学特論Ⅲ(分担)　後期
　　看護学特別研究(修士)(分担)　通年
　　看護学特別研究(分担)　通年
　　リプロダクティブヘルス看護論(分担)　後期
松崎彰信
　　母子発達看護論(分担)　前期
新小田春美
　　母子発達看護論(分担)　前期
濵田裕子
　　インターンシップ (分担)　通年
　　小児・家族コミュニケーション演習　前期
　　発達看護学演習 (分担)　前期
　　感性コミュニケーション概論 (分担)　前期
　　ユーザー感性学 PTL(2)　前期
　　ユーザー感性学 PTL(5)　後期

4. 大学院修士課程修了者

加来恒壽

嶋田嗣子　　下肢リンパ浮腫の客観的評価法の検討

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

加来恒壽
　　助産疾病論(分担)　前期
　　臨床医学論Ⅰ(分担)　前期
　　母性疾病・援助論(分担)　後期
　　泌尿器・生殖器(分担)　前期

卒業研究(分担)	後期
平田伸子	
助産学実習(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
地域母子保健(分担)	前期
助産学概論(分担)	前期
女性学・男性学 A(分担)	前期
思春期保健論(分担)	後期
卒業研究(分担)	後期
松崎彰信	
小児疾病論 I, II(分担)	前期
医学総論 II(分担)	前期
臨床医学群「血液」	後期
小児保健	後期
新小田春美	
母性看護学演習(分担)	後期
母性疾病・援助論(分担)	後期
母性看護学(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
助産管理(分担)	後期
卒業研究(分担)	後期
濵田裕子	
小児看護学総論	後期
思春期保健論(分担)	後期
小児看護援助論(分担)	前期
卒業研究(分担)	後期
野口ゆかり	
卒業研究(分担)	後期
助産過程論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
医療法律学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
仲道由紀	
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
助産過程論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期
卒業研究(分担)	後期
藤田紋佳	
卒業研究(分担)	後期
小児看護援助論(分担)	前期

末次美子

母性看護学演習(分担)	後期
母性疾病・援助論(分担)	後期
母性看護学 (分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
卒業研究(分担)	後期

7. 学部の実験・実習・演習

加来恒壽

卒業研究	通年

平田伸子

助産診断・技術学 (分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
助産技術論(分担)	後期

松崎彰信

小児看護学実習(分担)	通年

新小田春美

母性看護学演習(分担)	後期
母性看護学実習(分担)	後期
卒業研究 (分担)	後期

濵田裕子

小児看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	後期

野口ゆかり

助産学実習(分担)	前期
卒業研究(分担)	後期
助産過程論(分担)	前期
基礎助産学(分担)	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論 (分担)	前期
助産診断・技術学(分担)	前期

仲道由紀

卒業研究(分担)	後期
助産学実習(分担)	前期

藤田紋佳

小児看護学実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	後期

末次美子

卒業研究(分担)	後期
母性看護学実習(分担)	通年
母性看護学演習(分担)	後期

8. 卒業論文作成者

山中留奈	児童虐待における看護師の役割と教育における今後の課題

中峯理佐	助産師から見た周産期ドメスティックバイオレンス(DV)被害者支援と課題
石川愛	女性の出産体験の満足感を高めるための助産ケアの検討
上段清美	4ヶ月児の睡眠・覚醒リズムと家族の生活の実態，育児に対する母親の心理について ー授乳方法，産歴に焦点をあててー
加来美奈子	「抱っこ」も効果と現状から母子関係援助の可能性を探る
大田亜由子	分娩進行と産痛緩和に向けた援助としての代替医療の臨床応用への効果と課題
池田世里奈	予後不良な病気で同胞を亡くしたきょうだいの死の受け止め方
大石三菜美	入院している幼児に付き添う母親の生活の変化と看護師の援助 ―受け持ち事例の母親に焦点をあてて―
古賀友美	きょうだいともに障害のある子どもをもつ家族の支援について ―障害児キャンプでのきょうだいへの関わりを通して―
坂口結実子	病棟での遊びの提供における看護師の役割 ―保育士との協働の中で―
下釜亜由美	障害児のきょうだいが受ける心理社会的影響とその支援 ―支援者としての父親の役割の考察―
上口優香	キャリーオーバーする先天性心疾患患者の抱える問題とその援助
瀧本梓	子どもを突然亡くした母親の悲嘆過程とグリーフケアの必要性について ―救急の場での看護師の役割に着目して―
中村侑紀	手術を受ける子どもとその家族への効果的なプレパレーションと実施における現状と課題
川口美子	母乳育児支援について ー出生後早期の補充栄養の追加に焦点を当ててー
賤川葉子	母乳育児継続に影響する要因 ー母乳育児に対する母親の認知・産褥早期の支援を中心にー
辻本萌	妊産褥婦の貧血に対する食事指導について
鎌田めぐみ	プレパレーションが子どもと親の心理的苦痛の軽減に及ぼす効果 ー採血時におけるプレパレーションに焦点を当ててー
平田紗織	働く母親の育児支援に関する研究の動向
前田久美子	Duchenne型筋ジストロフィー児の進行経過に沿った支援の検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

野口ゆかり	顧問および思春期ピアカウンセラー認定養成者（日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会認定）として，技術指導と市内の性教育（ピアエデュケーション）実施をサポート，九州大学ピアカウンセリング・ピアエデュケーションサークル

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義	加来
2	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
3	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
4	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来

5	ジェンダー分析による働く女性の周経期症候群とその健康支援	平田
6	産科医療機関における周産期からの子ども虐待予防～Maternal Caregiving に焦点を当てた看護職教育プログラムの構築～	平田
7	ジェンダー分析による働く女性の周経期症候群とその健康支援	平田
8	小児悪性腫瘍に関する基礎および臨床研究	松崎
9	新生児の睡眠・覚醒リズムの個人発達と母子交流に関する継続研究	新小田
10	女性のライフステージにおける健康支援に関する研究	新小田
11	夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究	新小田
12	「障害のある子どもと家族のヘルスプロモーションに関する研究」	濵田
13	小児悪性固形腫瘍の oncogenesis における β カテニン遺伝子および WT1 遺伝子の関与	木下
14	小児固形悪性腫瘍における Glypican3 の発現の検討，新規腫瘍マーカーとしての有用性の検討	木下
15	小児疾患に対する QOL を考慮した外科治療に関する研究	木下
16	妊娠・分娩・産褥期の母児の健康支援・健康教育に関する研究	野口
17	思春期における健康支援・健康教育に関する研究	野口
18	超音波検査室における最適な照明環境の研究	野口
19	「祖父母となること」の発達に関する研究	仲道
20	助産師による超音波診断装置の適切な活用に関する研究	仲道
21	低出生体重児の家族支援に関する研究	仲道
22	低出生体重児の子育て支援に関する研究	藤田
23	小児がんの子どもと家族の QOL に関する研究	藤田
24	女性の母親役割獲得過程に関する研究	末次
25	母子相互作用に関する研究	末次

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

加来恒壽

- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究（分担）

新小田春美

- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究（代表）
- 「基盤研究(C)」摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防のための前向き介入研究（分担）

濵田裕子

- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズムの安定と心身の健康を導く研究（分担）

仲道由紀

- 「若手研究(B)」「祖父母となること」の発達測定尺度の開発と影響要因の検討（代表）

藤田紋佳

- 「若手研究(B)」外来化学療法を受ける子どもと家族のヘルスプロモーションを促す看護援助に関する研究（代表）
- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究（分担）

末次美子

- 「若手研究(B)」不妊治療後早産した母親の母親役割獲得過程（代表）
- 「萌芽研究」夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究（分担）

3. 学内研究経費の受入れ

濵田裕子

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト（P&P)」「感性場」の統合理論の構築とフィールド実証のための研究拠点形成（分担）

仲道由紀

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」早産児の親への育児支援方法の検討 -NICU 看護師の教育プログラム開発における基礎的研究-（分担）
- 「女性研究者支援プログラム　出産・育児期研究助成」「祖父母となること」の発達測定尺度の開発と影響要因の検討（代表）

藤田紋佳

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」早産児の親への育児支援方法の検討 －NICU 看護師の教育プログラム開発における基礎的研究－（代表）

末次美子

- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」早産児の親への育児支援方法の検討 －NICU 看護師の教育プログラム開発における基礎的研究－（分担）

4. 奨学寄附金の受入れ
5. 奨学寄付金の受入れ

平田伸子

- 「社会福祉事業研究開発研究基金」住友信託銀行

6. その他の外部研究資金の受入れ

加来恒壽

- 「臨床病態医学研究所　地域医療における細胞診断の意義」

木下義晶

- 「厚生労働省医療技術実用化総合研究事業(スーパー特区)　創薬化を目指した glypican-3 由来癌ペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験」
- 「臨床医学研究賞助成金　新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立」

野口ゆかり

- 「ヤマギワ株式会社 株式会社 コ・メディカル　超音波検査室における最適な照明環境の研究」

7. 受託研究員・研修員の受入れ ※※システムに対応項目なし※※

8. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Muneaki Shimada, Junzo Kigawa, Yoshihiro Ohishi, Makoto Yasuda, Mitsuaki Suzuki, Masamichi hiura, Ryuichiro Nishimura, Tsutom Tabata, Toru Sugiyama, Tsunehisa Kaku: Clinicopathological characteristics of mucinous adenocarcinoma of the ovary, Gynecologic Oncology, 113,pp331-334, 2009 年 07 月.
- Yoshihiro Ohishi,Yoshinao Oda,Shuichi Kurihara,Tsunehisa Kaku,Masafumi Yasunaga,Izumi Nishimura,Emi Okuma,Hiroaki Kobayashi,Norio Wake,Masazumi Tsuneyoshi: Hobnail-like cells in serous borderline tumor do not represent concomitant incipient clear cell neoplasms, Human Pathology, 2009 年 08 月.
- Ogawa S, Kobayashi H, Amada S, Yahata H, Sonoda K, Abe K, Baba S, Sasaki M, Kaku T, Wake N.: Sentinel node detection with (99m)Tc phytate alone is satisfactory for cervical cancer patients undergoing radical hysterectomy and pelvic lymphadenectomy, Int J Clin Oncol, 2010 年 02 月.
- 仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫 : 子宮頸部細胞診における Pair cell の意義, 日本臨床細胞 学会九州連合会雑誌 , 2009 年 07 月.
- Suminoe A, Matsuzaki A, Hattori H, Koga Y, Hara T: Immunotherapy with autologous dendritic cells and tumor antigens for children with refractory malignant solid tumors, Pediatr Transplant, 13: 746 - 753, 2009 年 08 月.
- Suminoe A, Matsuzaki A, Koga Y, Hatano M, Hara T, Hara T: Graft-versus-lymphoma effect after reduced intensity allogeneic hematopoietic stem cell transplantation from HLA-two loci mismatched father in a patient with refractory non-Hodgkin lymphoma, Turk J Pediatr, in press, 2009 年 04 月.
- Imashuku S, Kinugawa N, Matsuzaki A, Kitoh T, Ohki K, Shioda Y, Tsunematsu Y, Imamura T, Morimoto A: Japan LCH Study Group: Langerhans cell histiocytosis with multifocal bone lesions: comparative clinical features between single and multi-systems, Int J Hematol, in press, 2009 年 09 月.

- 新小田春美, 松本一弥,浅見恵梨子, 末次美子,内村直尚,加藤則子,樗木晶子, 加来恒壽, 神山潤, 南部由美子: 乳幼児の発達年齢および親子の睡眠習慣からみた遅寝の実態と影響要因の分析, 福岡医学雑誌, 2010 年 03 月
- 濵田裕子: 障害のある子どもと社会をつなぐ家族のプロセス-障害児もいる家族として社会に踏み出す-, 日本看護科学学会誌, 2009 年 12 月.
- 濵田裕子: 障害のある子どもと家族の権利を保障する看護, 小児看護, 2010 年 01 月
- Kinoshita Y, Souzaki R, Tajiri T, Ieiri S, Hashizume M, Taguchi T: A preoperative evaluation for neo-infantile liver tumors using a three-dimensional reconstruction of multidetector row CT, Oncol Rep 21(4), 2009 年 04 月.
- Tajiri T, Souzaki R, Kinoshita Y, Tanaka S, Koga Y, Suminoe A, Matsuzaki A, Hara T, Taguchi T : Risks and benefits of ending of mass screening for neuroblastoma at 6 months of age in Japan, J Pediatr Surg, 2009 年 12 月.
- Koga Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Hatano M, Saito Y, Kinoshita Y, Tajiri T, Taguchi T, Kohashi K, Oda Y, Tsuneyoshi M, Hara T.: Long-term survival after autologous peripheral blood stem cell transplantation in two patients with malignant rhabdoid tumor of the kidney., Pediatr Blood Cancer , 2009 年 07 月.
- 田口智章, 木下義晶, 田尻達郎, 家入里志, 高橋由紀子, 松浦俊治, 東真弓, 増本幸二: 当科にて経験した超低出生体重児の消化管穿孔 14 例に関する検討, 日本周産期・新生児医学会雑誌, 2009 年 12 月.
- 末次美子: 不妊治療後妊婦の認知的評価・対処, 日本生殖看護学会, 2009 年 06 月.

➢ **国際会議・国際学会などのプロシーディングス** なし

➢ **大学・研究機関などの刊行誌** なし

➢ **調査研究報告**

- 新小田春美 ,松本一弥 ,浅見恵梨子, 末次美子,内村直尚,加藤則子, 樗木晶子,加来恒壽, 神山潤, 西岡和男,大久保一郎: 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究, 平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 総括・分担研究報告書 H19-こころ-一般 -015(19231001), 2010 年 03 月.
- 新小田春美, 神山潤, 加藤則子, 内村直尚, 末次美子, 加来恒壽 , 樗木晶子, 西岡和男 , 浅見恵梨子, 松本一弥, 大久保一郎: 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究 平成 19～21 年度厚生労働科学研究費補助金 総合研究報告書, H19-こころ-一般 -015(19231001), 2010 年 03 月.
- 野口ゆかり, 仲道由紀, 平田伸子, 大喜雅文:「EBM に基づいた助産診断・技術学学習電子教材の作成」, 文部科学省 平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム」 医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育 平成 20・21 年度取り組み成果報告書,p35～p37, 2010 年 03 月.
- 福嶋恒太郎, 上岡陽亮, 上野恭子, 月森清己, 中野仁雄, 仲道由紀, 山下春江, 和氣徳夫 : 北部九州における周産期医療システムの充実と医療資源の適正配置に関する研究 (厚生労働科学研究, 主任研究者 東北大学名誉教授 岡村州博) 平成 21 年度分担研究報告書, 2010 年 03 月 .

➢ **国内学会での講演, 発表**

- 平田伸子, 野口ゆかり, 仲道由紀, 平田瑛子: 働く女性の月経周辺期の健康実態とジェンダー意識, 第 50 回日本母性衛生学会 , 2009 年 09 月 29 日, 横浜.
- 新小田春美, 末次美子, 加藤則子, 樗木晶子, 浅見恵梨子, 樋口友里, 新小田幸一: 乳幼児の睡眠・生活リズムに関する健康教育と認知行動的アプローチの検討, 日本健康教育学会, 2009 年 06 月 01 日.
- 竹内久乃, 新小田春美, 末次美子, 加来恒壽: 子育て支援についてー生活スタイルの変化が子どもの成長発達に与える影響, 第 19 回福岡母性衛生学会, 2009 年 07 月 01 日, 福岡
- 新小田春美: 子どもの遅寝による心身発達への危惧, 睡眠行動変容「眠育」に向けた取り組みの紹介, 第 76 回日本応用心理学会, 2009 年 09 月 01 日.

- 末次美子，浅見恵梨子，内村直尚，加来恒壽，加藤則子，新小田春美：子どもの睡眠習慣促進のための健康教育リーフレット,”早起き元気さんのシール帳”の効果，第 50 回日本母性衛生学会，2009 年 09 月 28 日，横浜
- 池田洋子, 境トモエ , 福本弘子, 末次美子，新小田春美：乳幼児の成長発達から見た睡眠習慣の推移ー1 年間を通した母親の声ー，第 50 回日本母性衛生学会，2009 年 09 月 28 日，横浜
- 新小田春美, 松本一弥，浅見恵梨子, 末次美子，内村直尚 ,加藤則子, 樗木晶子 , 加来恒壽 , 神山潤，南部由美子, 西岡和男：幼児の情緒・行動に影響する睡眠・生活習慣および育児環境要因のリスク評価ーCBCL2／3 調査票と睡眠日誌を用いてー， 第 34 回日本睡眠学会 ，2009 年 10 月 01 日，大阪
- 新小田春美, 末次美子, 浅見恵梨子:乳幼児の睡眠・生活リズムからみた心身健康を考えるー睡眠日誌による観察と「眠育」の取り組みの検討, 第 24 回日本助産学会学術集会, 2010 年 3 月, 茨城
- 濵田裕子, 藤田紋佳：子どものターミナルケアに関わる看護師の家族看護の前提−家族との援助関係の形成に至るプロセス−，第 16 回日本家族看護学会，2009 年 09 月 06 日，高山
- 濵田裕子, 藤田紋佳：子どものターミナルケアに関わる看護師の家族看護のケア技術，日本看護科学学会，2009 年 11 月 27 日，千葉
- 濵田裕子, 末次美子, 藤田紋佳, 馬場みちえ, 新小田春美：乳幼児の睡眠における親の直面している課題-グループインタビューによる親の体験から-，日本小児保健学会, 2009 年 10 月 30 日, 大阪
- 木下義晶, 田尻達郎, 宗崎良太, 田中桜, 孝橋賢一, 恒吉正澄, 田口智章：当科における難治性腎腫瘍に対する治療戦略，第 46 回日本小児外科学会, 2009 年 06 月 03 日, 大阪
- 木下義晶, 家入里志, 増本幸二, 田尻達郎, 田口智章：新生児外科疾患に対する Woundless operation，第 46 回日本小児外科学会，2009 年 06 月 03 日
- 木下義晶, 田中桜, 田尻達郎, 宗崎良太, 孝橋賢一, 小田義直, 馬場秀夫, 福島聡, 西村泰治, 田口智章：小児固形悪性腫瘍における新規腫瘍マーカーGlypican3 の有用性の検討(続報)，第 25 回日本小児がん学会，2009 年 11 月 28 日，千葉
- 木下義晶, 宗崎良太, 田中桜, 田尻達郎, 孝橋賢一, 小田義直, 田口智章：非典型的な病理像を呈した CMN の一例，第 7 回 JWiTS 研究会，2010 年 01 月 23 日，東京
- 木下義晶, 林田真, 松浦俊治, 東真弓, 家入里志, 田尻達郎, 田口智章：新生児腹部外科疾患に対する Woundless operation，第 1 回小切開・鏡視外科学会，2009 年 08 月 22 日, 大阪
- 仲道由紀，斉藤ひさ子：孫とのかかわり方が祖父母の心理的側面に与える影響 −中期親子関係に焦点をあてて−，第 50 回日本母性衛生学会学術集会，2009 年 09 月 01 日，横浜.

➢ **学会以外での講演，発表** なし

著作

a. 単行本

- 松﨑彰信:(共著) 小児白血病，2009 年 11 月，メディカルレビュー社
- 新小田春美:(単著) 母性看護実践の基本 15 章妊娠・出産に伴う健康課題と看護 Nursing Graphicus, 290−317，2010 年 03 月
- 濵田裕子:(共著)編者:中野綾美・分担執筆者:中野綾美・田中克枝, 益守かづき, 上野昌江, 高谷恭子, 佐東美緒, 幸松美智子, 勝田仁美, 二宮啓子, 平林優子, 川島美保, 岡田洋子, 染谷奈々子, 日沼千尋, 宗村弥生, 鈴木千衣, 萩原綾子, 濵田裕子, 濱田米紀, 有田直子, 石浦光世, 加藤依子, 品川陽子, 長谷部貴子, 三浦由紀子 :（共著）ナーシンググラフィカ 28 巻「小児看護学:小児の発達と看護」第3版 第 4 章3「心身障害のある子どもと家族への看護」, 資料3.代表的な小児疾患「41～44;自閉症, ADHD, 学習障害, 摂食障害」，2010 年 01 月，メディカ出版

b. 総説

- 松﨑彰信: 二次がん，小児外科，2009 年 08 月
- 田口智章, 田尻達郎, 増本幸二, 木下義晶, 永田公二: 先天性食道閉鎖症，消化器外科，2009 年 09 月
- 田口智章, 田尻達郎, 増本幸二, 木下義晶, 家入里志, 高橋由紀子, 松浦俊治, 東真弓 : 新生児外科の現状と傷の目立たない手術，日本小児科学会雑誌，2009 年 06 月,
- 田口智章, 木下義晶, 永田公二, 手柴理沙, 江角元史郎: 臍帯ヘルニアにどうして腸回転異常を合併しやすいの？ , 2009 年 12 月
- 田口智章, 木下義晶, 田尻達郎, 家入里志, 高橋由紀子, 松浦俊治, 東真弓, 増本幸二: QOL を考えた新生児外科手術の進歩，日本周産期・新生児医学会雑誌，2009 年 12 月
- 前田貢作, 米田光宏, 亀井尚美, 木下義晶, 近藤知史, 杉山正彦, 菱木知郎, 平山裕, 水田耕一, 脇坂宗親, 佐々木文章, 佐藤智行, 大植孝治, 上松瀬新, 田尻達郎, 日本小児外科学会悪性腫瘍委員会: 小児の外科的悪性腫瘍 2008 年登録症例の全国集計結果の報告，2010 年 02 月
- 窪田昭男, 八木実, 木下義晶, 五味明, 古村眞, 田中芳明, 中村哲郎, 長谷川利路, 日本小児外科学会学術・先進医療検討委員会: わが国の新生児外科の現況, 2008 年新生児外科全国集計，日小外会誌，2010 年 02 月
- 田尻達郎, 木下義晶, 宗崎良太, 田中桜, 東真弓, 孝橋賢一, 田口智章: 神経芽腫の治療外科的立場から，小児がん，2010 年 02 月

c. 解説，書評など

- 畠中 史朗, 杜下 淳次, 樗木 晶子, 野口 ゆかり, 外園 栄作, 小宮 陽子, 東田 善治, 島ノ江 信芳, 中村 邦夫, 田代 洋行: 環境照度の違いが CRT モニタの輝度比と超音波画像のコントラストに与える影響，日本放射線技術学会雑誌, Vol. 65, No. 11, 1512-1518, (2009)，2009 年 10 月

受賞

- 平田,「母と子の保健と福祉の普及推進への貢献」，福岡県知事賞，福岡県，2009 年 11 月.
- 平田,「海外研究発表論文」，九州大学看護師同窓会長賞，九州大学看護師同窓会, 2009 年 10 月.
- 木下,「新規腫瘍マーカーによる小児固形悪性腫瘍における診断システムの確立」，福岡臨床医学研究賞, 2009 年 11 月.

報道

- 平田，毎日新聞,「助産師外来, 院内助産所の開設」, 2009 年 09 月.
- 新小田，読売新聞,「乳幼児期からの「眠育」(睡眠教育)の必要性について，親が気をつけなければならないポイント、平成 21 年 10 月 4 日 17 面」，2009 年 10 月 .
- 新小田, FBS,「特集－睡眠の不思議－」，2009 年 10 月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 木下，創薬化を目指した glypican-3 由来癌ペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験，厚生労働省医療技術実用化総合研究事業(スーパー特区)，2009 年 09 月～2011 年 09 月 .
- 野口，超音波検査室における最適な照明環境の研究，ヤマギワ株式会社 株式会社 コ・メディカル，2007 年 01 月～2012 年 03 月.

2. 受託研究

- 加来， 地域医療における細胞診断の意義， 臨床病態医学研究所, 2007 年 01 月～2013 年 04 月.

3. **取得特許** なし
4. **兼業**　なし
5. **特記すべきその他の技術相談**　なし

5. 国際交流・協力活動

1. **海外出張・研修出張** なし
2. **外国人研究者の受入れ**
    a. **訪問教授・研究員** なし
    b. **訪問研究者** なし
3. **留学生の受入れ** なし
4. **学生の海外派遣** なし

6. 学内行政事務などの担当

1. **全学委員**
    - 加来，教育研究評議会委員
    - 加来，入学試験審議会委員
    - 新小田，臨床研究センター業務支援(プロトコール審査委員)
2. **部局委員**
    - 平田, 医学研究院　ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査専門委員会
    - 濵田，統合新領域学府入試委員会(WG)
3. **部門・コース内委員**
    - 平田，保健学専攻教務委員
    - 松﨑，医学研究院保健学部門広報委員会委員長
    - 松﨑，医学研究院保健学部門大学院委員会副委員長
    - 新小田, 施設委員
    - 新小田, 実習委員
    - 新小田, カリキュラムWC委員
    - 野口，再任審査委員会委員
    - 末次，看護学分野卒業研究委員
    - 末次，看護実践力ブロッサム開花プロジェクト　運営実行委員

7. 学外での活動

1. **他大学の非常勤講師**
    - 加来，佐賀大学医学部看護学科，非常勤講師
    - 新小田，広島県立看護大学，非常勤講師
    - 濵田，西南学院大学　人間科学部，集中講義
    - 濵田，福岡県看護教員養成課程，非常勤講師
    - 濵田，独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会，非常勤講師
    - 仲道，平成 21 年度福岡県看護協会　助産師職能研修　助産師実習指導者コース「実習指導の実際」, 非常勤講師.
    - 藤田，西南学院大学，非常勤講師
    - 藤田，福岡医療福祉大学，非常勤講師
2. **学協会**
    - 加来，福岡母性衛生学会，理事，国内.
    - 加来，日本婦人科腫瘍学会，評議員，国内.
    - 加来，日本臨床細胞学会九州連合会，理事（編集委員長），国内.
    - 加来，日本臨床細胞学会，評議員，国内.

- 加来，日本臨床細胞学会，その他（福岡県支部長），国内.
- 加来，日本婦人科腫瘍学会，理事，国内.
- 加来，日本臨床細胞学会，編集委員，国内.
- 加来，日本臨床細胞学会　九州連合会雑誌，編集委員長，国内.
- 加来，International Journal of Clinical Oncology，編集委員，国際.
- 平田，日本母子看護学会，理事及び査読委員，学術団体.
- 平田，日本母性衛生学会，査読委員，学術団体.
- 平田，日本母性衛生学会，評議員，国内.
- 平田，日本看護科学学会，査読委員，学術団体.
- 平田，日本助産学会，査読委員，学術団体.
- 平田，日本健康支援学会，評議員，国内.
- 平田，社団法人福岡県助産師会，会長，国内.
- 平田，公益法人全国助産師教育協議会，理事（地区理事 3 期，広報委員），国内.
- 平田，NPO 法人子ども家庭センター，理事（副理事長），国内.
- 平田，公益法人全国助産師教育協議会会報，編集委員長，国内
- 松﨑，日本小児がん学会誌「小児がん」，編集委員（副委員長）
- 新小田，日本母性衛生学会，査読委員 ，国内.
- 新小田，福岡母性衛生学会誌第 20 号，編集委員，国内.
- 新小田，日本看護研究会雑誌　査読委員，国内
- 濵田，日本家族看護学会,査読委員,国内
- 濵田，高知女子大学看護学会,査読委員,国内
- 木下，日本小児がん学会，その他（学術委員），国内.
- 木下，　日本小児血液・がん学会，評議員
- 木下，日本小児外科学会，評議員 ，国内.
- 木下，日本小児外科学会，悪性腫瘍委員会委員 ，国内.

3. 官界

- 平田，「福岡県社会福祉審議会・専門部会(児童虐待等死亡事例検証部会委員)，福岡市児童福祉審議会・権利擁護等専門部会・児童虐待死亡事例検証部会委員」，福岡県 福岡市 .
- 加来，福岡母性衛生学会，理事，国内.
- 平田，　社団法人日本助産師会，評議員，国内.
- 新小田，福岡母性衛生学会，幹事，学術学会・会報担当，国内
- 新小田，全国助産師教育協議会，理事，国内.
- 新小田，福岡県看護連盟，地区役員(施設代表)，国内.
- 新小田，福岡県助産師会地区理事，国内.
- 野口，福岡市助産師会，副会長，国内.
- 野口，福岡母性衛生学会，幹事，国内.
- 野口，九州大学助産師同窓会，理事，国内.
- 仲道，福岡母性衛生学会，幹事，国内.
- 仲道，九州大学助産師同窓会　役員，国内.
- 藤田，九州大学助産師同窓会　役員，国内.
- 末次，福岡母性衛生学会，幹事，国内.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 新小田,「「眠育」のシンポジウムなど地域啓発的な活動」
- 新小田，平成 21 年度九州大学病院　臨床指導者研修会講師
- 新小田，平成 21 年度福岡県看護協会　助産師職能研修会　助産師臨床指導者研修会講師

- 野口,「妊婦体験, 赤ちゃん人形抱っこ体験, 育児, よろず相談。」ハートフルフェスタ福岡実行委員会, 福岡市助産師会, (技術指導)
- 野口,「文部科学省平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム-医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」取組支援による九大助産師同窓会みのり会のホームページ作成をみのり会編集委員九大病院勤務助産師と一緒に担当した。保健学科と医療現場および九大卒後の助産師との情報双方向ツールを作成し, 最新の助産師国家試験等の情報提供および医療現場からの教育ニーズアンケート等現在の九大保健学科助産師教育へニーズ伝達のアクセスを容易にすることに寄与した。」, 九州大学医学部保健学科, (技術指導)
- 藤田,「九州大学総合周産期母子医療センター新生児部門看護師　院内研究の研究指導」
- 藤田,「非常勤看護師(クリニック)」

5. 公開講座・公開講演会

- 加来,「厚生労働省科学研究補助　こころの健康科学事業　チャイスコップ(Child Sleep Cohort Project) 乳幼児の睡眠健康教育講座「眠育」ー子どもの睡眠と心身発達ー, アクロス福岡.
- 平田,「周産期医療に関わる専門職を対象とした子ども虐待予防セミナーを福岡県内 4 ブロックにて開催」, 福岡県助産師会主催, ふくおか・こどもの虐待防止センターの協力. 福岡市, 北九州市, 飯塚市, 柳川市, セミナー・研修会,円形ホール, 講演会・公開討論.
- 平田,「講演:母子保健とワークライフバランス」, 社団法人全国保健センター連合会, 福岡市, 講演会・公開討論.
- 新小田,「厚生労働省科学研究補助　こころの健康科学事業　新小田班研究　チャイスコップ (Child Sleep Cohort Project)　乳幼児の睡眠健康教育講座「眠育」ー子どもの睡眠と心身発達ー 厚生労働省研究班:チャイスコップ(Child Sleep Cohort　Project)主催 後援:　福岡県, 福岡県看護協会, 福岡県母性衛生学会, 福岡市保育協会, メディカ出版, 妊娠・子育て情報誌. アクロス福岡円形ホール, 講演会・公開討論.
- 新小田,「平成 21 年度思春期ピアカウンセラー養成講座(後期フォローアップ講座), 日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会認定思春期ピアカウンセラー養成研修生として企画・募集・実施・講義」, 福岡県ピア研究会
- 濵田,「病気の子どものケアを考える-子どもの緩和ケアと子どもホスピス-」, 箱崎千年会議実行委員会. 福岡市東区箱崎, 公開講座.
- 木下,「安心できる子育て環境」, 福岡国際母子総合研究シンポジウム(FISP/M), 福岡市, 公開講座.
- 野口,「九州大学医学部保健学科実施による公開講座」, 九州大学医学部保健学科,九州大学病院地区コラボステーション, 公開講座.
- 野口,「めざせ助産師外来開設」をテーマに 2009 年 9 月 5 日, 10 月 3 日, 11 月 7 日, 12 月 5 日に 4 回コースを福岡市助産師会で企画, 実施」, 福岡市助産師会. 九州大学医学部保健学科, 浜の町病院, セミナー・研修会.
- 野口,「平成 21 年度思春期ピアカウンセラー養成講座(後期フォローアップ講座)。日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会認定思春期ピアカウンセラー養成者として企画・募集・実施・講義・会計を担当した。」, 福岡県ピア研究会, 連携・後援:九州大学保健学科, 福岡市東保健所, 福岡市助産師会, 九州大学ピアカウンセリング・ピアエデュケーションサークル, 日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会認定, 九州大学保健学科,福岡市東保健福祉センター, セミナー・研修会.
- 末次,「厚生労働省科学研究補助　こころの健康科学事業　チャイスコップ(Child Sleep Cohort Project) 乳幼児の睡眠健康教育講座「眠育」ー子どもの睡眠と心身発達ー, アクロス福岡.

6. 初等中等教育への貢献

- 野口，「福岡市内の中学校へのピアエデュケーションを取り入れた思春期性教育の実施支援（2006年～毎年に2～3校中学1年～3年生対象）」
- 新小田，「ピアエデュケーションを取り入れた思春期性教育の実施支援」福岡市内の中学校

看護学分野

≪地域・精神看護≫

教授　　長弘　千恵
教授　　鳩野　洋子
准教授　平野(小原)　裕子
講師　　藤野　成美
講師　　寺岡　佐和（育児休業;平成 21 年 8 月 17 日～平成 22 年 3 月 31 日）
助教　　木村　一絵（育児休業;平成 21 年 8 月 6 日～平成 22 年 5 月 31 日）
助教　　木原　深雪
助教　　前野　有佳里
助教　　馬場　香織（育児休業中の任用;平成 21 年 8 月 6 日採用, 平成 22 年 3 月 31 日退職）
助教　　ベヴァン　宏美（育児休業中の任用;平成 21 年 9 月 1 日採用, 平成 22 年 5 月 31 日退職）

１．教育活動

1. 大学院講義

長弘千恵

地域看護学特論(分担)	後期
地域生活ケアシステム論Ⅰ(分担)	前期
教育相談支援論(分担)	後期

鳩野洋子

ヘルスプロモーション支援論	後期
研究法Ⅱ	前期
地域生活ケアシステム論(分担)	後期
地域生活ケアシステム論Ⅰ	前期
地域生活ケアシステム論Ⅱ	後期

平野(小原)裕子

保健医療とIT	前期
保健学研究論	前期
アジアにおける保健学	前期
ヘルスサイエンス論	前期

2. 大学院実験・実習　なし

3. 大学院演習

長弘千恵

地域看護学演習(分担)	前期
看護学特別研究(分担)	通年

平野(小原)裕子

保健医療とソーシャルサポート	後期

4. 大学院修士課程修了者

岩木三保　筋萎縮性側索硬化症介護者の介護に対する工程的認知に影響する要因の検討
野津千佳　健康づくりに関するボランティア活動への男性高齢者の参加に関連する要因

5. 大学院博士課程修了者　なし

6. 学部講義

長弘千恵

対象別地域看護活動論(分担)	前期
在宅看護概論(分担)	前期
グループ・組織化活動論(分担)	前期
個人と家族のケア(分担)	後期

鳩野洋子

疫学・保健統計学(分担)	後期
地域看護学総論(分担)	前期
地域看護診断論	前期
健康教育論(分担)	前期
コアセミナー(分担)	前期
地域看護概論	後期

平野(小原)裕子

医療人類学	前期
国際保健学	後期(4 年次生および 2 年次生)
社会調査法	後期
多文化と看護	後期

藤野成美

こころの病気(分担)	前期
地域精神保健学(分担)	前期
コアセミナー(分担)	前期
地域精神保健学(分担)	後期
こころの看護(分担)	後期

寺岡佐和

産業看護論	前期
学校保健論	前期

前野有佳里

保健福祉行政論	前期
地域看護学総論(分担)	前期
健康教育論(分担)	前期
疫学・保健統計学(分担)	前期

7. 学部の実験・実習・演習

長弘千恵

在宅看護技術論(分担)	前期
地域看護学実習Ⅰ(分担)	通年
地域看護学実習Ⅱ(分担)	通年
卒業研究(分担)	後期

鳩野洋子

地域看護学実習Ⅱ（分担）	通年
卒業研究（分担）	後期

平野（小原）裕子

少人数ゼミナール	前期

藤野成美

精神看護学実習 （分担）	通年

木村一絵

在宅看護技術論（分担）	前期

前野有佳里

地域看護学実習Ⅱ（分担）	通年
卒業研究（分担）	後期

馬場香織

地域看護学実習Ⅰ（分担）	通年
卒業研究（分担）	後期

ベヴァン宏美

地域看護学実習Ⅰ（分担）	通年
卒業研究（分担）	後期

8. 卒業論文作成者

阿比留千尋	住民主体による 1 人暮らし高齢者を支える活動の効果に関する研究－配食サービス及び健康づくり事業に着目して-
荒川紗央莉	精神科における長期入院患者の退院促進に関わる看護師の陰性感情についての検討
石丸ひろみ	母子を対象とした家庭訪問事業の効果について-母親にとっての効果に焦点を当てて-
大塚真由美	HIV に感染した男性同性愛者の支援に関する研究-異性愛者と比較して-
奥村亜紗子	認知症患者に対する介入の根拠に関する研究
北村祐子	問題行動のある認知症高齢者の介護を行っている家族介護者の介護負担について
金叶	在日中国人女性の子どもの言語発達，子育てについての研究-対象者の夫が中国人と日本人の場合の比較-
小西香	女性のボディイメージの背景-ジェンダーの視点から-
迫村亜津	父親の育児参加を促進させる要因と保健師の支援について
高尾祐美恵	産業現場における家族保健指導の在り方-第 2 次世界大戦後の保健師活動から考える-
田中彩	アメリカ合衆国・英国における自立支援プログラムについて
中村春香	思春期・青年期の摂食障害患者におけるこだわり行動について-父子関係に注目して-
中村麻奈美	訪問看護師が行う精神障害者・家族関係の再構築-入院によって分離した家族の事例から-
吉野沙紀	自傷行為を繰り返す人格障害患者のケアにおいて，患者に巻き込まれないための看護師の対処や工夫についての検討
力丸純子	STD の予防行動に向けた教育の在り方についての研究
中村早希	South Asian Women’s Birth Experience in Japan and the Consideration of Maternal Care toward Foreigners in Japanese Obstetric System

9. 研究生　なし

２．学生支援活動

1. 学生課外活動指導

前野有佳里　　バスケットボール部（医短）顧問
鳩野洋子　　新入生合宿研修（新入生担任として参加）
藤野成美　　新入生合宿研修（新入生担任として参加）

３．研究活動

1. 主要研究事項

長弘千恵
　保健師養成の地域差に関する研究
鳩野洋子
　保健サービスの質の保証に関する研究
平野（小原）裕子
　経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士導入に関する研究
寺岡佐和
　認知症高齢者の QOL に関する研究
木村一絵
　育児支援に関する研究
木原深雪
　薬物依存症の回復過程に影響を及ぼす要因
　司法精神看護学の確立に向けての研究
前野有佳里
　措置入院における保健師のケア技術に関する研究

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

鳩野洋子
- 「基盤研究(C)」大学教育を地域貢献にいかす保健師等のコンピテンシー開発に関する研究，（分担）
- 「基盤研究(C)」保健師の措置入院における要保護者ケアプログラムの開発，（分担）
- 「基盤研究(C)」身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発，（分担）
- 「厚生労働科学研究　循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業」特定保健指導のアウトソーシング先に対する「保健指導の質の評価ガイド」を利用した質の管理・促進に関する研究，（分担）

平野（小原）裕子
- 「基盤研究(B)」経済連携協定に基づく外国人看護師の国際労働力移動と受け入れシステム構築に関する研究，（代表）

藤野成美
- 「基盤研究(C)」身体合併症ケア能力強化のための精神科看護師実践プログラムの開発とその評価，（代表）

寺岡佐和
- 「若手研究(B)」介護保険施設における認知症の三次予防に効果的な園芸療法プログラムの作成方法の研究，（代表）

木原深雪
- 「若手研究(スタートアップ)」アルコール依存症に関する研究，（代表）

前野有佳里
- 「基盤研究(B)」在日外国人に対する看護の現状と諸外国における状況との比較，（連携）
- 「基盤研究(C)」措置入院における保健師のケア技術とケアプログラム開発，（代表）
- 「挑戦的萌芽研究」植込み型徐細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケア，（分担）
- 「基盤研究(C)」高齢者の早期退院に向けた首下型簡易サウナによる看護プログラムの開発，（分担）

3. 学内研究経費の受け入れ　なし

4. 奨学寄附金の受入れ　なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

鳩野洋子
- 「福岡市保健福祉局 福岡市高齢者日常生活調査」

前野有佳里
- 「福岡市保健福祉局 福岡市高齢者日常生活調査」

6. 受託研究員・研修員の受入れ　なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 麻生保子, 鳩野洋子: 片麻痺患者に向けた外出用の靴の試作と評価，日本公衆衛生学雑誌，56(4):232-241，2009 年 4 月.
- 藤野成美, 山口扶弥, 岡村仁: 統合失調症患者の家族介護者における介護経験に伴う苦悩，*日本看護研究学会雑誌*，32 巻 2 号，2009 年 6 月.
- 脇崎裕子, 藤野成美, 福原百合: 精神障害者を有する長期入院高齢者の老いに関する研究，*日本精神科看護技術協会学会誌*，，2009 年 7 月.
- 山勢博彰, 立野淳子, 富岡明子, 田戸朝美, 山勢善江, 大山太, 三上剛人, 藤野成美, 山崎早苗, 園川雄二, 早坂百合子: 心肺蘇生処置中の家族立会いに関する現状および医療従事者の意識と家族の思い，*救命救急, 12(1), 28-29*，，2009 年 5 月.
- 山勢博彰, 立野淳子, 富岡明子, 田戸朝美, 山勢善江, 大山太, 三上剛人, 藤野成美, 山崎早苗, 園川雄二, 早坂百合子: 心肺蘇生中の家族の立会いに関する現状と医療従事者の意識調査(予備調査)，*日本救急看護学会雑誌*，，2010 年 2 月.
- 立野淳子, 山勢博彰, 山勢善江, 藤野成美, 藤田直子: わが国のクリティカルケアにおける医療者の遺族ケアに関する認識と現状，*日本クリティカルケア看護学会誌*，，2009 年 12 月.
- 原田春美, 小西美智子, 寺岡佐和, 浦光博: 支援場面における保健師の人間関係形成の方法とそのプロセスー家庭訪問での精神障害者支援に焦点をあててー，*実験社会心理学研究*，49(1):72-83，2009 年 8 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kayoko Hirano, Katsuko Suenaga, Yoshihide Sorimachi, Yoko Hatono, Ikumi Nakaita: Workplace Violence from Citizens (1): Public Health Center，41st APACPH Conference，2009 年 12 月 1 日，Japan.
- Katsuko Suenaga, Kayoko Hirano, Yoko Hatono, Ikumi Nakaita.: Workplace Violence from Citizens (3): Mental Health and Welfare，41st APACPH Conference，2009 年 12 月 1 日，Japan.

- Ikumi Nakaita, Kayoko Hirano, Katsuko Suenaga, Yoko Hatono, Eichi Senoo: Workplace Violence from Citizens (2): Child-Welfare Consultation Center, 41st APACPH Conference, 2009 年 12 月 1 日, Japan.
- 平野 裕子, 小川 玲子, 大野 俊: 来日のインドネシア人・フィリピン人看護師候補者の実像, 国際シンポジウム「東南アジアから日本へのケアワーカー移動をめぐる国際会議」, 2010 年 2 月 27 日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌　なし

d. 調査研究報告　なし

e. 国内学会での講演, 発表

- 飯吉令枝, 鳩野洋子, 中山貴美子: 地区組織の健康危機対応支援ツールの内容の妥当性の検討, 日本地域看護学会第 12 回学術集会, 2009 年 8 月 1 日, 千葉.
- 鳩野洋子, 尾形由起子, 山下清香: 特定保健指導の質の管理のためのガイドラインの作成, 日本地域看護学会第 12 回学術集会, 2009 年 8 月 1 日, 千葉.
- 岡本玲子, 谷垣靜子, 小寺さやか, 俵志江, 岩本里織, 鳩野洋子: 保健師等のコンピテンシーを高める学習支援プログラムの実施(1)～試行を経て大学院用開発に至るアクションリサーチ～, 日本地域看護学会第 12 回学術集会, 2009 年 8 月 1 日, 千葉.
- 小寺さやか, 谷垣靜子, 岡本玲子, 鳩野洋子, 俵志江: 保健師等のコンピテンシーを高める学習支援プログラムの実施(2)～経験年数別の学習ニーズと学習過程の特徴～, 日本地域看護学会第 12 回学術集会, 2009 年 8 月 1 日, 千葉.
- 尾島俊之, 早坂信哉, 原岡智子, 村田千代栄, 野田龍也, 船橋香緒里, 上田真仁, 三輪眞知子, 岩室紳也, 鳩野洋子, 福永一郎, 堀口逸子, 岡野谷純, 洲田靖夫: 新型インフルエンザ対策におけるボランティアの役割, 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 2009 年 10 月 1 日, 千葉.
- 西山真弓, 鳩野洋子, 鈴木豊子: 相模原市における保健指導事業について新型インフルエンザ対策におけるボランティアの役割, 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 1 日, 千葉.
- 船橋香緒里, 尾島俊之, 早坂信哉, 原岡智子, 村田千代栄, 野田龍也, 上田真仁, 三輪眞知子, 岩室紳也, 鳩野洋子, 福永一郎, 堀口逸子, 岡野谷純, 洲田靖夫: 平常時における自主防災組織と地区活動, 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 1 日, 千葉.
- 平野かよ子, 末永カツ子, 反町吉秀, 鳩野洋子, 中板育美, 妹尾栄一, 前野有佳里: 地域保健従事者が住民から受ける暴力の実態(1) 保健所, 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 23 日, 奈良.
- 中板育美, 平野かよ子, 末永カツ子, 鳩野洋子, 妹尾栄一, 反町吉秀, 川関和俊: 地域保健従事者が住民から受ける暴力の実態(2) 児童相談所, 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 23 日, 奈良.
- 鳩野洋子, 平野かよ子, 末永カツ子, 妹尾栄一, 中板育美, 反町吉秀, 前野有佳里: 地域保健従事者が住民から受ける暴力の実態(3) 精神保健福祉センター, 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 23 日, 奈良.
- 平野(小原)裕子: 日本インドネシア経済連携協定に基づくインドネシア人看護師の受け入れに関する研究, 日本保健医療社会学会, 2009 年 5 月 16 日, 熊本大学.
- 平野(小原)裕子: 看護師の国際移動と保健医療社会学の課題, 日本保健医療社会学会, 2009 年 5 月 17 日, 熊本.
- 平野(小原)裕子, 小川玲子, 大野俊 : 二国間経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士の導入に関する研究(3)フィリピン人候補者の属性と意識に関する調査, 日本社会学会, 2009 年 10 月 11 日, 東京.
- 安立清史, Kreasita, 小川玲子, 平野(小原)裕子, 川口貞親, 大野俊 : 二国間経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士の導入に関する研究(1)施設配属前のインドネシア介護福祉士候補者の意識 , 日本社会学会, 2009 年 10 月 11 日, 東京.
- 小川玲子, 平野(小原)裕子, 安立清史, 川口貞親, 大野俊: 二国間経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士の導入に関する研究(2)インドネシア人看護師・介護福祉士候補者の受け入れ病院・施設の比較調査, 日本社会学会, 2009 年 10 月 11 日, 東京.

- 平野裕子, 小川玲子, 大野俊: 来日前におけるフィリピン人看護師・介護士候補者の精神的健康に関連する要因, 日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 22 日, 奈良.
- 平野裕子, 小川玲子, 大野俊: インドネシア人看護師・介護士候補者の来日前における精神的健康に関連する要因, 日本社会精神医学会, 2010 年 2 月 26 日, 松江.
- 脇崎裕子, 藤野成美, 福原百合: 精神障害を有する長期入院高齢者の老いに関する研究, 第 15 回日本精神科看護学会, 2009 年 5 月 1 日, 大分.
- 藤野成美, 脇崎裕子: 精神科病院に長期入院中である統合失調症患者が捉える老いの認識と自己の将来像, 第 35 回日本看護研究学会, 2009 年 8 月 1 日.
- 立野淳子, 山勢善江, 山勢博彰, 田戸朝美, 正司亜矢子, 藤野成美: 重症救急患者家族への標準看護モデルの開発 第 1 報 , 日本救急看護学会, 2009 年 11 月 1 日.
- 木原深雪, 宮本真巳: 薬物依存症の回復過程に影響を及ぼす要因－重複障害例を中心に－, 日本嗜癖行動学会, 熊本.
- 木原深雪: 薬物依存症デイケア施設の機能向上についての検討, 東京.
- 前野有佳里: 高齢者の入浴方法の検討―家庭用ミストサウナの使用実態調査から―, 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009 年 10 月 21 日, 奈良.

f. 学会以外での講演, 発表　なし

著作

a. 単行本

鳩野洋子

- 南裕子責任総編集, 鳩野洋子, 他編集: 看護大事典第2版編集, 2010 年 1 月, 医学書院.

藤野成美

- 小田正枝, 下舞紀美代, 山勢博彰, 津波古澄子, 古川秀俊, 日高艶子, 山勢善江, 伊東美佐江, 藤野成美他 7 名: (共著) ロイ適応看護理論の理解と実践, 2009 年 07 月, 医学書院.

b. 総説

鳩野洋子

- 松尾やす子, 大熊かおる, 加々田真美, 糸瀬孝子, 甲斐祥一, 鳩野洋子: 特定健康診査・保健指導を円滑に実施するための保健所の取り組み, 保健師ジャーナル 65(6): 470-476, 2009 年 5 月.
- 鳩野洋子: 効果的な保健活動に必要な行政保健師を確保するためのコツ―最終回総括 地域住民へのよりよいサービス提供のために, 公衆衛生情報 39(3): 48-51, 2009 年 4 月 .
- 鳩野洋子: 事例からみた保健師活動におけるターニングポイント. 保健師ジャーナル. 65(8):642-645, 保健師ジャーナル. 2009;65(8): 642-645, 2009 年 5 月.
- 鳩野洋子: 市町村における特定保健指導の質の管理に関する実態調査, 公衆衛生情報 39(5): 44-46, 2009 年 6 月.
- 鳩野洋子: 特定保健指導サービスの実施における保健所・都道府県に対する市町村の期待, 公衆衛生情報 36(6): 48 -50, 2009 年 7 月.
- 岡本玲子, 合田加代子, 鳩野洋子, 草野恵美子, 小寺さやか: 英国に探る保健師教育の質保証―保健師教育課程の実際, 公衆衛生情報 39(9): 24-29, 2009 年 8 月 .
- 草野恵美子, 岡本玲子, 鳩野洋子, 小寺さやか, 合田加代子: 英国に探る保健師教育の質保証―「高等教育枠組み」と保健師教育, 公衆衛生情報 39(10): 46-50, 2009 年 9 月 .
- 小寺さやか, 鳩野洋子, 岡本玲子, 合田加代子, 草野恵美子: 英国に探る保健師教育の質保証―実習指導者の質保証, 公衆衛生情報 39(11): 38-43, 2009 年 10 月 .
- 鳩野洋子, 中山貴美子, 飯吉令枝: 地震災害時に向けた地区組織との協働支援ツールの開発, 地域保健 41(1): 32-39, 2010 年 1 月.

平野(小原)裕子

- 平野裕子: 外国人看護師・介護福祉士の導入⑧日本での市場拡大を狙うインドネシア, 文化連情報, pp.23-27, 2009 年 11 月 .

- 平野裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑨外国人看護師はどの国の人たちも同じか？，文化連情報，pp.24-27，2009 年 12 月．
- 平野裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑩国家試験対策－日本語能力だけの問題だろうか？，文化連情報，pp.48-51，2010 年 1 月．
- 平野裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑪フィリピン人第一陣受入れ病院の調査－インドネシア人第一陣受入れ病院との比較から，文化連情報，pp.44-46，2010 年 2 月．
- 平野裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑫日比 EPA 成功のカギ－出稼ぎ大国フィリピン側のまなざし，文化連情報，pp.48-51，2010 年 3 月．

c. 解説，書評など

平野（小原）裕子

- 平野（小原）裕子：外国人看護師，臨床現場に③日本はフィリピン人看護師にとって魅力のある国になれるか，ナーシング・トゥデイ，pp.78-79，2009 年 5 月．
- 平野　裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入④フィリピン人看護師にとって日本は魅力的な国となれるか？，文化連情報，pp.42-45，2009 年 6 月．
- 平野　裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑤病院配属から 4 ヶ月－現場の声から，文化連情報，pp.44-47，2009 年 7 月．
- 平野　裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑥「国際商品」としてのフィリピン人海外出稼ぎ労働者－華やかな壮行会とその陰で，文化連情報，pp.56-59，2009 年 8 月 ．
- 平野　裕子：外国人看護師・介護福祉士の導入⑦配属後の「ハネムーン」期が終わって，文化連情報，pp.44-47，2009 年 10 月 ．

藤野成美

- 藤野成美：アセスメントにもっと役立つ看護理論-ストレス・コーピング理論-，2010 年 2 月．

受賞　なし

報道

- 平野（小原），NHK国際放送，「インドネシア人介護福祉士候補者が現場で抱える「言葉」の問題と，それにどのように対処していくべきかという点についてコメントした。」，2009 年 04 月．

４．産学連携活動

1. 共同研究　なし

2. 受託研究

鳩野洋子

- 福岡市保健福祉局　高齢者日常生活調査，福岡市，2009 年 4 月～2010 年 3 月．

前野有佳里

- 福岡市保健福祉局　高齢者日常生活調査，福岡市，2009 年 4 月～2010 年 3 月．

3. 取得特許　なし

4. 兼業　なし

5. 特記すべきその他の技術相談　なし

５．国際交流・協力活動

1. 海外出張･研修出張

- 長弘，広東省広東医科大学看護大学(China)，大学･研究所訪問，2010 年 3 月～2010 年 3 月 (2 週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授･研究員　なし

b. 訪問研究者　なし

3. 留学生の受入れ　なし

4. 学生の海外派遣　なし

６．学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 長弘，高等教育開発推進センター委員会

2. 部局委員　なし

3. 部門･コース内委員

- 長弘，実習委員会(4 月まで寺岡)
- 鳩野，研究推進委員会
- 鳩野，総務委員会
- 鳩野，実習委員会
- 藤野，広報委員会

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 長弘，福岡県看護教員養成講習会／福岡県，非常勤講師.
- 長弘，九州大学大学院人間環境学府，非常勤講師.
- 鳩野，放送大学，非常勤講師.
- 藤野，国際医療福祉大学福岡看護学部，非常勤講師.

2. 学協会

- 長弘，聖マリア学術学会雑誌，査読委員，国内.
- 鳩野，科学研究費委員会専門委員，日本学術振興会，学術団体.
- 鳩野，日本公衆衛生学会，評議員，査読委員，国内.
- 鳩野，日本看護科学学会，代議員，査読委員，国内.
- 鳩野，日本地域看護学会， 評議員，編集委員会委員，国内.
- 平野(小原)，日本保健医療社会学会，運営委員，国内.
- 平野(小原)，International Journal of Japanese Sociology，編集委員，国際.

3. 官界

- 鳩野，「福岡市保健福祉審議会委員」，福岡市.
- 鳩野，「福岡市介護予防教室運営業務委託事業者選定委員会委員」，福岡市.
- 鳩野，「福岡市地域保健部会委員」，福岡市.
- 鳩野，「福岡市高齢者保健福祉部会委員」，福岡市.
- 鳩野，「粕屋町国保ヘルスアップ事業運営委員会委員」，粕屋町.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野，「日本看護協会保健指導支援事業「特定保健指導スキルアップのための OJT 事例集」作成委員会委員長」，日本看護協会
- 鳩野，福岡医学雑誌，編集委員，国内.
- 鳩野，教育と医学，編集委員，国内.
- 前野，「福岡市南区乳幼児調査研究協力」，2009.

5. 公開講座・公開講演会

- 長弘，「福岡市東区民生・児童委員研修大会」．福岡市，セミナー・研修会.
- 鳩野，「保健活動の評価」，保健師 CPD 研究会．岡山，セミナー・研修会.
- 鳩野，「グループワークのすすめ方」，福岡県看護教員養成講習会．福岡県看護協会，講演会・公開討論.
- 鳩野，「保健活動評価」，福岡県リーダー研修会．ホテルレガロ，講演会.
- 鳩野，「地域診断と保健活動評価」，久留米市．講演会.
- 鳩野，「保健活動の展開」，福岡市． 講演会・公開討論.
- 鳩野，「保健サービスの質の管理」，高知県. 高知県研修センター，研修会.
- 鳩野，「特定保健指導事業の質の管理と評価」，国立保健医療科学院．研修会.
- 前野，「福岡県看護教員養成講習会」，福岡県保健医療介護部医療指導課．セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 長弘，「看護学概論の模擬授業」，福岡県春日市立春日西中学校．その他.
- 長弘，「看護教育制度についての説明会」，福岡県内の虫学校・高校の教員．講演・セミナー等.

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

≪基礎放射線科学≫

教授	大喜　雅文
教授	豊福　不可依
教授	鬼塚　昌彦
准教授	高橋　昭彦
准教授	有村　秀孝
助教	小段　謙一

1. 教育活動

1.　大学院講義

大喜　雅文

医用画像情報科学論（分担）	前期
保健・医療とIT（分担）	前期
量子線理工科学Ⅰ(分担)	前期

豊福　不可依

量子線理工科学Ⅰ(分担)	前期
基礎量子力学	後期
先端医用量子線工学論	後期

鬼塚　昌彦

基礎量子線治療科学論	後期

高橋　昭彦

基礎電磁波論	前期
量子線理工科学Ⅰ(分担)	前期

有村　秀孝

保健・医療とIT（分担）	前期
医学物理情報理論	前期
量子線理工科学Ⅰ(分担)	前期

2.　大学院実験・実習 なし

3.　大学院演習

大喜　雅文

医用画像情報科学演習（分担）	通年
量子線理工科学Ⅱ（分担）	通年

豊福　不可依

量子線理工科学Ⅱ(分担)	通年

有村　秀孝

医用画像情報科学論演習（分担）	前期
量子線理工科学Ⅱ(演習)	後期

4. 大学院修士課程修了者

尾形　学	2 波長分光イメージングによる眼底血中酸素飽和度計測
岡崎　功太	極端紫外光および赤外光を用いた透明材料の微細加工
馬込　大貴	多発性硬化症患者の MR 画像における大脳白質･灰白質領域の自動抽出法の開発 Automated method for segmentation of cerebral white matter and gray matter regions in MR images of multiple sclerosis patients

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

大喜　雅文

医療統計学（分担）	前期
医用情報解析学（分担）	前期
基礎医療統計（分担）	後期
放射線医学入門（分担）	前期

鬼塚　昌彦

現代物理学概論	前期
放射線計測学Ⅰ	後期
放射線医学入門（分担）	前期

豊福　不可依

放射線物理学	前期
加速器概論	前期
医用外国語	後期
放射線診断物理学(分担)	後期
放射線診断機器学(分担)	後期
放射線医学入門（分担）	前期

高橋　昭彦

電磁気学	前期
医用電気電子工学Ⅰ	前期
医用光学	前期
電磁気学	後期
医用電気電子工学Ⅱ	後期
放射線医学入門（分担）	前期

有村　秀孝

コンピュータ支援診断学（分担）	前期
品質管理論（分担）	後期
医用画像処理学Ⅰ	後期
医用情報解析学	前期
医用画像処理学Ⅱ	後期
放射線医学入門（分担）	前期

小段　謙一

放射線診断機器学　（分担）	後期
放射線医学入門　（分担）	前期

7. 学部の実験・実習・演習

大喜 雅文

卒業研究 （分担）	通年
情報処理演習I（分担）	後期

鬼塚 昌彦

卒業研究 （分担）	通年
放射線計測学実験Ⅰ（分担）	前期
放射線計測学実験Ⅱ	後期

豊福 不可依

卒業研究 （分担）	通年
放射線計測学実験Ⅰ（分担）	前期
画像再構成学・演習	前期
放射線機器学実験（分担）	後期

高橋 昭彦

卒業研究 （分担）	通年
医用電気電子工学実験Ⅱ（分担）	前期
医用電気電子工学実験Ⅰ	後期

有村 秀孝

卒業研究 （分担）	通年
医用画像処理学演習	前期
放射線計測学実験Ⅰ（分担）	後期
放射線医学入門 （分担）	前期

小段 謙一

卒業研究 （分担）	通年
医用電気電子工学実験Ⅱ（分担）	前期
放射線計測学実験Ⅰ	前期
放射線機器学実験（分担）	後期

8. 卒業論文作成者

河野 将司	細胞診画像における細胞核像の自動抽出と特徴計測
今宮 貴裕	TEA CO2 レーザー光の金属グリッドマスクによる SiO2 の微細加工
田中 文也	モンテカルロシミュレーションを用いた眼底組織の光伝搬・散乱特性の計算
桑水流純平	3TMR 画像を用いた多発性硬化症候補領域検出方法の開発
徳永 千晶	T1 強調 MR 画像における脳実質の自動領域分割
溝口明日実	EPID と水等価ファントムの側方散乱カーネルの測定
笹路 麻里	強度変調放射線治療（IMRT）の線量検証機器の文献的考察
山下 友也	強度変調放射線治療（IMRT）最適化の文献的考察
川崎美代子	マンモグラフィ X 線に対するガラス線量計のエネルギー特性の検討
安川 史織	ガラス線量計によるマンモグラフィ X 線の測定 -1 回照射による半価層の測定-
綿島 理恵	eXe を用いた X 線 CT 学習教材の作成

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価	大喜
2	医用画像処理による診断支援	大喜
3	放射光による医学イメージングに関する研究	豊福
4	Ｘ線による定量的画像化に関する研究	豊福
5	レーザー生成プラズマによる短波長光源の開発とその応用	高橋
6	光生体計測の計算機シミュレーションに関する研究	高橋
7	アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
8	血管性認知症検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
9	多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
10	放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村
11	減弱データによるＸ線スペクトルの算出	小段
12	低次多項式による誤差の少ない補間法の研究	小段
13	Ｘ線発生装置を用いる放射線機器学実験用シミュレータの開発	小段
14	低次多項式による誤差の少ない自動補間法の開発	小段
15	マイクロデンシトメータを用いた MTF 自動測定法の開発	小段

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

有村秀孝

- 「基盤研究(C)」脳機能形態MR画像に基づくアルツハイマー型認知症の高精度検出システムの開発,（代表），1100 千円.
- 「基盤研究(C)」 拡散テンソルMRIを用いた脳内ネットワークイメージング法の開発とその臨床応用,（分担），0 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Takahashi K, Sueoka M, Yoon Y, Hiwasa T, Hatanaka S, Nakamura Y, Hashimoto N, Ohki M and Morishita J: Detectability of a lung nodule displayed on a liquid-crystal display monitor with different maximum luminance settings, *Radiological Physics and Technology*, 3(1), 10-15, 2010 年 01 月. (査読あり)
- Hatanaka S, Morishita J, Hiwasa T, Dogomori K, Toyofuku F, Ohki M, Higashida Y: Comparison of viewing angle and observer performances in different types of liquid-crystal display monitors, *Radiological Physics and Technology*, 2(2), 166-174, 2009 年 08 月. (査読あり)

- Yoshiura T, Noguchi T, Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, Nakao T, Nagao E, Kumazawa S, Arimura H, Honda H.: Age-Related Microstructural Changes in Subcortical White Matter During Postadolescent Periods in Men Revealed by Diffusion-Weighted MR Imaging., *Human Brain Mapping*, 30(10):3142-50, 2009 年 10 月. (査読あり)
- Arimura H, MagomeT, Yamashita Y, Yamamoto D.: Computer-aided Diagnosis Systems for Brain Diseases in Magnetic Resonance Images, *Algorithms*, 2009, 2(3), 925-952, 2009 年 07 月. (査読あり)
- Yoshitake T, Shioyama Y, Nakamura K, Ohga S, Nonoshita T, Ohnishi K, Terashima K, Arimura H, Hirata H, Honda H.: A clinical evaluation of visual feedback-guided breath-hold reproducibility of tumor location, *Physics in Medicine and Biology*, 54, 7171-7182, 2009 年 11 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Tanaka N, Naka K, Kumazawa S, Morishita J, Arimura H, Toyohuku F, Ohki M, Higashida Y: Imaging Properties of Digital Magnification Mammography, WORLD CONGRESS 2009—MEDICAL PHYSICS AND BIOMEDICAL ENGINEERING, 2009 年 09 月 09 日, Japan.
- Naka K, Tanaka N, Kumazawa S, Morishita J, Arimura H, Toyohuku F, Ohki M, Higashida Y: Investigation of optimum grid for digital radiography, WORLD CONGRESS 2009—MEDICAL PHYSICS AND BIOMEDICAL ENGINEERING, 2009 年 09 月 09 日, Japan.
- S. Kawaguchi, Y. Yamaguchi, H. Arimura, J. Morishita, M. Ohki, Y. Uno, T. Ideguchi, Y. Higashida, F. Toyofuku: Reconstruction of mammography x-ray spectrum by using Rayleigh and Compton scattering corrections, WORLD CONGRESS 2009—MEDICAL PHYSICS AND BIOMEDICAL ENGINEERING, 2009 年 09 月 09 日, Japan.
- Y. Yamaguchi, S. Kawaguchi, H. Arimura, J. Morishita, M. Ohki, Y. Uno, T. Ideguchi, K. Tokumori, Y. Higashida, F. Toyofuku : Relative Contributions of Rayleigh Scattering for PMMA in the Mammography Energy Range, WORLD CONGRESS 2009—MEDICAL PHYSICS AND BIOMEDICAL ENGINEERING, 2009 年 09 月 09 日, Japan.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nomoto S, Ohnishi K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Hirata H.: Automated Selection Method for Similar MR Images with Brain Tumors for Assisting Radiation Treatment Planning, ASTRO Annual Meeting, 2009 年 11 月 01 日, United States of America.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Monji A, Noguchi T, Toyofuku F, Ohki M, Nakamura Y, Honda H.: Computer-aided classification of patients with dementia of Alzheimer's type based on cerebral blood flow determined with arterial spin labeling technique, SPIE International Symposium Medical Imaging, 2010 年 02 月 18 日, United States of America.
- Arimura H, Kawata Y, Yamashita Y, Magome T, Ohki M, Toyofuku F, Higashida Y, Tsuchiya K.: Computerized evaluation method of white matter hyperintensities related to subcortical vascular dementia in brain MR images, SPIE International Symposium Medical Imaging, 2010 年 02 月 13 日, United States of America.
- Arimura H, Kawata Y, Yamashita Y, Magome T, Ohki M, Toyofuku F, Higashida Y, Tsuchiya K.: Computerized evaluation method of white matter hyperintensities related to subcortical vascular dementia in brain MR images, SPIE International Symposium Medical Imaging, 2010 年 02 月 13 日, United States of America.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nomoto S, Ohnishi K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Hirata H.: Automated Selection Method for Similar MR Images with Brain Tumors for Assisting Radiation Treatment Planning, The American Society

for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO), 2009 年 11 月 01 日, United States of America.

- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nomoto S, Ohnishi K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Hirata H.: Automated Selection Method for Similar MR Images with Brain Tumors for Assisting Radiation Treatment Planning, The American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO), 2009 年 11 月 01 日, United States of America.
- Kawaguchi S, Yamaguchi Y, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Higashida Y, Toyofuku F.: Reconstruction of Mammography X-ray Spectrum by Using Rayleigh and Compton Scattering Corrections, World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2009, 2009 年 09 月 08 日, Germany.
- Yamaguchi Y, Kawaguchi S, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Tokumori K, Higashida Y, Toyofuku F.: Rayleigh and Compton scattering analysis for PMMA in the mammography energy range, World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2009, 2009 年 09 月 08 日, Germany.
- Jingu R, Ohki M, Arimura H, Morishita J, Toyofuku F, Higashida Y.: An Automated Analysis of Contrast Detail Phantom Images for Quality Control, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Yamaguchi Y, Kawaguchi S, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Tokumori K, Higashida Y, Toyofuku F.: Relative Contributions of Rayleigh Scattering for PMMA in the Mammography Energy Range, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Kawaguchi S, Yamaguchi Y, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Higashida Y, Toyofuku F.: Reconstruction of Mammography X-ray Spectrum by UsingRayleigh and Compton Scattering Corrections, American Association of Physicists in Medicine(AAPM), 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Takahashi K , Morishita J , Sakai S , Toyofuku F, Higashida Y, Ohki M : Comparison of Detectability of a Simple Object with Low Contrast Displayed On a High-Brightness Color LCD Monitor and a Monochrome LCD Monitor, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Jingu R, Ohki M, Arimura H, Morishita J, Toyofuku F, Higashida Y: Automated Analysis of Contrast Detail Phantom Images for Quality Control, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 26 日, United States of America.
- Yamaguchi Y, Kawaguchi S, Arimura H, Morishita J, Ohki M , Uno Y, Ideguchi T, Tokumori K, Higashida Y, Toyofuku F : Relative Contributions of Rayleigh Scattering for PMMA in the Mammography Energy Range, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 26 日, United States of America.
- Kawaguchi S, Yamaguchi Y, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Higashida Y, Toyofuku F : Reconstruction of Mammography X-Ray Spectrum Using Rayleigh and Compton Scattering Corrections, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 26 日, United States of America.
- S. Kawaguchi, Y. Yamaguchi, H. Arimura, J. Morishita, M. Ohki, Y. Uno, T. Ideguchi, Y. Higashida, and F. Toyofuku: Reconstruction of mammography x-ray spectrum by using Rayleigh and Compton scattering corrections, World Congress of Medical Physics and Biomedical Engineering, 2009 年 09 月 08 日, Germany.
- Y. Yamaguchi, S. Kawaguchi, H. Arimura, J. Morishita, M. Ohki, Y. Uno, T. Ideguchi, K. Tokumori, Y. Higashida, and F. Toyofuku: Rayleigh and Compton scattering analysis for

PMMA in the mammography energy range, World Congress of Medical Physics and Biomedical Engineering, 2009 年 09 月 08 日, Germany.

- Kawaguchi S, Yamaguchi Y, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Higashida Y, Toyofuku F.: Reconstruction of Mammography X-ray Spectrum by Using*Rayleigh and Compton Scattering Corrections, AAPM, 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Yamaguchi Y, Kawaguchi S, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Tokumori K, Higashida Y, Toyofuku F.: Relative Contributions of Rayleigh Scattering for PMMA in the Mammography Energy Range, AAPM, 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Jingu R, Ohki M, Arimura H, Morishita J, Toyofuku F, Higashida Y.: An Automated Analysis of Contrast Detail Phantom Images for Quality Control, AAPM, 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Yamaguchi Y, Kawaguchi S, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Tokumori K, Higashida Y, Toyofuku F.: Rayleigh and Compton scattering analysis for PMMA in the mammography energy range, World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2009, 2009 年 09 月 08 日, Germany.
- Kawaguchi S, Yamaguchi Y, Arimura H, Morishita J, Ohki M, Uno Y, Ideguchi T, Higashida Y, Toyofuku F.: Reconstruction of Mammography X-ray Spectrum by Using Rayleigh and Compton Scattering Corrections, World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering 2009, 2009 年 09 月 08 日, Germany.
- Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Anai S, Nomoto S, Hirata H, Honda H, Toyofuku F, Onizuka Y, Terashima H.: Automated Localization Method for a Lung Tumor on EPID Images without Implanted Markers in Stereotactic Body Radiotherapy, The American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO), 2009 年 11 月 01 日, United States of America.
- Kawata H, Arimura H, Suefuji H, Ohkura S, Ono H, Saida H, Hayabuchi N.: Automated Identification of Radioactive Iodine-125 Seed Locations using Pelvic Radiography in Prostate Brachytherapy, The American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO), 2009 年 11 月 01 日, United States of America.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nomoto S, Ohnishi K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Hirata H.: Automated Selection Method for Similar MR Images with Brain Tumors for Assisting Radiation Treatment Planning, The American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO), 2009 年 11 月 01 日, United States of America.
- Arimura H, Kawata Y, Yamashita Y, Magome T, Ohki M, Toyofuku F, Higashida Y, Tsuchiya K.: Computerized evaluation method of white matter hyperintensities related to subcortical vascular dementia in brain MR images., SPIE International Symposium Medical Imaging, 2010 年 02 月 13 日, United States of America.
- Yamashita Y, Arimura H, Yoshiura T, Monji A, Noguchi T, Toyofuku F, Oki M, Nakamura Y, Honda H.: Computer-aided classification of patients with dementia of Alzheimer's type based on cerebral blood flow determined with arterial spin labeling technique., SPIE International Symposium Medical Imaging,San Diego, 2010 年 02 月 18 日, United States of America.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演，発表

- 神宮綾多郎、渡辺寿美子、田宮貞史、加来恒壽、大喜雅文、菊池友紀、仲正喜、大久保文彦、杉島節夫、岩坂剛: 細胞診における画像解析法の開発 ―核内クロマチン分布の定量評価 へ向けて(I)―，日本臨床細胞学会総会，2009 年 06 月 01 日，東京.
- 渡辺寿美子、田宮貞史、加来恒壽、大喜雅文、神宮綾多郎、杉島節夫、小林裕明、和氣徳夫、横山正俊、岩坂剛: 細胞診における画像解析法の開発 ― 核内クロマチン分布の定量評価へ向けて(Ⅱ)―，日本臨床細胞学会総会，2009 年 06 月 01 日，東京.
- 馬込大貴，有村秀孝，塩山善之，中村和正，野元諭，大西かよ子，穴井重男，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，鬼塚昌彦，平田秀紀: 高精度放射線治療計画支援のための類似症例検索システムの開発，，2010 年 01 月 30 日.
- 板野航，有村秀孝，塩山善之，馬込大貴，吉武忠正，穴井重男，中村和正，吉留郷志，橘昌幸，野元諭，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，平田秀紀: 放射線治療におけるポータル画像とDRR 画像に基づいたセットアップエラーの推定方法の開発，電子情報通信学会(IEICE)，2010 年 01 月 28 日.
- 馬込大貴，有村秀孝，塩山善之，中村和正，野元諭，大西かよ子，穴井重男，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，鬼塚昌彦，平田秀紀: 放射線治療のための類似症例検索方法の開発，電子情報通信学会(IEICE)，2010 年 01 月 28 日.
- 山下泰生，有村秀孝，吉浦敬，馬込大貴，小林幸次，門司晃，豊福不可依，大喜雅文，中村泰彦，本田浩: ASL による脳血流マップに基づいたアルツハイマー型認知症の鑑別支援診断システムの開発，電子情報通信学会(IEICE)，2010 年 01 月 28 日.
- 溝口明日実，有村秀孝，吉留郷志，橘昌幸，塩山善之，本田浩，東田善治，豊福不可依，大喜雅文，平田秀紀: ポータル画像を用いた EPID の側方散乱カーネルの測定，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日.
- 徳永千晶、有村秀孝、吉浦敬、山下泰生、本田浩、東田善治、豊福不可依、大喜雅文: T1 強調 MR 画像における脳実質の自動領域分割，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日.
- 桑水流純平，有村秀孝，掛田伸吾，山本大輔，馬込大貴，山下泰生，大喜雅文，豊福不可依，東田善治，興梠征典: 3TMR 画像を用いた多発性硬化症候補領域検出方法の開発，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日.
- 山下泰生、有村秀孝、吉浦 敬、小林幸次、豊福不可依、大喜雅文、中村泰彦、本田 浩: Arterial Spin Labeling による脳機能画像に基づくアルツハイマー病のコンピューター支援診断システムの開発，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日.
- 山下泰生，有村秀孝，吉浦敬，小林幸次，豊福不可依，大喜雅文，中村泰彦，本田浩: SL による CBF マップに基づいたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発，第 37 回日本放射線技術学会(JSRT)，2009 年 10 月 22 日.
- 板野航，有村秀孝，塩山善之，馬込大貴，穴井重男，中村和正，橘昌幸，吉留郷志，野元諭，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，平田秀紀: ポータル画像とDRR 画像に基づいた患者セットアップの自動照合法，第 155 回医用画像情報学会(MII)，2009 年 10 月 03 日.
- 板野航，有村秀孝，塩山善之，馬込大貴，穴井重男，中村和正，橘昌幸，吉留郷志，野元諭，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，平田秀紀: 患者セットアップのためのポータル画像とDRR 画像を用いた自動照合法の開発，第 98 回日本医学物理学会(JSMP)，2009 年 09 月 18 日.
- 馬込大貴，有村秀孝，塩山善之，野元諭，大西かよ子，本田浩，大喜雅文，豊福不可依，鬼塚昌彦，平田秀紀: 膠芽腫における類似症例提示システムの開発，第 22 回日本放射線腫瘍学会(JASTRO)，2009 年 09 月 19 日.
- 有村秀孝，山本大輔，掛田伸吾，桑水流純平，馬込大貴，山下泰生，大喜雅文，豊福不可依，東田善治，興梠征典: 3.0T 脳 MR 画像に基づいた多発性硬化症病変部の検出方法の開発，第 28 回日本医用画像工学会大会(JAMIT)，2009 年 08 月 04 日.

- 馬込大貴,有村秀孝,掛田伸吾,山本大輔,河田康雄,山下泰生,大喜雅文,豊福不可依,東田善治,興梠征典: 多発性硬化症における脳領域の自動抽出, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 19 日.
- 有村秀孝,山本大輔,掛田伸吾,馬込大貴,山下泰生,大喜雅文,豊福不可依,東田善治,興梠征典: 3.0T MR 画像を用いた多発性硬化症病変部の検出方法の開発, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 19 日.
- 高橋 慶多, 末岡 正輝, 杜下 淳次, 坂井 修二, 中村 泰彦, 橋本 憲幸, 大喜 雅文: LCD の最高輝度が診断能に及ぼす影響, 医用画像情報学会(MII), 2009 年 06 月 06 日.
- 高橋 慶多(学生賞受賞), 杜下 淳次, 坂井 修二, 大喜 雅文: 2 メガピクセル高輝度カラーLCD モニタとモノクロ LCD モニタの検出能の比較, 日本放射線技術学会第65回総会学術大会, 2009 年 04 月 17 日.
- 岡崎功太, 鳥居周一, 秋山智哉, 牧村哲也, 新納弘之, 村上浩一, 中村大輔, 高橋昭彦, 岡田龍雄: 透明材料の微細加工のためのレーザー生成プラズマ極端紫外線光源の開発 , 春季第 56 回応用物理学関係連合講演会 , 2009 年 04 月 02 日, 筑波大学.
- 高橋 昭彦　岡崎 功太　中村 大輔　岡田 龍雄(九州大学) 鳥居 周一　牧村 哲也　村上 浩一(筑波大学) 新納 弘之 (産総研) : レーザ生成プラズマ EUV 光による透明材料の直接加工, 電気学会 光・量子デバイス研究会「量子ビームとナノバイオエレクトロニクス」, 2009 年 05 月 07 日, 神戸大学.
- 岡崎 功太, 鳥居 周一, 遠矢 和勇騎, 蔦 浩司, 牧村 哲也, 新納 弘之, 村上 浩一, 中村大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄: 金属グリッドマスクを用いた TEA CO2 レーザーによる SiO2 の微細加工, 第 62 回電気関係学会九州支部連合大会, 2009 年 09 月 01 日.
- 岡崎 功太, 鳥居 周一, 遠矢 和勇騎, 蔦 浩司, 牧村 哲也, 新納 弘之, 村上 浩一, 中村大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄: TEA CO2 レーザー近接場光による SiO2 の微細加工, 第 70 回応用物理学会学術講演会, 2009 年 09 月 10 日, 富山大学.
- 岡崎 功太, 鳥居 周一, 遠矢 和勇騎, 蔦浩司, 牧村 哲也, 新納 弘之, 村上 浩一, 中村大輔, 高橋 昭彦, 岡田 龍雄: TEA CO2 レーザー光と金属マスクのフレネル回折を利用した SiO2 の微細加工, 応用物理学会九州支部学術講演会, 2009 年 11 月 01 日.
- 岡崎 功太, 鳥居 周一, 牧村 哲也, 新納 弘之, 村上 浩一, 中村 大輔, 高橋 昭彦, 岡田龍雄: 赤外レーザーと近接場光を組み合わせたシリカガラスの微細加工, レーザー学会第 395 回研究会, 2009 年 12 月 07 日.
- 岡崎功太, 鳥居周一, 牧村哲也, 新納弘之, 村上浩一, 中村大輔, 高橋昭彦, 岡田龍雄: 金属マスク通過 TEA CO2 レーザーフレネル回折光を用いた SiO2 の微細加工, レーザー学会学術講演会第 30 回年次大会, 2010 年 02 月 03 日, 千里ライフサイエンスセンター .
- 岡崎功太 鳥居周一,牧村哲也,新納弘之,村上浩一,中村大輔,高橋昭彦,岡田龍雄: 赤外光のフレネル回折を利用した透明材料の微細加工, 春季第 57 回応用物理学関連連合講演会, 2010 年 03 月 19 日, 東海大学湘南キャンパス.
- 穴井重男、有村秀孝、荒木不次男, 橘昌幸, 福永淳一,平野奈緒美, 吉留郷志, 塩山善之, 野元諭, 本田浩: 放射線治療用直線加速器の焦点像の線量プロファイルのガウス関数近似, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 18 日, パシフィコ横浜.
- 板野航, 有村秀孝, 馬込大貴, 塩山善之, 野元諭, 本田浩, 穴井重男, 吉留郷志, 具嶋優和, 鬼塚昌彦, 豊福不可依, 東田善治, 平田秀紀: ポータル画像における治療計画の照射野中心の推定方法の開発, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 18 日, パシフィコ横浜.
- 有村秀孝,山本大輔,掛田伸吾,馬込大貴,山下泰生,大喜雅文,豊福不可依,東田善治,興梠征典: 3.0T MR 画像を用いた多発性硬化症病変部の検出方法の開発, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 19 日, パシフィコ横浜.

- 馬込大貴,有村秀孝,掛田伸吾,山本大輔,河田康雄,山下泰生,大喜雅文,豊福不可依,東田善治,興梠征典: 多発性硬化症における脳領域の自動抽出, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 19 日, パシフィコ横浜.
- 山口義樹,川口聡一郎,宇野善徳,山城紘介,坪田恵理,井手口忠光,有村秀孝,東田善治,豊福不可依: 放射光励起によるモリブデン蛍光 X 線の散乱線スペクトルの解析, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 17 日, パシフィコ横浜.
- 川口聡一郎,山口義樹,宇野善徳,山城紘介,坪田恵理,井手口忠光,有村秀孝,東田善治,豊福不可依: マンモグラフィ X 線スペクトルのレイリー・コンプトン散乱補正による再構築, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 17 日, パシフィコ横浜.
- 吉留郷志,有村秀孝,橘昌幸, 塩山善之,野元諭, 福永淳一,平野奈緒美,野口佳孝,廣瀬貴章,豊福不可依,平田秀紀: CR 撮影に基づく全身照射用水補償フィルタ作成方法の開発, 第 97 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 04 月 18 日, パシフィコ横浜.
- 川田秀道,有村秀孝,大倉順,小野博志,才田義文, 福留良文: 骨盤部 X 線画像を用いた前立腺癌永久挿入密封小線源治療用ヨウ素 125 シード線源位置の推定方法の開発, 日本放射線技術学会(JSRT), 予稿集, p141, 2009 年 04 月 17 日, パシフィコ横浜.
- 有村秀孝,山本大輔,掛田伸吾,桑水流純平,馬込大貴,山下泰生,大喜雅文,豊福不可依,東田善治,興梠征典: 3.0T 脳 MR 画像に基づいた多発性硬化症病変部の検出方法の開発, 第 28 回日本医用画像工学会大会(JAMIT), 2009 年 08 月 04 日, 中京大学.
- 吉留郷志,有村秀孝,橘昌幸, 塩山善之,野元諭, 福永淳一,平野奈緒美,野口佳孝,廣瀬貴章,豊福不可依,平田秀紀: CR 撮影に基づく TBI 用水補償フィルタのための体厚自動推定方法の開発, 第22回日本放射線腫瘍学会(JASTRO), 2009 年 09 月 17 日, 京都国際会館.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 野元諭, 大西かよ子, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 鬼塚昌彦, 平田秀紀: 膠芽腫における*類似症例提示システムの開発, 第 22 回日本放射線腫瘍学会(JASTRO), 2009 年 09 月 19 日, 京都国際会館.
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 馬込大貴, 穴井重男, 中村和正, 橘昌幸, 吉留郷志, 野元諭, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 患者セットアップのためのポータル画像と*DRR 画像を用いた自動照合法の開発, 第 98 回日本医学物理学会(JSMP), 2009 年 09 月 18 日, 京都国際会館.
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 馬込大貴, 穴井重男, 中村和正, 橘昌幸, 吉留郷志, 野元諭, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: ポータル画像と DRR 画像に基づいた患者セットアップの自動照合法, 第 155 回医用画像情報学会(MII), 2009 年 10 月 03 日, 熊本大学医学部保健学科楷樹会館.
- 川田秀道,有村秀孝,大倉順,梨子木一高,才田義文: 骨盤部 X 線画像を用いた前立腺癌永久挿入密封小線源位置の推定方法の開発, 第 155 回医用画像情報学会(MII), 2009 年 10 月 03 日, 熊本大学医学部保健学科楷樹会館.
- 有村秀孝: 放射線治療における画像処理解析技術とその評価法, 第37回日本放射線技術学会(JSRT), 2009 年 10 月 24 日, 岡山コンベンションセンター.
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦敬, 小林幸次, 豊福不可依, 大喜雅文, 中村泰彦, 本田浩: ASL による CBF マップに基づいたアルツハイマー病の鑑別支援システムの開発, 第 37 回日本放射線技術学会(JSRT), 2009 年 10 月 22 日, 岡山コンベンションセンター.
- 山下泰生、有村秀孝、吉浦 敬、小林幸次、豊福不可依、大喜雅文、中村泰彦、本田 浩: Arterial Spin Labeling による脳機能画像に基づくアルツハイマー病のコンピューター支援診断システムの開発 , 第 4 回九州放射線医療技術学術大会, 2009 年 11 月 21 日, 沖縄コンベンションセンター.
- 桑水流純平, 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔, 馬込大貴, 山下泰生, 大喜雅文, 豊福不可依, 東田善治, 興梠征典: 3TMR 画像を用いた多発性硬化症候補領域検出方法の開

発，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.

- 徳永千晶、有村秀孝、吉浦敬、山下泰生、本田浩、東田善治、豊福不可依、大喜雅文: T1 強調 MR 画像における脳実質の自動領域分割，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 溝口明日実, 有村秀孝, 吉留郷志, 橘昌幸, 塩山善之, 本田浩, 東田善治, 豊福不可依, 大喜雅文, 平田秀紀: ポータル画像を用いた EPID の側方散乱カーネルの測定，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 有村秀孝: 研究デザインと論文化，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦敬, 馬込大貴, 小林幸次, 門司晃, 豊福不可依, 大喜雅文, 中村泰彦, 本田浩: ASL による脳血流マップに基づいたアルツハイマー型認知症の鑑別支援診断システムの開発，電子情報通信学会(IEICE)，2010 年 01 月 28 日，沖縄 てんぶす館.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 中村和正, 野元諭, 大西かよ子, 穴井重男, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 鬼塚昌彦, 平田秀紀: 放射線治療のための類似症例検索方法の開発，電子情報通信学会(IEICE)，2010 年 01 月 28 日，沖縄 てんぶす館.
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 馬込大貴, 吉武忠正, 穴井重男, 中村和正, 吉留郷志, 橘昌幸, 野元諭, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療におけるポータル画像と DRR 画像に基づいたセットアップエラーの推定方法の開発，電子情報通信学会(IEICE)，2010 年 01 月 28 日，沖縄 てんぶす館.
- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 中村和正, 野元諭, 大西かよ子, 穴井重男, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 鬼塚昌彦, 平田秀紀: 高精度放射線治療計画支援のための類似症例検索システムの開発，第 21 回日本高精度放射線外部照射研究会，2010 年 01 月 30 日，熊本県民交流館パレア.

f. 学会以外での講演，発表 なし

著作

a. 単行本 なし

b. 総説 なし

c. 解説，書評など

- Arimura H, Shioyama Y, Nakamura K, Anai S, Nomoto S, Hirata H, Honda H, Toyofuku F, Onizuka Y, Terashima H: Automated Localization Method for a Lung Tumor on EPID Images without Implanted Markers in Stereotactic Body Radiotherapy, International Journal of Radiation Oncology Biology Physics 1 November 2009 (Vol. 75, Issue 3, Page S97), 2009 年 11 月.
- Kawata H, Arimura H, Suefuji H, Ohkura S, Ono H, Saida H, Hayabuchi N.: Automated Identification of Radioactive Iodine-125 Seed Locations using Pelvic Radiography in Prostate Brachytherapy, International Journal of Radiation Oncology Biology Physics 1 November 2009 (Vol. 75, Issue 3, Page S629-S630), 2009 年 11 月.
- Magome T, Arimura H, Shioyama Y, Nomoto S, Ohnishi K, Honda H, Ohki M, Toyofuku F, Onizuka Y, Hirata H.: Automated Selection Method for Similar MR Images with Brain Tumors for Assisting Radiation Treatment Planning, International Journal of Radiation Oncology Biology Physics 1 November 2009 (Vol. 75, Issue 3, Page S629-S630), 2009 年 11 月.
- 板野航, 有村秀孝, 塩山善之, 馬込大貴, 吉武忠正, 穴井重男, 中村和正, 吉留郷志, 橘昌幸, 野元諭, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 平田秀紀: 放射線治療におけるポータ

ル画像とDRR画像に基づいたセットアップエラーの推定方法の開発，信学技報(IEICE Technical Report) Vol.109, No.407, pp111-114，2010年01月.

- 馬込大貴, 有村秀孝, 塩山善之, 中村和正, 野元論, 大西かよ子, 穴井重男, 本田浩, 大喜雅文, 豊福不可依, 鬼塚昌彦, 平田秀紀: 放射線治療のための類似症例検索方法の開発，信学技報(IEICE Technical Report) Vol.109, No.407, pp.103-105，2010年01月.
- 山下泰生, 有村秀孝, 吉浦敬, 馬込大貴, 小林幸次, 門司晃, 豊福不可依, 大喜雅文, 中村泰彦, 本田浩: ASLによる脳血流マップに基づいたアルツハイマー型認知症の鑑別支援診断システムの開発，信学技報(IEICE Technical Report) Vol.109, No.407, pp.107-109，2010年01月.

受賞 なし

報道

- 有村，Medical Tribune(2009年10月8日Vol.42, No.41)，「2次元MRIから多発性硬化症病変部候補領域を検出. 第28回日本医用画像工学会報告」，2009年10月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋，レーザー生成プラズマからの極端紫外線による無機材料の微細加工に関する研究，筑波大学大学院，2008年04月～，公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村，シカゴ　マコーミックプレイス(United States of America)，国際会議，2009年10月～2009年11月（2週間未満）.
- 有村，SanDiego, Town and Country Convention Center(United States of America)，国際会議，2010年02月～2010年02月（2週間未満）.

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大喜，保健学科支線LAN管理者.
- 大喜，情報通信基盤連絡会議.
- 大喜，認証評価部会委員.
- 大喜，全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会［情報処理科目］.
- 有村，病院地区　総合研究棟　支線LAN管理者.

2. 部局委員

- 大喜，保健学部門副部門長.
- 大喜，総合研究棟管理運営委員会.

3. 部門・コース内委員

- 有村，年報委員(副委員長). 学生委員, 教務委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜，福岡医健専門学校，非常勤講師.
- 大喜，長崎大学歯学部，非常勤講師.
- 大喜，九州大学歯学部，非常勤講師.

2. 学協会

- 大喜，日本歯科放射線学会，その他（代議員），国内.
- 有村，日本医学物理学会(JSMP) 編集委員，その他（編集委員），国内.
- 有村，医用画像情報学会 MII，編集委員，国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 大喜，「第 10 回（平成 21 年度）認定看護管理制度セカンドレベル教育「情報テクノロジー」の講義」，福岡県看護協会・認定看護管理教育運営委員会．福岡市，セミナー・研修会.
- 大喜，「九州大学病院院内研修会・看護研究・「看護研究のための統計学」」，九州大学病院看護部．九州大学，セミナー・研修会.
- 大喜，「文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」平成20年度選定取組「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」第2回シンポジウム「メンタルクリニックの現場から」（講師：帚木 蓬生 氏）を取組推進責任者として企画・実施」，九州大学大学院医学研究院保健学部門・取組実施委員会．アクロス福岡4階　国際会議場，講演会・公開討論.
- 大喜，「第1回メディアサイトユーザー会において「九州大学医学部保健学科における*e-ラーニングの取組」について講演」，メディアサイト株式会社．サンスカイルーム大手町（東京），セミナー・研修会.
- 大喜，「日本赤十字広島看護大学 FD・ICT 研修会において「情報通信技術（ICT)を利用した保健学教育の取り組み」「電子教材の作成と公開」の題目で講演を行った」，日本赤十字広島看護大学.日本赤十字広島看護大学（広島），セミナー・研修会.
- 大喜，「九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク（Q-Links）のキックオフシンポジウムにおいて取組推進責任者である「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」についてポスターセッション において発表を行った」，九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク．九州大学旧工学部本館第 1 会議室（箱崎キャンパス），講演会・公開討論.
- 有村，「九重セミナー、放射線物理」，日本医学放射線学会九州地方会．九州大学医学部コラボステーションⅠ，セミナー・研修会.
- 有村，「放射線技師教育における教育機関と医療機関との連携の重要性」，宮崎大学医学部附属病院放射線部．宮崎大学医学部附属病院放射線部，セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

≪医用放射線科学≫

教授	東田　善治
教授	小坂　克子
教授	佐々木　雅之
教授	平田　秀紀
准教授	杜下　淳次
准教授	坂井　修二
准教授	藪内　英剛
助教	赤坂　勉
助教	熊澤　誠志

1. 教育活動

1. 大学院講義

東田　善治
- 医用画像科学論（分担）　後期

小坂　克子
- 組織画像検査学論　後期
- 分子機能基礎画像科学論　後期

佐々木　雅之
- 分子機能画像科学論（分担）　後期
- ヘルスサイエンス論　前期
- 臨床量子線科学Ⅰ（分担）　前期

平田　秀紀
- 先端医療論・がん病態論（分担）　前期
- アジアの保健学（分担）　前期
- 量子線治療科学（分担）　後期
- 臨床量子線科学Ⅰ（分担）　前期

杜下　淳次
- 医用画像科学論（分担）　後期
- 臨床量子線科学1（分担）　前期

坂井　修二
- 臨床量子線科学Ⅰ（分担）　前期

藪内　英剛
- 分子機能画像科学論（分担）　後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

佐々木　雅之　前期
- 分子機能画像科学演習（分担）　前期
- 臨床量子線科学Ⅱ（分担）　前期

平田　秀紀
　量子線治療科学演習(分担)　後期
　臨床量子線科学Ⅱ（分担）　前期
杜下　淳次
　保健学研究論(分担)　前期
　臨床量子線科学Ⅱ（分担）　前期
小坂　克子
　組織画像検査学論　後期
　分子機能画像科学演習(分担)　前期
坂井　修二
　分子機能画像科学演習(分担)　前期

4. 大学院修士課程修了者

坂口　裕一　PET/CT の定量性に及ぼす呼吸性移動と収集条件の影響
田中　延和　ディジタル拡大マンモグラフィの研究
中　健太郎　SNR によるディジタルシステムの画像特性の評価

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

東田　善治
　放射線画像技術学Ⅰ　後期
　コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期
佐々木　雅之
　放射化学・実験（分担）　後期
　核医学検査学Ⅰ　通年
　核医学検査学Ⅱ　通年
　放射性同位元素検査技術学・実習（分担）　前期
　コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期
平田　秀紀
　放射線生物学（分担）　前期
　放射線治療技術学（分担）　前期
　放射線治療技術学（分担）　後期
　医学総論Ⅰ（分担）　前期
　放射性同位元素検査学・実習（分担）　前期
　放射線治療特論（分担）　前期
　コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期
杜下　淳次
　医用画像評価学・演習（分担）　後期
　放射性同位元素検査学・実習（分担）　前期
　コンピュータ支援診断学（分担）　前期
　品質管理論（分担）　後期

コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期

小坂　克子

人体の構造と機能ⅡB（分担)　後期

人体の構造と機能ⅡA（分担)　前期

組織化学検査学（分担)　前期

コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期

坂井　修二

医用画像処理学　（分担)　前期

MR･超音波画像技術学（分担)　前期

コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期

藪内　英剛

画像解剖学　後期

放射線診断学特論　後期

熊澤　誠志

コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期

赤坂　勉

コアゼミ放射線医学入門(分担)　前期

7. 学部の実験･実習･演習

佐々木　雅之

放射化学･実験（分担)　後期

放射性同位元素検査技術学･実習（分担)　前期

核医学検査学実習（分担)　通年

臨地実習(分担)　通年

卒業研究(分担)　通年

東田　善治

写真工学実験(分担)　後期

放射線画像技術学実習(分担)　後期

臨地実習(分担)　通年

卒業研究(分担)　通年

平田　秀紀

放射線治療技術学実習(分担)　後期

臨地実習(分担)　通年

卒業研究(分担)　通年

杜下　淳次

臨地実習（分担)　通年

放射線画像技術学実習（分担)　後期

医用画像評価学･演習（分担)　後期

画像機器学実験（分担)　後期

臨地実習(分担)　通年

卒業研究(分担)　通年

小坂　克子

解剖学実習　前期

医用画像特論　後期

組織化学検査学	前期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
坂井　修二	
放射化学・実験(分担)	前期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
藪内　英剛	
放射線画像技術学実習(分担)	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
熊澤　誠志	
医用画像処理学演習(分担)	前期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年
赤坂　勉	
放射線管理学実験	後期
写真工学実験	後期
臨地実習(分担)	通年
卒業研究(分担)	通年

8. 卒業論文作成者

光元　勝彦	胸部病変診断における息止め PET/CT の有用性の検討
立谷　洋輔	PET/CT を用いた呼吸性移動のある腫瘍体積測定の検討
岡田　昌洋	X 線全身照射における吸収線量測定値の検討
田上　雄哉	食道癌腔内照射における肺・脊髄での線量減弱の評価
長尾　卓也	職歴ごとの放射線技師の被曝実態
赤嶺　寛地	In-plane switching 方式の医用液晶ディスプレイモニタにおける視野角特性
松下　慎吾	医用液晶ディスプレイモニタのコントラスト応答試験における管理幅の妥当性の検討
松山　倫延	環境照度が医用液晶ディスプレイモニタのコントラスト応答試験に及ぼす影響
長井美菜子	MR マンモグラフィにおけるダイナミックカーブ分析～ロバスト推定法の適用～
西村　菜穂	拡散強調 MR 画像での ADC 値算出におけるノイズの影響
伊藤　祐一	FGD による体内被ばく測定(64 列 CT)－CTDI との比較
友田早紀	免疫組織化学法を用いたマウス嗅球に存在するマイクログリアの解析
本村賢大朗	脳 MRI-PET 融合画像において位置合わせ法の違いが位置ずれに与える影響
吉村伊世	1 Shot Phantom を用いた CR マンモグラフィーの 空間分解能値の適正検証
渡邊優子	乳腺撮影用イメージングプレート2種:微小石灰化検出能の視覚評価による比較

9. 研究生

キム ミンジョン　高麗大学校(韓国)九州大学フレンドシップ奨学金授与

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

平田	副学生委員長として参加	平成 21 年度新入生合宿研修
平田	学年担任として引率指導	玄界原子力発電所見学
平田	引率教員として	放射線医学総合研究所シンクロトロン見学

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木
2	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木
3	悪性腫瘍および正常組織に対する放射線の効果	平田
4	ディジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下
5	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
6	乳腺腫瘍の MRI による診断 頭頸部腫瘍の MRI による診断 造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究 肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
8	患者被ばく線量の測定	赤坂
9	functional MRI における脳機能部位の高精度抽出	熊澤
10	EPI 撮像法におけるゴーストアーチファクトの低減	熊澤
11	MRI 画像におけるインタラクティブな領域抽出	熊澤
12	中枢神経系とくに嗅覚系のニューロン構成に関する形態学的解析	小坂
13	診断放射線画像の開発と研究, 放射線支援診断学の開発, 放射光の医学利用	東田
14	放射線診断領域におけるデジタル画像システムの特性と臨床応用 放射光を用いた新しい画像診断法の研究開発 マンモグラフィーの研究開発、放射線画像の画質に影響を与える因子と画質の関係 X 線撮影時の被曝線量と画質あるいはいろいろな病変の検出能の関係等について研究	東田

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

熊澤 誠志

- 「若手研究(B)」MR画像による脳白質神経線維束推定に基づいた脳機能領野同定および可視化手法の開発，熊澤(代表)，700 千円.

小坂 克子

- 「基盤研究(C)」嗅球糸球体近傍ニューロン群の体系的解析:2タイプの傍糸球体細胞を中心として，小坂(代表)，800 千円.
- 「特定領域研究」嗅覚一次中枢嗅球における情報処理の構造的基盤解明，小坂(分担)，3100 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ　なし

4. 奨学寄付金の受入れ

佐々木 雅之

- 「核医学による腫瘍の診断と治療の研究」フジRIファーマ
- 「PET による腫瘍診断の研究」日本メジフィジックス

5. その他の外部研究資金の受入れ

杜下 淳次

- 「株式会社ナナオ　医療用液晶モニタの画像特性に関する研究」杜下
- 「ヤマギワ株式会社・株式会社コ・メディカル　超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究」杜下,

6. 受託研究員・研修員の受入れ　なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Mitsumoto T, Ohya N, Ichimiya A, Sakaguchi Y, Kiyota A, Abe K, Morishita J, Sasaki M: Diagnostic performance of Tc-99m HMPAO SPECT for early and late onset Alzheimer's disease: A clinical evaluation of linearization correction, *Ann Nucl Med*, 23(5):487-495., 2009 年 07 月. (査読あり)
- Kaneko K, Abe K, Baba S, Tanabe Y, Yabuuchi H, Hatakenaka M, Sasaki M, Honda H: Can calcification predict 131I accumulation on metastatic lymph nodes in papillary thyroid carcinoma patients receiving 131I therapy? Comparison of CT, 131I WBS and 18F-FDG PET/CT., *Eur Radiol*, Epub, 2009 年 09 月. (査読あり)
- Kaneko K, Abe K, Baba S, Isoda T, Yabuuchi H, Sasaki M, Hatakenaka M, Honda H.: Detection of residual lymph node metastases in high-risk papillary thyroid cancer patients receiving adjuvant I-131 therapy: the usefulness of F-18 FDG PET/CT., *Clin Nucl Med*, 35(1): 6-11., 2010 年 01 月. (査読あり)
- Ogawa S, Kobayashi H, Amada S, Yahata H, Sonoda K, Abe K, Baba S, Sasaki M, Kaku T, Wake N.: Sentinel node detection with (99m)Tc phytate alone is satisfactory for cervical cancer patients undergoing radical hysterectomy and pelvic lymphadenectomy., *Int J Clin Oncol.*, 15(1):52-8. Epub 2010 Jan 21., 2010 年 02 月. (査読あり)
- Yoshitake T, Shioyama Y, Nakamura K, Ohga S, Nonoshita T, Ohnishi K, Terashima K, Arimura H, Hirata T, Shioyama Y, Nakamura K, Ohga S, Nonoshita T, Ohnishi K, Terashima K, Arimura H, Hirata H, Honda H: A clinical evaluation of visual feedback-

guided breath-hold reproducibility fo tumor location, *Phys Med Biol*, , 2009 年 12 月. (査読あり)

- Atsumi K, Shioyama Y, Nakamura K, Nomoto S, Ohga S, Yoshitake T, Nonoshita T, Ueda M, Hirata H, Honda H: Predictive factors of esophageal stenosis associated with tumor regression in radiation therapy for locally advanced esophageal cancer, *J Radiat Res*, , 2010 年 01 月. (査読あり)
- Shiro Hatanaka; Junji Morishita; Takeshi Hiwasa; Kiyoshi Dogomori; Fukai Toyofuku; Masafumi Ohki; Yoshiharu Higashida: Comparison of viewing angle and observer performances in different types of liquid-crystal display monitors , *Radiological Physics and Technology*, , 2009 年 08 月. (査読あり)
- 畠中史朗, 杜下淳次, 樗木晶子, 野口ゆかり, 外園栄作, 小宮陽子, 東田善治, 島ノ江信芳, 中村邦夫, 田代洋行: 環境照度の違いが CRT モニタの輝度比と超音波画像のコントラストに与える影響, *日本放射線技術学会雑誌*, , 2009 年 11 月. (査読あり)
- 田中延和, 中 健太郎, 末岡正輝, 東田善治, 杜下淳次: 汎用液晶ディスプレイモニタの臨床使用におけるグレースケール標準表示関数の適用. , *日本放射線技術学会雑誌* , 66(1) , pp.25-32, 2010 年 01 月. (査読あり)
- Takuro Shiiba, Naofumi Tanoue, Shinji Tateoka, Masaji Maeda, Fukai Toyofuku, and Junji Morishita: Effects of ambient-light correction in luminance measurements of liquid-crystal display monitors by use of a telescopic-type luminance meter , *Radiological Physics and Technology*, 3(1) in press, 2010 年 01 月. (査読あり)
- Keita Takahashi, Masaki Sueoka, Yongsu Yoon, Takeshi Hiwasa, Shiro Hatanaka, Yasuhiko Nakamura, Noriyuki Hashimoto, Masafumi Ohki and Junji Morishita: Detectability of a lung nodule displayed on a liquid-crystal display monitor with different maximum luminance settings., *Radiological Physics and Technology*, , 2010 年 01 月. (査読あり)
- Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Okafuji T, Soeda H, Sakai S, Hatakenaka M, Kubo M, Tokunaga E, Yamamoto H, Honda H.: Non-mass-like enhancement on contrast-enhanced breast MR imaging: Lesion characterization using combination of dynamic contrast-enhanced and diffusion-weighted MR images., *Eur J Radiol*, , 2009 年 09 月. (査読あり)
- Li F, Kumazawa S, Shiraishi J, Li Q, Engelmann R, Caligiuri P, MacMahon H, Doi K: Subjective Similarity of Patterns of Diffuse Interstitial Lung Disease on Thin-Section CT: An Observer Performance Study, *Academic Radiology*, vol. 16, Issue 4, pp. 477-485, 2009 年 04 月. (査読あり)
- Yoshiura T, Noguchi T, Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, Nakao T, Nagao E, Kumazawa S, Arimura H, Honda H: Age-Related Microstructural Changes in Subcortical White Matter During Postadolescent Periods in Men Revealed by Diffusion-Weighted MR Imaging, *Human brain mapping*, vol. 30, Issue 10, pp. 3142-3150, 2009 年 10 月. (査読あり)
- Yakabe M, Sakai S, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Cho M, Masuda M, Sasaki M.: Effect of Dose Reduction on the Ability of Digital Mammography to Detect Simulated Microcalcifications., *J Digit Imaging*, e-pub, 2009 年 05 月. (査読あり)
- Sakai S, Yabuuchi H, Chishaki A, Okafuji T, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Honda H.: Effect of cardiac function on aortic peak time and peak enhancement during coronary CT angiography., *Eur J Radiol.*, e-pub, 2009 年 05 月. (査読あり)
- Kosaka K, Sawai K, Tanaka C, Imafuji M, Kamei A, Kosaka T.: Distinct domanial and lamellar distribution of clustered lipofuscin granules in microglia in the main olfactory bulb of young mice., *Neurosci Res*, 65(3):286-95, 2009 年 11 月. (査読あり)

- Kosaka T, Kosaka K.: Two types of tyrosine hydroxylase positive GABAergic juxtaglomerular neurons in the mouse main olfactory bulb are different in their time of origin., *Neurosci Res*, 64(4):436-41, 2009 年 08 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Sakaguchi Y, Mitsumoto T, Ohya N, Sasaki M: Does 4DCT improve the quantitation of the radioactivity of respiratory gated PET/CT?, 40th Workshop, Korean Society of Nuclear Medicine Technology, 2009 年 05 月 31 日, Korea.
- Sakaguchi Y, Mitsumoto T, Ohya N, Sasaki M: Quantitative Improvement with Respiratory Gated PET/CT: A phantom study, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- Sakaguchi Y, Kameda T, Mitsumoto T, Ohya N, Sasaki M: Effect of Respiratory Motion on PET/CT-based Auto-contouring, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- Mitsumoto T, Mizoguchi N, Himuro K, Sakaguchi Y, Kaneko K, Onizuka Y, Sasaki M: A simple correction method for the partial volume effect in Discovery STE PET/CT, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- Baba S, Abe K, Sasaki M, Honda H: Correlation of SUV from FDG PET/CT and apparent diffusion coefficient measured by diffusion -weighted MRI in primary breast tumor, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- Abe K, Baba S, Sasaki M, Honda H: The value of Tc-99m pyrophosphate and Tl-201 TlCl dual SPECT in the diagnosis of cardiac sarcoidosis, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- Tanabe Y, Abe K, Baba S, Sasaki M, Honda H: Evaluation of tumor extent by 18F-FDG-PET/CT in patients with squamous cell carcinoma of the esophagus:Correlation with pathologic specimen, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- Baba S, Abe K, Sasaki M, Honda H : Usefulness of open mouse position PET/CT for the evaluation of tongue cancer, 56th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine, 2009 年 06 月 14 日, Canada.
- S Kawaguchi, Y Yamaguchi , H Arimura , J Morishita , M Ohki , Y Uno , T Ideguchi , Y Higashida , F Toyofuku : Reconstruction of Mammography X-Ray Spectrum Using Rayleigh and Compton Scattering Corrections, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 26 日, United States of America.
- Y Yamaguchi , S Kawaguchi , H Arimura , J Morishita , M Ohki , Y Uno , T Ideguchi, K Tokumori , Y Higashida , F Toyofuku: Relative Contributions of Rayleigh Scattering for PMMA in the Mammography Energy Range, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 26 日, United States of America.
- R Jingu, M Ohki , H Arimura , J Morishita, F Toyofuku , Y Higashida: Automated Analysis of Contrast Detail Phantom Images for Quality Control, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 26 日, United States of America.
- K Takahashi, J Morishita , S Sakai , F Toyofuku , Y Higashida , M Ohki: Comparison of Detectability of a Simple Object with Low Contrast Displayed On a High-Brightness Color LCD Monitor and a Monochrome LCD Monitor, American Association of Physicists in Medicine, 2009 年 07 月 27 日, United States of America.
- Yoshiki Yamaguchi, Souichiro Kawaguchi, Hidetaka Arimura, Junji Morishita, Masafumi Ohki, Yoshinori Uno, Tadamitsu Ideguchi, Kenji Tokumori, Yoshiharu Higashida, Fukai

Toyofuku: Rayleigh and Compton scattering analysis for PMMA in the mammography energy range, World Congress 2009 on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2009 年 09 月 09 日, Germany.

- Souichiro Kawaguchi, Yoshiki Yamaguchi, Hidetaka Arimura, Junji Morishita, Masafumi Ohki, Yoshinori Uno, Tadamitsu Ideguchi, Yoshiharu Higashida, Fukai Toyofuku: Reconstruction of mammography x-ray spectrum by using Rayleigh and Compton scattering corrections, World Congress 2009 on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2009 年 09 月 09 日, Germany.
- Kentaro Naka, Nobukazu Tanaka, Seiji Kumazawa, Junji Morishita, Hidetaka Arimura, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Yoshiharu Higashida: Investigation of optimum grid for digital radiography, World Congress 2009 on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2009 年 09 月 09 日, Germany.
- Nobukazu Tanaka, Kentaro Naka, Seiji Kumazawa, Junji Morishita, Hidetaka Arimura, Fukai Toyofuku, Masafumi Ohki, Yoshiharu Higashida: Imaging properties of digital magnification mammography, World Congress 2009 on Medical Physics and Biomedical Engineering, 2009 年 09 月 09 日, Germany.
- Kumazawa S, Yoshiura T, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y : Influence of a Partial Volume Effect in the Segmentation of Brain Tissue Based on Diffusion Tensor Imaging (DTI) Data: A Digital DTI Phantom Study , International Society for Magnetic Resonance in Medicine, 2009 年 04 月 22 日, United States of America.
- Kumazawa S, Yoshiura T, Honda H, Toyofuku F, Higashida Y: Influence of a Partial Volume Effect in the Brain Segmentation Based on Diffusion Tensor MRI Data, Radiological Society of North America (RSNA) 95th Scientific Assembly and Annual Meeting, , 2009 年 11 月 29 日, United States of America.
- Sakai S, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Takayama K, Maeyama T, Honda H: Lung Cancer Complicated with Idiopathic Interstitial Pneumonias;High-Resolution CT Findings at the Incipient Stage and Growth Rate, 2nd World Congress of Thoracic Imaging and Diagnosis in Chest Disease,, 2009 年 05 月 30 日, Spain.
- Sakai S, Yabuuchi H, Chishaki A, Sunami S, Kamitani T, Setoguchi T, Matsuo Y,Honda H.: Aortic Peak Time and Peak Enhancement at CT Angiography with Relation to Cardiac Parameters Obtained by Echocardiography: Retrospective Study, 2nd World Congress of Thoracic Imaging and Diagnosis in Chest Disease, 2009 年 05 月 31 日, Spain.
- Sakai S, Yabuuchi H, Sunami S, Honda H, Osada M, Sugiyama N, Yamamoto K, Doi K : Integration of Temporal Subtraction and Nodule Detection Systems for Digital Chest Radiographs into PACS: Conversion from DICOM Query/Retrieve Protocol to Web-based Technology., nd World Congress of Thoracic Imaging and Diagnosis in Chest Disease, 2009 年 05 月 30 日, Spain.
- Yabuuchi H, Sunami S, Kamitani T, Setoguchi T, Jinnouchi M, Yonezawa M, Sakai S, Hatakenaka M, Honda H: Detection of early response to chemotherapy in non-small cell lung cancer using contrast-enhanced dynamic and diffusion-weighted MR images, Radiological Society of North America (RSNA) 95th Scientific Assembly and Annual Meeting, , 2009 年 11 月 29 日, United States of America.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演，発表

- 佐々木雅之: 教育講演 23 核医学 3 「1. 消化器・泌尿器核医学の基礎と臨床」，第 68 回日本医学放射線学会学術集会，2009 年 04 月 01 日，横浜市.
- 金子恒一郎、阿部光一郎、馬場真吾、田邉祥孝、本田浩、佐々木雅之: 分化型甲状腺癌の放射性ヨード内用療法における 131I WBS と FDG-PET/CT，第 68 回日本医学放射線学会学術集会，2009 年 04 月 01 日，横浜市.
- 坂口裕一、光元達哉、佐々木雅之、大屋信義 : 呼吸同期 PET/CT による定量性改善の検討，第 65 回日本放射線技術学会総会学術大会，2009 年 04 月 01 日，横浜市.
- 坂口裕一、亀田卓典、光元達哉、佐々木雅之、大屋信義: 呼吸性移動が PET/CT における自動輪郭抽出におよぼす影響，第 65 回日本放射線技術学会総会学術大会，2009 年 04 月 01 日，横浜市.
- 佐々木雅之: 核医学専門医受験者・核医学指導者コース「消化器・泌尿器核医学の基礎と臨床」，第 9 回 日本核医学会春季大会，2009 年 05 月 01 日，東京都江戸川区.
- 佐々木雅之: 初心者・卒後研修医コース「消化器・泌尿器の核医学検査」，第 9 回 日本核医学会春季大会，2009 年 05 月 01 日，東京都江戸川区.
- 丸岡保博、阿部光一郎、馬場真吾、澤本博史、田邉祥孝、本田浩、佐々木雅之 : FDG-PET/CT にて高度の FDG 集積を示した肝細胞癌甲状腺転移の一例，第 169 回日本医学放射線学会九州地方会，2009 年 07 月 04 日，福岡市.
- 坂口裕一，張鉄橋、馬込大貴、光元達哉，佐々木雅之、大屋信義 : PET/CT を用いた治療計画における GTV の検討:ファントム研究，第29回 日本核医学技術学会総会学術大会，2009 年 10 月 03 日，旭川市.
- 張 鉄嬌、坂口裕一，光元達哉，佐々木雅之、立谷洋輔、光元勝彦、大屋信義 : PET/CT 撮像条件が自動輪郭抽出に与える影響の検討，第29回 日本核医学技術学会総会学術大会，2009 年 10 月 03 日，旭川市.
- 浅尾喜美枝、鎌田伸也、高木昭浩、佐々木雅之 : 201Tl 心筋シンチにおける投影データ補間処理の検討，第29回 日本核医学技術学会総会学術大会，2009 年 10 月 02 日，旭川市.
- 阿部光一郎、馬場真吾、澤本博史、田邉祥孝、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之、中川誠: シンポジウム 3 4.ゼヴァリン療法の実際ーゼヴァリン治療の施行経験 ， 第 49 回 日本核医学会総会，2009 年 10 月 01 日，旭川市.
- 馬場真吾、阿部光一郎、澤本博史、田邉祥孝、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之、吉田毅: 原発性乳腺腫瘍における拡散強調 MRI と FDG-PET の比較ーADC 値と SUV 値の相関および良悪性の鑑別についての検討， 第 49 回 日本核医学会総会， 2009 年 10 月 01 日，旭川市.
- 阿部光一郎、馬場真吾、澤本博史、田邉祥孝、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之: FDG-PET/CT による肺悪性腫瘍のリンパ節転移診断能についての検討，第 49 回 日本核医学会総会，2009 年 10 月 01 日，旭川市.
- 田邉祥孝、阿部光一郎、馬場真吾、澤本博史、丸岡保博、本田浩、佐々木雅之: FDG-PET/CT による食道癌原発巣の範囲の同定:病理標本との対比，第 49 回 日本核医学会総会，2009 年 10 月 02 日，旭川市.

- 澤本博史、阿部光一郎、馬場真吾、田邉祥孝、丸岡保博、本田　浩、佐々木雅之：中咽頭癌患者に対する放射線治療の頚髄 FDG 集積に与える影響，第 45 回　日本核医学会九州地方会，2010 年 02 月 14 日，大分市.
- 馬場真吾、阿部光一郎、澤本博史、田邉祥孝、丸岡保博、本田　浩、佐々木雅之：スリガラス陰影を含む肺小結節の FDG 所見と CT 値の検討，第 45 回　日本核医学会九州地方会，2010 年 02 月 14 日，大分市.
- 大賀才路、塩山善之、野元　諭、野々下豪、大西かよ子、渥美和重、寺嶋弘太郎、平田秀紀、本田　浩：限局性前立腺癌に対する密封小線源療法後の尿路系障害の検討，日本放射線腫瘍学会第 21 回学術大会　，2009 年 05 月 16 日，札幌.
- 塩山善之、中村和正、大賀才路、野々下豪、吉武忠正、大西かよ子、寺嶋広太郎、野元諭、平田秀紀、本田浩: 転移性肺腫瘍に対する定位照射の治療成績，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 19 日，京都.
- 松本圭司、佐々木智成、大浦弘樹、檜垣雄一郎、塩山善之、大賀才路、吉武忠正、野々下豪、平田秀紀、本田浩: 舌がんに対する高線量率組織内照射の治療成績，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 17 日，京都.
- 野々下豪、塩山善之、大賀才路、吉武忠正、大西かよ子、寺嶋広太朗、浅井佳央理、平田秀紀、本田浩: StageII 声門癌に対する TS-1 併用放射線治療の成績，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 18 日，京都.
- 佐々木智成、松本圭司、大浦弘樹、檜垣雄一郎、塩山善之、大賀才路、吉武忠正、野々下豪、平田秀紀、本田浩: 上咽頭癌に対する放射線治療成績，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 17 日，.
- 吉留郷志、有村秀孝、橘晶幸、塩山善之、野元諭、福永淳一、平野奈緒美、野口佳孝、豊福不可依、平田秀紀: CR 画像に基づく TBI 補償フィルタのための体厚自動推定法の開発，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 17 日，京都.
- 吉武忠正、塩山善之、大賀才路、野々下豪、大西かよ子、寺嶋広太朗、浅井佳央里、平田秀紀、中村和正、本田浩: 肺のスリガラス影に対する定位放射線治療における計算アルゴリズム、線量処方の影響，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 17 日，京都.
- 寺嶋広太朗、塩山善之、野々下豪、大賀才路、吉武忠正、大西かよ子、浅井佳央里、西江昭弘、本田浩、平田秀紀: 子宮頸癌に対する放射線療法時の ADC 値変化と局所治療効果との関係，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 17 日，京都.
- 渥美和重、塩山善之、大賀才路、吉武忠正、野々下豪、大西かよ子、石神康生、田島強、平田秀紀、本田浩: 食道癌局所病変の Dynamic CT 増強パターンと放射線治療効果、治療狭窄に関する検討，日本放射線腫瘍学会第22回学術大会，2009 年 09 月 18 日，.
- 大賀才路、塩山善之、野元諭、野々下豪、大西かよ子、渥美和重、寺嶋広太朗、本田浩、平田秀紀: 限局性眼付属器原発MALTリンパ腫の放射線治療成績，第68回日本医学放射線学会総会，2009 年 04 月 16 日，横浜.
- 篠藤誠、大浦弘樹、佐々木智成、檜垣雄一郎、平田秀紀、塩山善之、野元諭、大賀才路、野々下豪、本田浩: 声門部扁平上皮癌I期II期に対する放射線治療成績，第68回日本医学放射線学会総会，2009 年 04 月 16 日，横浜.
- 浅井佳央里、塩山善之、大賀才路、神谷武志、野々下豪、吉武忠正、大西かよ子、寺嶋広太朗、藪内英剛、本田浩、平田秀紀: リツキシマブを含む化学療法後に間質性肺炎を発症した非ホジキンリンパ腫症例の検討，第169回日本医学放射線学会九州地方会，2009 年 07 月 04 日，福岡.
- 寺嶋広太朗、塩山善之、渥美和重、大賀才路、野々下豪、吉武忠正、大西かよ子、浅井佳央里、平田秀紀、本田浩: 食道扁平上皮癌に対する low-dose FP 併用による化学放射線療法の治療成績，第37回九州食道癌合併療法談話会，2009 年 07 月 11 日，福岡.

- 平田秀紀、佐々木智成、寺嶋廣美、塩山善之、中村和正: 進行・再発婦人科腫瘍に対する温熱化学放射線療法，第22回九州・山口ハイパーサーミア研究会，2009 年 07 月 25 日，北九州.
- 寺嶋廣美、山下和海、原康司、小島貴文、安達光代、平田秀紀、大栗隆行、森岡丈明: 化学・温熱療法にて長期生存が得られた末期乳癌肺転移例，第22回九州・山口ハイパーサーミア研究会，2009 年 10 月 01 日，北九州.
- 寺嶋広太朗、野元諭、塩山善之、大賀才路、野々下豪、吉武忠正、大西かよ子、浅井佳央里、矢野篤次郎、高山浩一、平田秀紀、本田浩: 術前温熱化学放射線療法が著効し組織学的CRが証明された原発性肺癌の一例，第22回九州・山口ハイパーサーミア研究会，2009 年 07 月 25 日，北九州.
- 吉武忠正、塩山善之、大賀才路、野々下豪、大西かよ子、寺嶋広太朗、浅井佳央里、中村和正、平田秀紀: Visual Feedback System を用いた呼吸停止下照射法の息どめ再現性の検証，第21回九州放射線治療セミナー，2009 年 08 月 29 日，福岡.
- 塩山善之、大賀才路、野々下豪、吉武忠正、大西かよ子、寺嶋広太朗、浅井佳央里、中村和正、平田秀紀: 転移性肺腫瘍に対する定位放射線治療，第21回九州放射線治療セミナー，2009 年 08 月 29 日，福岡.
- 平田秀紀: 癌の重粒子線治療の基本的考え方，第6回調和医療研究会，2009 年 11 月 14 日，福岡.
- 高橋 慶多，杜下 淳次，尹 湧琇，末岡 正輝: LCD モニタの輝度の違いが胸部腫瘤陰影の検出能に与える影響，日本放射線技術学会 第65回総会学術大会，2009 年 04 月 17 日，パシフィコ横浜.
- 高橋 慶多(学生賞受賞)，杜下 淳次, 坂井 修二, 大喜 雅文 : 2 メガピクセル高輝度カラーLCD モニタとモノクロ LCD モニタの検出能の比較，日本放射線技術学会 第65回総会学術大会，2009 年 04 月 17 日，パシフィコ横浜.
- 杜下淳次, 日和佐剛, 桂川茂彦, 佐々木康夫, 祐延良治, 土井邦雄: Biological fingerprints と画像マッチング技術を利用した胸部単純 X 線写真の自動探索法の開発(大会長賞受賞)，日本放射線技術学会第65回総会学術大会，2009 年 04 月 17 日，パシフィコ横浜.
- 高橋 慶多, 末岡 正輝, 杜下 淳次, 坂井 修二, 中村 泰彦, 橋本 憲幸, 大喜 雅文: LCD の最高輝度が診断能に及ぼす影響，医用画像情報学会(MII)，2009 年 06 月 06 日，金沢大学.
- 甘艸慎史, 中 健太郎, 田中延和, 杜下淳次, 有村秀孝, 豊福不可依, 東田善治: ディジタル X 線画像の物理特性に関する線質の影響，日本放射線技術学会第 65 回総会学術大会，2009 年 04 月 18 日，パシフィコ横浜.
- 松下慎吾, 杜下淳次, 高橋慶多, 赤嶺寛地, 松山倫延, キム ミンジョン: 医療用 LCD モニタのコントラスト応答の検討，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 松山倫延, 杜下淳次, 高橋慶多, 赤嶺寛地, 松下慎吾, キム ミンジョン: 環境照度が医用 LCD モニタのコントラスト応答試験に及ぼす影響，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 赤嶺寛地, キム ミンジョン, 杜下淳次, 高橋慶多, 松下慎吾, 松山倫延: 医療用 LCD モニタ(IPS 方式)の視野角特性の違い，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 吉村伊世、渡邊優子、本村賢大朗、畔柳宏之、増田雅史、輿石知宏、坂井修二、藪内英剛:1 Shot Phantom を用いた CR マンモグラフィーの空間分解能値の適正検証，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.

- 渡邊優子、吉村伊世、本村賢大朗、畔柳宏之、増田雅史、輿石知宏、坂井修二、藪内英剛:乳腺撮影用イメージングプレート 2 種の視覚評価による比較，第 4 回九州放射線医療技術学術大会，2009 年 11 月 21 日，沖縄コンベンションセンター.
- 藪内英剛、角南俊也、神谷武志、瀬戸口太郎、陣内三佳子、米澤政人、川波哲、坂井修二、畠中正光、高山浩一、中西洋一、本田浩: 非小細胞性肺癌に対する化学療法効果の早期判定:造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI の有用性の検討，第 50 回日本肺癌学会総会，2009 年 11 月 12 日，東京都.
- 熊澤誠志, 吉浦敬, 本田浩, 豊福不可依, 東田善治: DT-MRI における部分体積効果を考慮した脳白質・灰白質・脳脊髄液領域抽出手法の開発，第 37 回日本磁気共鳴医学大会，2009 年 10 月 02 日，横浜市.
- 熊澤誠志, 吉浦敬, 本田浩, 豊福不可依, 東田善治: DT-MRI を用いた脳白質・灰白質・脳脊髄液領域抽出手法の開発，第 37 回日本放射線技術学会秋季学術大会，2009 年 10 月 22 日，岡山市.
- 坂井修二、藪内英剛、松雄芳雄、角南俊也、神谷武志、瀬戸口太郎、長田雅和、杉山直樹、山本啓二、本田　浩：Web 技術によるデジタル胸部単純撮影の経時的差分と結節検出のリアルタイム参照システム構築，第 68 回日本医学放射線学会総会，2009 年 04 月 01 日，横浜市.
- 小坂克子、小坂俊夫: 若年令マウス主嗅球に見られた老化色素リポフスチンの分布:層特異性と腹背側領域間における顕著な差異，日本解剖学会，2010 年 03 月 01 日，岩手.

f. 学会以外での講演，発表　なし

著作

a. 単行本

- 監訳者 島本 佳寿広, 山田 和美, 齋藤 陽子, 丸橋 一夫 訳　者 杜下 淳次, 梶原孝彦, 山口 弘次郎, 酒井 崇, 村松 佑哉, 木元藤井 茂久 愛, 小山 修司, 辻岡 勝美, 中西 左登志, 真田 茂, 宮地 利明, 藤井 茂久, 大塚 昌彦, 吉村 公美子, 浅田 恭生, 津坂 昌利, 山本英明, 大場 久照, 小笠原 克彦, 坂田 元道: () クラーク X 線撮影技術学，2009 年 11 月, 西村書店.
- 編者:田中　仁, 山田勝彦, 小川敬壽, 西山　篤安部真治　分担執筆:山口成厚, 西村明久, 秋庭弘道, 天野良平, 安藤　醇, 斉藤正好, 山田勝彦, 吉永哲哉, 小島一彦, 山田俊治, 手川歓識, 岩元新一郎, 坂本重巳, 小野木満照, 曾田　流, 田中　仁, 杉浦　武, 熊谷孝三, 岩崎　晃, 花田博之, 阿部慎司, 鈴木昇一, 田宮　正, 藤崎達也, 西谷源展, 前越久, 工藤幸清, 樽澤孝悦, 細渕安弘, 木村千里, 山下一也, 杜下淳次, 小川　亙, 赤澤博之, 山本哲夫, 鈴木茂人, 田畑慶人, 向井孝夫, 吉野進也, 前川昌之, 村瀬研也, 下瀬川正幸, 細羽　実, 森　正人, 小田叙弘, 星野修平: (共著) 新・医用放射線技術実験(基礎編)第 2 版，2010 年 02 月，.
- 鈴木隆二, 斎　政博, 坂本　博, 真田　茂, 藤井啓輔, 堀田勝平, 杜下淳次: () デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアル　，2009 年 11 月，医学書院.

b. 総説

- 佐々木雅之、阿部光一郎、馬場眞吾、澤本博史、田邉祥孝: Current Organ Topics 肺癌 Ⅱ. 肺癌診療における PET-CT の使い方，癌と化学療法　36 (8): 1271 - 1274, 2009, 2009 年 08 月，.
- 坂井修二: CT でみる肺感染症　⑥寄生虫性肺疾患の画像診断呼吸，呼吸 28 巻 5 号 486-491，2009 年 05 月，.

c. 解説，書評など

- 平田秀紀: 僕の放射線科昭和・平成史，福岡放射線医会誌，2009 年 09 月，.(公開)

- 平田秀紀: 放射線科医の動向に関するアンケート調査報告，日本放射線科専門医会・医会誌，2010 年 01 月，.
- 平田秀紀: アジアにおける保健学，，2010 年 03 月，.

受賞

- 平田，「既照射再発食道癌に対する高線量率腔内照射」，日本医学放射線学会優秀論文賞，日本医学放射線学会，2009 年 04 月.
- 杜下，「Biological Fingerprints と画像マッチング技術を利用した胸部単純 X 線写真の自動探索法の開発」，第 65 回総会学術大会　大会長賞，日本放射線技術学会，2009 年 04 月.
- 藪内，「非小細胞肺癌に対する化学療法効果の早期判定:造影ダイナミック MRI と*拡散強調 MRI の有用性の検討 」，第15回九州肺癌カンファレンス　研究奨励賞，九州肺癌カンファレンス　，2010 年 02 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 杜下，医療用液晶モニタの画像特性に関する研究，株式会社ナナオ，2006 年 05 月～2014 年 03 月.
- 杜下，超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究，ヤマギワ株式会社・株式会社コ・メディカル，2007 年 08 月～2012 年 03 月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 杜下，UC Davis, Massachusetts General Hospital, Duke University, Michigan University, The University of Chicago(United States of America)，大学・研究所訪問，2010 年 01 月～2010 年 02 月 () ,

2. 外国人研究者の受入れ

a. **訪問教授・研究員** なし

b. **訪問研究者** なし

留学生の受入れ

張　鉄嬌	修士課程	
キム　ミンジョン	研究生	留学生

学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 佐々木，九州大学病院放射性医薬品委員会　委員.
- 佐々木，九州大学病院サイクロトロン産生放射性同位元素の医学利用に関する委員会　委員.
- 小坂，特殊廃液処理施設運営委員会委員.
- 小坂，21 世紀プログラム専門委員会委員.
- 坂井，肺移植小委員会.

3. 部門･コース内委員

- 佐々木，医用量子線科学分野　分野長.
- 佐々木，保健学部門　副部門長.
- 平田，保健委員.
- 杜下，施設委員.
- 熊澤，広報委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師 なし

2. 学協会

- 佐々木，Annals of Nuclear Medicine，編集委員，国際.
- 佐々木，核医学，編集委員，国内.
- 佐々木，日本核医学会，理事，国内.
- 佐々木，日本核医学会，評議員，国内.
- 佐々木，日本医学放射線学会，代議員，国内.
- 平田，日本･モンゴル消化器癌シンポジウム参加と現地医療機関視察･意見交換，モンゴル国立がんセンター，学術団体.
- 平田，日本放射線腫瘍学会，評議員（教育委員　看護教育担当），国内.
- 平田，LOGIK九州肺癌機構，運営委員（プロトコール委員），国内.
- 平田，日本放射線科専門医会，理事，国内.
- 平田，日本放射線腫瘍学会教育委員会，運営委員（教育委員看護教育担当），国内.
- 平田，放射線影響懇話会，運営委員（世話人），国内.
- 杜下，日本放射線技術学会　，理事（常務理事，評議員，編集委員会副委員長），国内.
- 杜下，医用画像情報学会，理事，国内.

3. 官界

- 佐々木，「大阪大学大学院薬学研究科　創薬推進教育プログラム　外部評価委員」，大阪大学.
- 佐々木，大学設置･学校法人審議会専門委員　（大学設置分科会），文部科学省.
- 小坂，特別研究員等審査会専門委員および国際事業委員会書面審査員，日本学術振興会.

4. 産業界･地域社会･その他の委員会役職 なし

5. 公開講座･公開講演会

- 平田，「最新のガン最先端治療　注目の重粒子/陽子線治療について」，福岡誠ライオンズクラブ. 福岡市，講演会･公開討論.
- 平田，「画像診断からみた胃腸疾患と全身の相関」，別府胃腸会. 大分県別府市，講演会･公開討論.
- 平田，「標準治療から先進医療重粒子線治療の基本的な考え方」，福岡県･ソニー生命保険株式会社. 福岡，公開講座.
- 小坂，　「保健学科公開講座」，　保健学部門.　，　公開講座.

6. 初等中等教育への貢献

小坂，　「九州大学出前授業　1　からだのしくみ」，　香住丘小学校.　講演・セミナー等.

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

≪生体情報学≫

教授	藤本　秀士
教授	大澤　進
准教授	水上　令子
講師	田代　洋行
講師	小島　夫美子
助教	外園　栄作

1．教育活動

1.　大学院講義

生体情報解析学Ⅰ	藤本	前期
アジアにおける保健学	藤本	前期
病原情報解析学特論	藤本	後期
ヘルスサイエンス論(分担)	大澤	前期
臨床化学分析学論	大澤	前期
分子生物化学検査学論（分担）	水上	後期
生体情報解析学Ⅱ（分担）	水上	前期
臨床化学分析学論（分担）	水上	後期

2.　大学院演習

病原情報解析学演習	藤本	前期
臨床化学分析学論（分担）	大澤	後期
分子生物化学検査学論（分担）	水上	後期
生体情報解析学Ⅱ（分担）	水上	前期
臨床化学分析学論（分担）	水上	後期

3.　大学院修士課程修了者

秋本卓	酵素サイクリングを検出系とした高感度酵素免疫測定法の開発(Development of the high sensitive enzymatic immunoassay using enzyme cycling reaction as a determination system)
為實秀人	血清中主要リン脂質酵素的測定系の開発と臨床的有用性の検討(Development of enzymatic measurement system for the detection of main phospholipids in serum and an examination of clinical significance)
湯村旭代	急性冠症候群のマーカーとしての全血コリンの酵素的測定法の酵素的測定法の検討(Determination of choline in whole blood by enzymatic assay in Acute Coronary Syndrome)

4.　学部講義

臨床微生物学および実習	藤本	前期
病原体学	藤本	前期

臨床微生物学特論	藤本	前期
コアゼミナール	藤本	前期
病原体学特論	藤本	後期
感染看護学	藤本	後期
精度管理特論	大澤	後期
医用分析装置学	大澤	前期
臨床化学Ⅰ	大澤	前期
臨床化学Ⅱ	大澤	後期
医療情報システム	大澤	後期
検査管理総論	大澤	前期
検査情報管理学	大澤	後期
遺伝子検査学（分担）	水上	前期
生体情報計測学（分担）	田代	前期
生理機能検査学総論Ⅰ（分担）	田代	前期
医用工学・情報概論（分担）	田代	後期
生理機能検査総論Ⅱ（分担）	田代	後期
医療安全管理学（分担）	田代	後期
医用超音波工学（分担）	田代	前期
画像検査学（分担）	田代	前期
医療情報システム（分担）	田代	後期
生体医工学（分担）	田代	後期
循環機能検査学（分担）	田代	後期
生理機能検査学特論（分担）	田代	後期
呼吸機能検査学（分担）	田代	後期
神経・筋機能検査学（分担）	田代	前期
国際感染症学	小島	前期
臨床検査総論	小島	後期
人体の構造と機能Ⅰ（分担）	小島	通年
医療法律学（分担）	小島	後期
コアセミナー	小島	前期

5. 学部の実験・実習・演習

臨床微生物学および実習	藤本	前期
コアゼミナール	藤本	前期
感染看護学	藤本	後期
臨床化学実習	大澤	後期
検査情報管理学演習	大澤	後期
遺伝子検査学実習（分担）	大澤	後期
卒業研究（分担）	水上	通年
自然科学総合実験（分担）	水上	後期
遺伝子検査学実習（分担）	水上	後期
生理機能検査学実習（分担）	田代	後期
医用工学・情報概論実習（分担）	田代	前期
生体情報学実験（分担）	田代	後期

超音波検査実習（分担）	田代	後期
臨床検査総論実習	小島	前期
国際感染症学実習	小島	後期
コアセミナー	小島	前期
臨床化学実習	外園	後期
超音波実習	外園	後期
医用工学実習	外園	前期
公衆衛生学実習	外園	前期
臨床検査総論実習	外園	前期
臨床生理学実習	外園	後期

6. 卒業論文作成者

村上　ゆり香	鞭毛フック遺伝子 flgE を用いた *Campylobacter* 属の分子生物学的鑑別
中川　美沙	炭酸ガス発生による *Campylobacter* 培養法の有用性
山下　愛実	*Campylobacter jejuni*, *C.coli* の識別における PCR 法と馬尿酸加水分解試験との比較・検討
高橋　沙紀	PCR を用いた cdtB 遺伝子に基づく *Campylobacter* 属の鑑別
小田原　真佐代	新規高感度ペルオキシダーゼ酸化縮合発色試薬の開発と生体成分への応用
前村　香里	酵素サイクリング分析法による生体中アルコールの測定法開発
本郷　以津香	歯周病 IgG 抗体価測定法の標準化
山本　雄彬	尿中成分測定における尿中還元物質の影響評価
有吉　悠香	$p40^{phox}$ の PX ドメインの好中球における局在と機能
冨山　ひろみ	食作用時のヒト好中球における Rab5 の局在
松田　奈美	好中球における Rab7 の局在と食胞成熟
那須　由果莉	V79 細胞を用いた細胞毒性試験による人工視覚システムの生物学的安全性評価
山下　正嗣	九州近海産魚介類に寄生するアニサキス科幼線虫について
甲木　宏美	尿中蛋白測定法の HPLC-UV 法による評価

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

藤本	顧問	医学部保健学科　サッカークラブ

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	感染症の遺伝子診断と分子疫学	藤本
2	病原細菌の感染機構の解明	藤本
3	バイオリスク管理教育の方法および教材の開発	藤本
4	生体試料バイオマーカーの分析法開発・改良と臨床応用	大澤
5	標準化と検査データの共有化 ・精度管理	大澤
6	トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症	水上
7	食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構	水上
8	人工視覚システムの開発	田代

9 超音波検査室の適切照明に関する研究 田代
10 アニサキスに関する研究 小島
11 アニサキスに関する研究 小島
12 生体試料，特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発 外園
13 生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究 外園

2. 学内研究経費の受入れ

- 「平成19年度 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト」インストラクショナルデザインに基づいた高校「生物」未履修対策自習プログラムの開発，水上（分担），0 千円．

3. 奨学寄附金の受入れ

- 「寄付金/生化学自動分析装置の開発」日立ハイテクノロジーズ，大澤，600 千円．
- 「寄付金/手指採血システム開発」株式会社 リージャー，大澤，1,200 千円．

4. その他の外部研究資金の受入れ

- 「厚生労働科学研究費補助金 （新興・再興感染症研究推進事業）ﾊﾞｲｵﾘｽｸ管理の包括的強化及び必要な教材等の開発と実践の評価に関する研究」藤本（分担），42，648 千円(研究代表者一括計上)．
- 「株式会社 セロテック 血清ビリルビン測定法の開発」大澤，3,000 千円．
- 「旭化成ファーマ株式会社 酵素を用いた全血コリン測定法開発，ホスファチジルエタノール測定法開発，全血ホスファチジルエタノールアミン測定法開発」大澤，0 千円．
- 「株式会社 リージャー 手指採血における生化学成分の測定法の開発」大澤，4,800 千円．
- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 in vivo 動物実験による生体安全性の追求」田代，21,000 千円．
- 「ヤマギワ(株),(株)コメディカル 超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究」田代， 400 千円．
- 「和光純薬工業株式会社 尿中・髄液中総蛋白測定試薬の評価」外園，200 千円．
- 「関東化学株式会社 クロロホスフォナゾⅢを用いた血清 Ca 測定試薬の開発」外園，300 千円．

5. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Taura, M., Miyano, K., Minakami, R., Kamakura, S., Takeya, R., Sumimoto, H.: A region N-terminal to the tandem SH3 domain of p47phox plays a crucial role in the activation of the phagocyte NADPH oxidase., *Biochemical Journal*, Vol. 419(2): 329-38，2009 年 04 月．（査読あり）
- Miyano, K., Koga, H., Minakami, R., Sumimoto, H.: The insert region of the Rac GTPases is dispensable for activation of superoxide-producing NADPH oxidases., *Biochemical Journal*, Vol. 422(2): 373-382，2009 年 08 月．（査読あり）
- 小島夫美子，縄田美穂子，藤本秀士：済州島沖で捕獲されたサバに寄生するアニサキス科線虫について，*Clinical Parasitology*，20 巻 1 号，p67-70，2010 年 02 月．（査読あり）
- 外園 栄作，上野 智美，小野 美由紀，堀田 多恵子，栢森 裕三，大澤 進：小型自動分析装置日立クリニカルアナライザーS40 への新しい血清カルシウム測定試薬の応用検討，*日本臨床自動化学会誌* ，2009.Vol 34-5,853-859，2009 年 10 月．（査読あり）
- Hokazono, E., Osawa, S., Nakano, T., Kawamoto, Y., Oguchi, Y., Hotta, T., Kayamori, Y., Kang, D., Cho, Y., Kiyoko, S. and Sato, K. : Development of a new measurement method for serum calcium with chlorophosphonazo-III，*Annals of Clinical Biochemistry*, 46: 296-301，2009 年 07 月．（査読あり）
- 外園 栄作，中野 倫太，小口 雄二，大澤 進：MRI 造影剤の影響を回避した新しい血清カルシウム測定試薬の開発，*生物試料分析科学会 生物試料分析* ，Vol.33, No2, 191-197，2010 年 03 月．（査読あり）

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Yukiko Harada, Shoji Higashida, Mika Shigematsu.: Molecular epidemiology of Campylobacter isolates in Fukuoka, Japan.， 15th International

Workshop on Campylobacter, Helicobacter, and Related Organisms., 2009 年 09 月 01 日, Japan.

- Y. Terasawa, A. Uehara, H. Kanda, H. Tashiro, M. Ozawa: A method of surface-area enhancement of platinum bulk electrode with electrochemical etching., Neuroscience 2009, Society for Neuroscience's 39th annual meeting, 2009 年 10 月 18 日, United States of America.
- S. Osawa, E. Hokazuno, T. Harada : THE APPLICABILITY TO AN AUTOMATED ANALYZER AND THE CLINICAL EVALUATION OF THE PHOSPHODIESTERASE ACTIVITY MEASUREMENT IN THE SERUM, 18th IFCC - EFCC European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine, 2009 年 06 月 09 日, Austria.

c. 調査研究報告

- 藤本秀士, 重松美加: バイオリスク教育における WEB を利用した e-ラーニングの活用の研究 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2010 年 03 月.
- 藤本秀士: 米国におけるバイオリスク管理教育 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2010 年 03 月.
- 細萱茂実, 大澤 進, 岡田 元, 坂場幸治, 齋藤 篤, 荒木 秀夫, 山本慶和, 松本裕之, 永峰康孝, 篠原克幸, 小栗 孝志, 五内川里子, 田中久晴: 平成 21 年度 日臨技臨床検査データ標準化事業 報告書, 日本臨床衛生検査技師会, 2010 年 03 月.

d. 国内学会での講演, 発表

- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Yukiko Harada, Shoji Higashida, Mika Shigematsu.: Molecular epidemiological analysis of Campylobacter isolates in Fukuoka, Japan., 第 32 回日本分子生物学会年会, 2009 年 12 月 01 日, 横浜.
- 藤本秀士: 米国におけるバイオリスク管理教育プログラム, 第21回日本臨床微生物学会総会, 2010 年 01 月 31 日, 東京.
- 大澤 進, 外園栄作, 堀田正敏, 岩澤 肇, 杉本晋哉: 特定健診における指先末梢血検査システムでの測定値の評価, 第 49 回日本臨床化学会年次学術集会, 2009 年 09 月 19 日, 長崎大学.
- 湯村旭代, 外園栄作, 大澤 進, 酒瀬川信一, 植田 成: 急性冠症候群の新たなマーカーとしての全血コリンの酵素的測定法の検討, 第 56 回日本臨床検査医学会学術集会, 2009 年 08 月 27 日, 札幌コンベンションセンター.
- 大澤 進: 我が国の臨床検査の標準化と全国検査値標準化の進展, 2009 年 09 月 18 日, 長崎大学.
- 大澤 進: 血清ビリルビン分画測定における JSCC 常用基準法の策定検証実験(HPLC 法普遍性の検証), 日本臨床化学会, 2009 年 09 月 18 日, 長崎大学.
- 宮野佳, 古賀博文, 水上令子, 住本英樹: Rac-dependent activation of superoxide-producing NADPH oxidases does not require its insert region., 第 32 回 日本分子生物学会, 2009 年 12 月 10 日, 横浜.
- 寺澤靖雄, 上原昭宏, 神田寛行, 阿部志保, 田代洋行, 小澤素生, 太田淳: エッチング加工に基づく白金バルク電極の高性能化, 第 47 回日本人工臓器学会大会, 2009 年 11 月 14 日, 新潟.
- 小島夫美子, 縄田美穂子, 藤本秀士: 済州島沖で捕獲されたサバに寄生するアニサキス科線虫について, 日本臨床寄生虫学会, 2009 年 06 月 01 日.
- 外園栄作, 小島夫美子, 大澤進: キサンテン系色素を用いた新しい尿沈渣染色・保存液の検討, 福岡県医学検査学会, 2009 年 06 月 28 日, 福岡.
- 外園 栄作, 甲木 宏美, 大澤 進: 改良型マイクロ TP-AR による尿中総蛋白測定試薬の基礎的性能評価, 日本臨床検査自動化学会, 2009 年 10 月 10 日, 横浜.
- 外園栄作, 大澤 進, 湯村旭代: 急性冠症候群の新たなマーカーとしての血中コリンの酵素的測定法の検討, 第 58 回日本医学検査学会, 2009 年 08 月 01 日, パシフィコ横浜.

著作

a. 単行本

- 藤本秀士他, :（共著）ベーシックナーシング，2010 年 01 月，メディカルレビュー社.
- 大澤 進:（共著）コメディカル・研修医・一般臨床医のための 糖尿病治療ハンドブック －基本的な考え方とその実践・心理的アプローチ－，2009 年 09 月，医学出版.
- 大澤 進:（共著）臨床化学検査の標準化基礎技術マニュアル，2009 年 09 月 .
- Susumu Osawa:（共著）Clinical Laboratory Reference System 7. Clinical Laboratory Reference system: The Japanese experience，2009 年 06 月.
- 大澤 進 :（共著）臨床検査 精度保証教本，2010 年 03 月，日本臨床衛生検査技師会.

b. 総説

- 大澤 進: Ⅰ型糖尿病の成因:環境因子，月刊 糖尿病，2009 年 11 月 .

c. 解説，書評など

- Shuji Fujimoto, Fumiko Kojima, Yukiko Harada, Shoji Higashida, Mika Shigematsu. : Molecular epidemiology of Campylobacter isolates in Fukuoka, Japan. CHRO2009 Abstracts p91，2009 年 09 月 .

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 大澤，手指採血における生化学成分の測定法の開発，株式会社 リージャー，2008 年 04 月～2010 年 06 月.
- 田代，人工視覚システムの開発 in vivo 動物実験による生体安全性の追求，(株)ニデック，2008 年 04 月～2012 年 02 月.
- 田代，超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究，ヤマギワ(株),(株)コメディカル，2009 年 04 月～2011 年 03 月.
- 外園，エタノールアミンの酵素的測定法の確立，旭化成ファーマ株式会社，2006 年 04 月～.
- 外園，遊離コリンの酵素的測定法の確立，旭化成ファーマ株式会社，2006 年 04 月～.
- 外園，尿中・髄液中総蛋白測定試薬の評価，和光純薬工業株式会社，2009 年 04 月～2010 年 03 月.
- 外園，クロロホスフォナゾⅢを用いた血清 Ca 測定試薬の開発，関東化学株式会社，2009 年 10 月～2010 年 12 月.

2. 受託研究

- 大澤，血清ビリルビン測定法の開発，株式会社 セロテック，2008 年 11 月～2010 年 03 月.
- 大澤，酵素を用いた全血コリン測定法開発，ホスファチジルエタノール測定法開発，全血ホスファチジルエタノールアミン測定法開発，旭化成ファーマ株式会社，2008 年 04 月～2010 年 03 月.

3. 取得特許

- 視覚再生補助装置，寺澤 靖雄,田代 洋行,鐘堂 健三,太田 淳,徳田 崇,香川 景一郎,上原 昭宏,八木 透，特許 4412924.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 藤本，サンディア国立研究所(United States of America)，大学・研究所訪問，2009 年 09 月～2009 年 09 月（2 週間未満）.
- 藤本，テキサス大学ヒューストン校(United States of America)，大学・研究所訪問，2010 年 02 月～2010 年 03 月（2 週間以上 1 ヶ月未満）.
- 大澤，Innsbruck, Austria Congress Innsbruck(Austria)，国際会議，2009 年 06 月～2009 年 06 月（2 週間未満）.

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 藤本，研究用微生物安全管理委員会　委員.

2. 部局委員

- 藤本，教務委員会　副委員長.
- 藤本，大学院委員会委員.
- 藤本，医学分館運営委員会委員.

3. 部門・コース内委員

- 藤本，FD実行委員会　委員長.
- 藤本，EEP 実行委員会　委員.
- 藤本，入試出題委員(英語，専門科目).
- 小島，広報委員会　委員.
- 小島，質の高い大学教育推進プログラム委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 藤本，大村美容専門学校，非常勤講師.
- 小島，福岡医科歯科技術専門学校・臨床工学士科，非常勤講師.

2. 学協会

- 藤本，日本感染症学会，評議員，国内.
- 大澤，日本臨床検査自動化学会，理事（監事，編集幹事），国内.
- 大澤，日本臨床検査学教育協議会，理事，国内.
- 外園，日本臨床検査同学院，九州地区実務委員，学術団体，国内.
- 外園，健康食品管理士会九州支部，事務局長 ，国内.

3. 公開講座・公開講演会

- 小島，「保健学科で行なっている公開講座＜メタボリック症候群の制圧にむけて＞の公開講座委員として企画，運営，活動に参加.」，九州大学医学部保健学科．九州大学コラボ・ステーションⅠ，公開講座.
- 小島，「サイエンスキャラバン 2009/”安心・安全を科学する”の年度テーマの中で，”いまどきの寄生虫～さりげなくしたたかに生きる虫～”のテーマで講演した」，糸島学術研究都市推進協議会（九州大学，前原市，二丈町，志摩町，福岡県）．前原市役所，講演会・公開討論.
- 外園，「21 年度市民公開講座（メタボリック症候群の征圧に向けて －地域で予防するメタボリック症候群－）」，九州大学医学部保健学科 ．九州大学コラボ・ステーションⅠ，公開講座.

検査技術科学分野

≪病態情報学≫

教授	梅村　創
教授	永淵　正法
教授	岡村　建
教授	杉島　節夫
准教授	田宮　貞史
准教授	長山　淳哉
助教	栗崎　宏憲
助教	渡邊　壽美子

1．教育活動

1.　大学院講義

血液機能検査学（分担）	梅村	前期
保健学とチーム医療（分担）	梅村	前期
代謝内分泌病態検査学論	岡村	後期
病理組織細胞学（分担）	杉島	後期
病態情報検査学Ⅰ（分担）	杉島	前期
病理細胞検査学論	田宮	後期
病態情報解析学Ⅰ	田宮	前期

2.　大学院実験・実習

特別研究（分担）	梅村	通年

3.　大学院演習

病態情報免疫代謝検査学演習（分担）	梅村	前期
病態情報免疫代謝検査学演習	岡村	前期
病理細胞学	杉島	通年
病態情報解析学Ⅰ	田宮	前期

4.　大学院修士課程修了者

安田洋子　核異型の形態計測的評価を用いた乳癌の穿刺吸引細胞標本における細胞学的グレード分類の検討(Research into cytological grading system index using nuclear morphological measurement for aspiration cytology in breast cancer)

玉城真太　体腔液細胞診における中皮細胞の良悪性の鑑別に有用な数量的特性(Significant quantitative featurers to distinguish between Malignant mesothelioma and non-neoplastic mesothelium in effusion fluid cytology.

5.　学部講義

血液検査学	梅村	前期

医学総論Ⅰ・Ⅱ	梅村	前期
輸血検査学	梅村	前期
遺伝子工学	梅村	後期
医用外国語学（分担）	永淵	後期
細胞生物学	杉島	前期
病理組織細胞学	杉島	前期
生化学総論	岡村	前期
生化学各論	岡村	後期
臨床化学Ⅰ（分担）	岡村	前期
病理学総論（分担）	田宮	前期
病理学各論（分担）	田宮	後期
医療法律検査学特論（分担）	長山	後期
公衆衛生学Ⅰ	長山	前期
公衆衛生学Ⅱ	長山	後期
環境保健学	長山	前期
環境保健学	長山	後期
臨床微生物学及び実習	栗崎	前期

6. 学部の実験・実習・演習

血液検査学実習	梅村	後期
遺伝子検査学実習	梅村	後期
病理組織細胞学実習Ⅰ（分担）	杉島	後期
病理組織細胞学実習Ⅱ	杉島	前期
病理学実習（分担）	田宮	後期
病理組織細胞学実習Ⅰ	田宮	後期
病理組織細胞学実習Ⅱ	田宮	前期
公衆衛生学実習	長山	前期
臨床免疫学実習	栗崎	前期
生化学実習	栗崎	前期
臨床微生物学及び実習	栗崎	前期
臨床免疫学実習	栗崎	後期
遺伝子検査学実習	栗崎	後期
国際感染症学実習	栗崎	後期
血液学実習	渡邊	前期
解剖学実習	渡邊	前期
病理組織学実習Ⅱ	渡邊	前期
血液学実習	渡邊	後期
病理学実習	渡邊	後期
病理組織学実習Ⅰ	渡邊	後期

7. 卒業論文作成者

田中　由香	赤血球内 RISC－microRNA 複合体の解析
篠原　麻衣子	K562 細胞分化誘導における microRNA 発現解析
佐保　奈津美	フローサイトメトリーを用いた有核赤血球の解析

八尋　仁菜	メンブレンフィルタを用いた尿遺伝子検査法の開発
甲斐　裕次	ウイルス誘発糖尿病における感受性遺伝子の検討
小田　淑恵	樹状細胞における AIRE 遺伝子の発現, AIRE 蛋白の表出の検討
加治木　靖子	インスリン産生能を有する膵島 β 細胞への Tyk2 遺伝子の導入とその影
鎌田　祐美	1型糖尿病患者におけるヒト TYK2 遺伝子変異の解析
鹿子生　安奈	細気管支肺胞上皮癌の細胞学的特徴の検討
高山　恵里香	非浸潤性乳管癌と浸潤性乳管癌の細胞学的特徴についての比較検討
森田　絵理,	子宮体部腺癌の細胞学的特徴の比較検討
宮本　直樹	甲状腺穿刺吸引標本の細胞診による濾胞癌と濾胞腺腫の鑑別点の検討
安藤　美幸	バセドウ病の循環合併症とその検査について
石川　陽子	甲状腺濾胞癌・濾胞腺腫・腺腫様甲状腺腫の鑑別に有用な超音波所見及び細胞診所見の検討
井上　美咲	バセドウ病のアイソトープ治療と抗 TSH 受容体抗体(TBII)
岡野　真由子	MRI を用いたバセドウ病眼症の治療効果および経過の評価～特に外眼筋と眼窩脂肪組織について～
上原　俊貴	軟部紡錘型細胞病変の細胞診の実態と鑑別診断に有用な所見の検索
釣本　美沙貴	子宮頸部腺上皮細胞の核小体と腺系病変の組織型との関連性について
立石　興司	細胞診における筋外性濾胞辺縁帯 B 細胞リンパ腫（MALT リンパ腫）の鑑別に有用な所見の検索
入船　弘光	アセトン-ヘキサン(A-H)法および高速溶媒抽出(ASE)法による血清からの脂質抽出に関する研究
田中　美穂	クロロホルム-メタノール法による血清からの脂質抽出に関する研究
松本　尚子	エタノール・ヘキサン法による血清からの脂質抽出に関する研究
藤田　麻子	マウス胸腺における Aire 蛋白の表出
坂本　憲亜	細胞形態と細胞周期の関連性

2. 学生支援活動

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	造血機能の遺伝子解析法の開発	梅村
2	microRNA による造血調節機構の解析	梅村
3	ヒト正常造血の分子機構	梅村
4	回復期造血における赤芽球系造血に関する研究	梅村
5	ウイルス誘発糖尿病	永淵
6	AIRE 遺伝子の発現調節と機能	永淵
7	1 型糖尿病感受性遺伝子研究	永淵
8	非浸潤性乳管癌の細胞学的検討	杉島
9	甲状腺の病態生理	岡村
10	細胞および組織形態の客観的評価法について	田宮
11	臍帯を用いた研究	長山
12	有害物質の化学分析法に関する研究	長山
13	カネミ油症に関する研究	長山
14	自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎

15　癌細胞における細胞形態学　　渡邊

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「挑戦的萌芽研究」ヒト赤血球microRNAによるマラリア感染機構の調節，梅村(代表)，1,600 千円.
- 「基盤研究(A)」自己免疫性多腺性内分泌不全症・カンジダ症の感染防御障害機構，永淵(代表)，7,400 千円.
- 「挑戦的萌芽研究」AIRE研究を基盤にしたB細胞による1型糖尿病発症制御機構の解明，永淵(代表)，1,200 千円.
- 「若手研究(B)」APECED疾患モデルマウスを用いたカンジダ感染防御機構の解析，栗崎(代表)，1,800 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ

- 「寄付金」福岡県医師会検査センター，田宮，4,800 千円.
- 「寄付金」九州大学形態機能病理，田宮，1,000 千円.

4. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 藤本文恵，藤井智美，安部康信，梅村創.　尿検体を用いた慢性骨髄性白血病の molecular monitoring に関する基礎的検討.　日本検査血液学会誌，10（3）：344-349, 2009（査読有り）
- Nagafuchi S, Katsuta H, Anzai K.: Rituximab, B-Lymphocyte depletion, and beta-cell function. *N Engl J Med 362(8):761, 2010*, 2010 年 02 月.（査読あり）
- Sanai T, Inoue T, Okamura K, Sato K, Yamamoto K, Abe T, Node K, Tsuruya K, Iida M: Reversible primary hypothyroidism in Japanese patients undergoing maintenance hemodialysis, *Clin Nephrol 69:107-13, 2008(2)*, 69:107-13, 2008(2), 2009 年 10 月.（査読あり）
- Isobe T, Yanai S, Kusaba H, Yada S, Kuroda Y, Tamiya S, Matsumoto T, Baba E, Harada M: Effective monotherapy with amrubicin for a refractory extrapulmonary small-cell carcinoma of the liver, *Case Report Med*, , 2009 年 09 月.（査読あり）
- Endo, M. Oda, Y. Harimaya, K. Tamiya, S. Yamamoto, H. Kohashi, K. Kurihara, S. Setsu, N. Matsuura, S. Matono, H. Matsuda, S. Iwamoto, Y. Tsuneyoshi, M.: Low-grade dedifferentiated liposarcoma of the neck: magnetic resonance imaging and pathological correlation, *J Orthop Sci*, , 2010 年 02 月.（査読あり）
- Matsuura, S. Oda, Y. Matono, H. Izumi, T. Yamamoto, H. Tamiya, S. Iwamoto, Y. Tsuneyoshi, M.: Overexpression of A disintegrin and metalloproteinase 28 is correlated with high histologic grade in conventional chondrosarcoma, *Hum Pathol*, , 2009 年 11 月.（査読あり）
- Endo M, Oda Y, Harimaya K, Tamiya S, Yamamoto H, Kohashi K, Kurihara S, Setsu N, Matsuura S, Matono H, Matsuda S, Iwamoto Y, Tsuneyoshi M. : Low-grade dedifferentiated liposarcoma of the neck: magnetic resonance imaging and pathological correlation., *J Orthop Sci.*, , 2010 年 01 月.（査読あり）
- Nagayama J, Hirakawa H, Kajiwara J, Todaka T, Shibata S, Tsuji H and Iwasaki T: Promotive excretion of polychlorinated dibenzofurans and polychlorinated dibenzo-p-dioxins by FBRA in patients with Yusho, *Organohalogen Compounds*, 71: 398-403, 2009 年 08 月.（査読あり）
- Nagayama J, Waki S, Kibe Y, Ishida M, Hirakawa H, Kajiwara J and Nakagawa R: Studies on lipid extraction by three different methods in the serum and whole blood, *Organohalogen Compounds*, 71: 393-397, 2009 年 08 月.（査読あり）
- 梶原淳睦，戸高尊，平川博仙，堀就英，安武大輔，中川礼子，飯田隆雄，長山淳哉，吉村健清，古江増隆：油症患者の保存さい帯（へその緒）中のダイオキシン類濃度，*福岡医学雑誌*，100: 179-182，2009 年 05 月.（査読あり）

- 長山淳哉, 平川博仙, 梶原淳睦, 飯田隆雄, 戸高尊, 上ノ土武, 柴田智子, 辻博, 岩崎輝明: 玄米発酵健康補助食品による油症原因物質の体外排泄促進 ―PCDFs とPCDDs の場合―, *福岡医学雑誌*, 100: 192-199, 2009 年 05 月.
- 仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫. : 子宮頸部細胞診における Pair cell の意義, *日本臨床細胞学会九州連合会雑誌.*, VOL.40 :P107～P112, 2009, 2009 年 07 月. (査読あり)
- 仲 正喜, 渡辺 寿美子, 田宮 貞史, 加来 恒寿, 大久保 文彦, 小川 伸二, 小林 裕明, 和氣 徳夫, 杉島 節夫: 子宮頸部細胞診における Pair cell の意義, *日本臨床細胞学会九州連合会雑誌*, , 2009 年 07 月. (査読あり)

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- T.Umemura,Y. Tanaka1, M. Fujisaki, S. Masaki, H. Shiotsu1, K. Srinoun, S. Fucharoen, Y. Abe, H. Ichihara, H. Toh and H. Hisaeda: MicroRNA-Ago2 Complex in Mature Human Red Blood Cells, 51st Annual Meeting of American Society of Hematology, December 5-8, New Orlens, Lousiana, US, 2009 年 12 月 07 日, United States of America.
- Matsuo T, Noguchi Y, Nagao Y, Shindo M, Kogawa K, Iwakiri R, Akashi 2, Hara T, Kudoh J, Shimizu N, Kurisaki H, Katsuta H, Anzai K, Nagafuchi S.: The significance of B cells in the pathogenesis of type 1 diabetes and a possible role of AIRE gene, 米国糖尿病学会学術集会, 2009 年 06 月 07 日, United States of America.
- Ken Okamura, Sachiko Bandai, Megumi Fujikawa, Kaori Sato, Mitsuo Iida: Exacerbation of Graves' ophthalmopathy , 34th European Thyroid Association, 2009 年 09 月 01 日, Portugal.
- Nagayama J, Hirakawa H, Kajiwara J, Todaka T, Shibata S, Tsuji H and Iwasaki T: Promotive excretion of polychlorinated dibenzofurans and polychlorinated dibenzo-p-dioxins by FBRA in patients with Yusho, 29th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2009 年 08 月 01 日, China. (公開)
- Nagayama J, Waki S, Kibe Y, Ishida M, Hirakawa H, Kajiwara J and Nakagawa R: Studies on lipid extraction by three different methods in the serum and whole blood, 29th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2009 年 08 月 01 日, China.

c. 国内学会での講演, 発表

- 眞嵜志津佳, 藤崎恵, 安部康信, Suthat Fucharoen, 梅村創: 成熟赤血球内 miRNA の解析, 第 10 回日本検査血液学会学術集会, 2009 年 07 月 05 日, (山梨大学・会場:山梨大学甲府キャンパス).
- 塩津弘倫, 安部康信, 梅村 創: K562 分化誘導系における*エクソソーム内遺伝子解析, 第 27 回日本染色体遺伝子検査学会, 2009 年 11 月 28 日, 聖マリア大学, 久留米.
- 永淵正法: 糖尿病の臨床検査, 日本糖尿病学会九州地方会, 2009 年 10 月 24 日, 北九州市.
- 栗崎宏憲, 藤本秀士, 光山正雄, 永淵正法: Aire 欠損マウスを用いた Candida albicans の感染防御機構の解析, 第 83 回日本感染症学会総会, 2009 年 04 月 24 日, 東京都.
- 孝橋賢一(九州大学 形態機能病理), 小田義直, 山元英崇, 田宮貞史, 木下義晶, 田尻達郎, 田口智章: NI1 蛋白欠失腫瘍群における Glypican3 を用いた鑑別診断, 小児がん学会, 2009 年 11 月 01 日.
- 大久保文彦, 寺戸信芳, 杉島節夫, 田宮貞史, 山元英崇, 小田義直, 恒吉正澄, 古賀高臣, 居石克夫: MALT リンパ腫の細胞形態学的検討, 日本臨床細胞学会雑誌, 2010 年 01 月 01 日.
- 的野浩士, 小田義直, 田宮貞史, 山元英崇, 松浦傑, 遠藤誠, 薛宇孝, 岩本幸英, 恒吉正澄: デスモイドにおける β カテニンとMMP9 との関連について, 日本整形外科学会, 2009 年 05 月 01 日.

- 西村和徳, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 岩坂剛, 杉島節夫: 核中心点間最短距離(SDN)による悪性度評価, 日本臨床細胞学会, 2009 年 05 月 01 日.
- 角正恵, 緒方昌倫, 宇野大輔, 平山賢司, 白土亮子, 伊藤やよい, 中守真理, 田宮貞史: 肺大細胞性内分泌癌(LCNEC)の 1 例, 日本臨床細胞学会, 2009 年 05 月 01 日 .
- 安田洋子, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 井戸垣都, 大久保文彦, 山元英崇, 杉島節夫: 乳癌の穿刺吸引細胞診標本における核異型の形態計測的評価, 第 50 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 平成 21 年 6 月 27-28 日 東京都 , 2009 年 06 月 27 日, 福岡県みやま市.
- 安田洋子, 渡辺寿美子, 鷺山和幸, 田宮貞史, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫, 金城満, 小田義直, 杉島節夫: 尿細胞診において腺癌を推定した1例, 第 48 回日本臨床細胞学会秋期大会 平成 21 年 10 月 30-31 日 福岡, 2009 年 10 月 30 日, 福岡県みやま市.
- 西村和徳, 渡邊寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大久保文彦, 山元英崇, 小林裕明, 和氣徳夫, 岩坂剛, 杉島節夫: 核小体の臨床的意義～子宮頸部腺系細胞を用いて～, 第 50 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 平成 21 年 6 月 27-28 日 東京都 , 2009 年 06 月 27 日, 福岡県みやま市.
- 玉城真太, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 大久保文彦, 山元英崇, 杉島節夫: 体腔液細胞診における反応性中皮, 悪性中皮腫の形態的特徴, 第 50 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 平成 21 年 6 月 27-28 日 東京都 , 2009 年 06 月 27 日, 福岡県みやま市.
- 渡辺寿美子,加来恒壽, 田宮貞史, 安田洋子, 玉城真太, 西村和徳, 杉島節夫, 小林裕明, 横山正俊, 岩坂剛: 子宮頸癌の最近の知見と細胞診 腺系病変を中心に 子宮頸部腺細胞におけるクロマチンと核小体 細胞像からみえる細胞周期, 第 48 回日本臨床細胞学会秋期大会 平成 21 年 10 月 30-31 日 福岡, 2009 年 10 月 30 日, 福岡市.
- 玉城真太, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 坂梨史典, 大喜雅文, 神宮稜多郎, 鷺山和幸, 金城満, 加来恒壽, 杉島節夫: 自然尿細胞診を用いた膀注療法の細胞像の変化, 第 48 回日本臨床細胞学会秋期大会 平成 21 年 10 月 30-31 日 福岡, 2009 年 10 月 30 日, 福岡市.
- 神宮綾多郎, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大喜雅文, 菊池友紀, 仲正喜, 大久保文彦, 杉島節夫, 岩坂剛: 細胞診における画像解析法の開発ー 核内クロマチン分布の定量評価 へ向けて (I) ー, 第 50 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2009 年 06 月 26 日, 京王プラザホテル(東京).
- 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 大喜雅文, 神宮綾多郎,杉島節夫, 小林裕明, 和氣徳夫, 横山正俊, 岩坂剛: 細胞診における画像解析法の開発ー 核内クロマチン分布の定量評価 へ向けて (II) ー, 第 50 回日本臨床細胞学会(春期大会), 2009 年 06 月 26 日.
- 渡辺寿美子, 加来恒壽, 田宮貞史, 坂本憲亜, 安田洋子, 玉城真太, 西村和徳, 杉島節夫, 小林裕明, 横山正俊, 岩坂剛: 子宮頸部腺細胞におけるクロマチン分布と核小体ー 細胞像からみえる細胞周期 ー, 第 48 回日本臨床細胞学会(秋期大会), 2009 年 10 月 30 日, シーホークホテル(福岡).

著作

a. 単行本

- 永淵正法(編集代表), 安西慶三, 近藤しおり, 南昌江, 滝井正人, 樗木晶子, 久保千春(編集委員): (編集) 糖尿病治療ハンドブック, 2009 年 10 月, 医学出版.
- 岡村 建, 萬代 幸子: (共著) よくわかる甲状腺疾患のすべて 第二版 (伴良雄編) 甲状腺とヨード, 2009 年 08 月, 永井書店.
- 長山淳哉: (単著) 油症研究Ⅱ ー治療と研究の最前線ー 玄米発酵食品の摂取による油症原因物質の体外排泄促進, 2010 年 02 月, 九州大学出版会.
- 長山淳哉: (単著) 油症研究Ⅱ ー治療と研究の最前線ー 胎児性油症の原因物質もポリ塩化ダイベンゾフラン, 2010 年 02 月, 九州大学出版会.

b. 総説

- 梅村 創: microRNA:バイオマーカーとしての展開，日本臨床検査自動化学会会誌，2009 年 06 月.
- 永淵正法: 糖尿病発症に関るウイルス感染症ー糖尿病ウイルス原因説ー，月刊糖尿病 ，2009 年 06 月.

c. 解説，書評など

- Nagafuchi S, Katsuta H, Anzai K: Rituximab, B-lymphocyte Depletion, Beta-cell Function, New England Journal of Medicine, 2010 年 02 月.
- 長山淳哉: カネミ油症の原因物質について思うこと，回復への祈り ーカネミ油症 40 年記念誌ー pp68-69, 長崎県五島市発行，2010 年 03 月.

報道

- 永淵，佐賀新聞，「九州大学で糖尿病研究ー治療ノウハウ本を出版ー」，2009 年 10 月.
- 長山，日本流通産業新聞，「玄米発酵食品ハイ・ゲンキに，油症の主な原因物質である PCDFs を体外に排出する効果がある.」，2009 年 08 月.
- 長山，健康産業流通新聞，「玄米発酵食品ハイ・ゲンキに，油症の主な原因物質である PCDFs を体外に排出する効果があることを国際学会で発表した.」，2009 年 09 月.

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 梅村，マヒドン大学, バンコク, タイ国(Thailand)，その他，2009 年 05 月～2009 年 05 月（2 週間未満）.

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 岡村，創立百周年記念事業専門委員会委員.
- 田宮，入学者選抜研究委員会.

2. 部局委員

- 岡村，付属図書館医学分館運営委員.
- 岡村，病院運営会議.
- 栗崎，百人部会委員.

3. 部門・コース内委員

- 永淵，施設委員会委員長.
- 杉島，学生委員会委員.
- 田宮，将来計画, 点検・評価委員会.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 長山，福岡工業大学・生命環境科学科，非常勤講師.

2. 学協会

- 永淵，日本臨床ウイルス学会，幹事（常任幹事），国内.
- 永淵，臨床とウイルス，編集委員（論文の査読, 特集の企画），国内.
- 杉島，日本細胞診断学推進協会，その他（代議員），国内.
- 杉島，日本細胞診断学協会細胞検査士会，その他（編集委員長），国内.
- 杉島，日本臨床細胞学会九州連合会雑誌，編集委員，国内.
- 杉島，日本細胞診断学推進協会細胞検査士会会報，編集委員長，国内.
- 杉島，Medical Technology，その他（編集協力スタッフ），国内.
- 渡邊，日本臨床細胞学会福岡県支部，その他（会計），国内.
- 渡邊，日本臨床細胞学会九州連合会，その他（編集委員），国内.

3. 公開講座・公開講演会

- 栗崎，「市民公開講座」，九州大学大学院医学研究院保健学部門．コラボステーション，公開講座．

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧 ーーーーーーーーーーーーーーーーー

教員人員及び教員配置表　　**保健学部門　平成21年度**

分野･領域	教 授	准教授	講 師	助教(准助教)	その他
看護学					
臨床健康支援看護学	大池美也子 北原 悦子 樗木 晶子 川本利恵子 中尾 久子	長家 智子 原田 博子 平成22年1月 1日採用	丸山マサ美 中尾富士子	末次 典恵 平成22年3月31日退職 道面千恵子 宮園 真美 金岡 麻希 木下由美子 松木美奈子 平成21年4月 1日採用 平成22年3月31日退職	※道面:育児休業H21.2.19～H22.3.31 ※松木:道面助教育児休業中の任用 H21.4.1～H22.3.31
広域生涯発達看護学	平田 伸子 長弘 千恵 加来 恒壽 鳩野 洋子 松﨑 彰信 平成21年11月30日退職	新小田春美 濵田 裕子 平野 裕子 木下 義晶 平成22年2月 1日採用 (昇任)	野口ゆかり 藤野 成美 寺岡 佐和	藤田 紋佳 末次 美子 仲道 由紀 木原 深雪 木村 一絵 前野有佳里 平成21年4月 1日配置換 馬場 香織 平成21年8月 6日採用 平成22年3月31日退職 ベヴァン宏美 平成21年9月 1日採用	※寺岡:育児休業H21.8.17～H22.3.31 ※木村:育児休業H21.2.6～H22.5.31 ※馬場:木村助教育児休業中の任用 H21.8.6～H22.3.31 ※ベヴァン:寺岡講師育児休業中の任用 H21.9.1～H22.3.31
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 豊福不可依 鬼塚 昌彦 平成22年3月31日定年退職	高橋 昭彦 有村 秀孝		小段 謙一	
医用放射線科学	東田 善治 平成22年3月31日定年退職 平田 秀紀 小坂 克子 佐々木雅之	杜下 淳次 坂井 修二 平成21年8月31日退職 藪内 英剛 平成21年9月 1日採用 (昇任)		赤坂 勉 熊澤 誠志	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 大澤 進	水上 令子	田代 洋行 小島夫美子	外園 栄作	
病態情報学	梅村 創 永淵 正法 岡村 建 平成22年3月31日定年退職 杉島 節夫	田宮 貞史 長山 淳哉		栗崎 宏憲 渡邊壽美子	勝田 仁 学術研究員、平成21年9月1日採用

部門長	加来
副部門長	梅村
	大喜
分野長(教授①)	
看護学	川本
医用量子線科学	佐々木
検査技術科学	大澤

○:選出人数
(年):任期

任期等

1. 各分野から選出する委員の任期は原則2年。ただし、各委員会とも、平成22年度以降半数改選のため、平成21年度に限り、各分野から1年任期の委員を選出する。
2. 平成22年度以降は、任期(残任期間)が1年の者の後任者を選出することにより、委員を選出する。
(任期は原則2年)
2. 今回選出する平成21年度委員の任期の始期は、平成21年4月1日。
3. 広報委員会委員の教授の任期については、別途「申合せ」による。

No.		1		2		3		4		5		6	
委員会名		総務委員会		将来計画、点検・評価委員会		研究推進委員会		人事委員会		再任審査委員会		教員業績評価委員会	
委員長		部門長	加来	部門長	加来	部門長指名	東田	部門長	加来	部門長	加来	部門長	加来
副委員長		委員長指名	梅村	委員長指名	梅村	委員長指名	鳩野	委員長指名	梅村	委員長指名	梅村	委員長指名	大喜
分野から選出する委員	看護学	教授 ①(2年)	鳩野	教授 ①(2年)	大池	教授 ①(2年)	鳩野	教授 ①(1年)	平田	教授 ①(2年)	中尾(久)	教授 ①(1年)	樗木
				教授 准教授 講師 助教 ①(1年)	末次(典)					准教授 講師 ①(1年)	野口		
	医用量子線科学			教授 ①(1年)	鬼塚	部門長指名(委員長) (1年)	東田	教授 ①(2年)	小坂	教授 ①(1年)	鬼塚	教授 ①(2年)	大喜
				教授 准教授 講師 助教 ①(2年)	高橋					准教授 講師 ①(2年)	藪内		
	検査技術科学			教授 ①(2年)	杉島			教授 ①(1年)	永淵	教授 ①(2年)	梅村	教授 ①(1年)	岡村
				教授 准教授 講師 助教 ①(1年)	田宮					准教授 講師 ①(1年)	水上		
職指定の委員	[指定される者] (執行部) 部門長	部門長	加来	部門長	加来	副部門長	大喜	部門長	加来	部門長	加来	部門長	加来
	副部門長	副部門長	梅村	副部門長	梅村	分野長	川本	副部門長	梅村	副部門長	梅村	副部門長	大喜
			大喜	分野長	川本		佐々木		大喜	分野長	川本	分野長	川本
	分野長	分野長	川本		佐々木		大澤	分野長	川本		佐々木		佐々木
			佐々木		大澤	財務	加来		佐々木		大澤		大澤
			大澤	研究推進	東田	学生	北原		大澤	部門長が必要と認めた者	岡村		
	研究推進	研究推進	東田	学生	北原	教務	鬼塚						
	地域・国際連携推進	地域・国際連携推進	豊福	教務	鬼塚	大学院	中尾(久)						
	(部門内委員会委員長) 施設・環境	施設・環境	永淵	大学院	中尾(久)								
	学生	学生	北原										
	(全学委員会委員等) 教務	教務	鬼塚										
	大学院	大学院	中尾(久)										
	広報	広報	松﨑										
部門長指名委員		総長特別補佐	樗木										

※樗木教授は21年5月13日選出

※H21度の委員長は部門長指名により東田教授。

※平田教授は、21年5月13日選出。任期は22年3月31日まで。

※藪内准教授は、21年9月から。任期は23年3月31日まで。

○：選出人数
（　年）：任期

No.		7			8		9			10			11		12		
委員会名		地域・国際連携推進委員会			財務委員会		施設・環境委員会			学生委員会			教務委員会		大学院委員会		
委員長		前年度副委員長		豊福	部門長	加来	部門長指名		永淵	前年度副委員長		北原	前年度副委員長	鬼塚	前年度副委員長		中尾(久)
副委員長		総務委員会選出		東田	施設・環境委員長	永淵	委員長指名		川本	総務委員会選出		平田(秀)	総務委員会選出	藤本	総務委員会選出		
分野から選出する委員	看護学	教授	①(2年)	平田(伸)			教授	①(2年)	川本	教授	①(1年)	北原	教授 ①(1年)	平田(伸)	教授	③(※②2年・①1年)	
																(2年)	樗木
		教授 准教授 講師 助教	①(1年)	中尾(富)			教授 准教授 講師 助教	①(1年)	藤田	教授 准教授 講師 助教	①(2年)	宮園	教授 准教授 ①(2年) 講師	濱田		(2年)	長弘
																(1年)	中尾(久)
	医用量子線科学	教授	①(1年)	豊福			教授	①(1年)	東田	教授	①(1年)	平田(秀)	教授 ①(1年)	鬼塚	教授	②(※①2年・①1年)	
																(2年)	小坂
		教授 准教授 講師 助教	①(2年)	赤坂			教授 准教授 講師 助教	①(2年)	杜下	教授 准教授 講師 助教	①(2年)	有村	教授 准教授 ①(2年) 講師	有村		(1年)	豊福
	検査技術科学	教授	①(2年)	梅村			教授	①(1年)	永淵	教授	①(2年)	杉島	教授 ①(2年)	藤本	教授	②(※①2年・①1年)	
																(2年)	藤本
		教授 准教授 講師 助教	①(1年)	田代			教授 准教授 講師 助教	①(2年)	田宮	教授 准教授 講師 助教	①(1年)	長山	教授 准教授 ①(1年) 講師	田代		(1年)	岡村
職指定の委員	［指定される者］ （執行部） 部門長 副部門長 分野長 （部門内委員会委員長） （全学委員会委員等）	委員会が必要と認めた者		東田	部門長	加来	全学環境保全委員 ①(1年) 小坂			全学学生関係委員 →〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長			全学教務関係委員 →〔部門内〕教務委員会委員長		※樗木教授は、H21年12月1日～平成23年3月31日まで		
					副部門長	梅村											
						大喜											
					分野長	川本											
						佐々木											
						大澤											
					研究推進	東田											
					地域・国際連携	豊福											
					施設・環境	永淵											
					学生	北原											
					教務	鬼塚											
					大学院	中尾(久)											
					広報	松﨑											
	部門長指名委員												医学分館図書委員 ※医学分館運営委員 →〔部門内〕教務委員会委員から選出				

※H21年度は、豊福教授が委員長。東田教授が副委員長。
→H22年度の委員長・副委員長は総務委員会で選出。副委員長はH23年度委員長となる予定

○：選出人数
（　年）：任期

No.		13			14			15			16			17		
委員会名		入学試験実施委員会			広報委員会			放射線安全委員会			FD実行委員会			年報委員会		
委員長		前年度副委員長		東田	前年度副委員長			部門長		加来	教務委員会副委員長		藤本	副部門長		梅村
副委員長		委員長指名		大池	委員会選出		永淵	委員長指名		豊福	大学院委員会副委員長		松﨑	委員長指名		有村
分野から選出する委員	看護学	教授	①(2年)	大池	教授	①(1年)	長弘				教授	②(※①2年・①1年)		教授	②(※①2年・①1年)	
					准教授	②(※①2年・①1年)					准教授	(2年)	新小田	准教授	(2年)	平野
					講師	(2年)	藤野				講師			講師		
					助教	(1年)	長家				助教	(1年)	仲道	助教	(1年)	丸山
	医用量子線科学	教授	①(1年)	東田	教授	①(1年)	平田(秀)	教授	④(※②2年・②1年)		教授	②(※①2年・①1年)		教授	②(※①2年・①2年)	
					准教授	②(※①2年・①1年)		准教授	(2年)	小段	准教授	(2年)	小坂	准教授	(2年)	大喜
					講師	(2年)	小段	講師	(2年)	熊澤	講師			講師		
					助教	(1年)	熊澤	助教	(1年)	佐々木	助教	(1年)	藪内	助教	(1年)	有村
									(1年)	杜下						
	検査技術科学	教授	①(1年)	杉島	教授	①(2年)	永淵				教授	②(※①2年・①1年)		教授	②(※①2年・①2年)	
					准教授	②(※①2年・①1年)					准教授	(2年)	外園	准教授	(2年)	長山
					講師	(2年)	渡辺				講師			講師		
					助教	(1年)	小島				助教	(1年)	栗崎	助教	(1年)	水上
職指定の委員	［指定される者］ （執行部） 部門長 副部門長 分野長 （部門内委員会委員長） （全学委員会委員等）	部門長		加来				部門長		加来	副部門長		大喜	副部門長		梅村
		副部門長		大喜				放射線取扱主任者		豊福						
		分野長		川本				放射線取扱副主任者		赤坂						
				佐々木				医学研究院長		髙柳						
				大澤				事務部長		溝部						
部門長指名委員																

※広報委員会の教授の任期及び委員長・副委員長の就任については、別途「申合せ」による。

※H21年度は検査技術科学分野選出の教授が副委員長（H22年度委員長）。

長弘教授の任期は

※教務委員会副委員長と大学院委員会副委員長が毎年交互に委員長・副委員長に就任する。

※藪内准教授は、21年9月から。任期は22

【病院地区委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイソトープ総合センター病院地区学生実習運営委員会	鬼塚	2年	H20.4.1	H22.3.31	教授1名	
2	アイソトープ病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線安全委員会	豊福	2年	H20.4.1	H22.3.31	教授1名	
3	アイソトープ病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者	佐々木					
4	附属図書館医学分館図書委員会		2年	H17.4.1	H19.3.31	教授1名	委員会が開催されていない
5	附属図書館医学分館運営委員会	藤本	2年	H21.4.1	H23.3.31	教授2名	(H20年度まで) 〔部門内〕図書委員長等が兼ねる ★H21年度から〔部門内〕図書委員会は教務委員会と統合 →教務委員会委員が兼ねる
		平田(伸)		H20.4.1	H22.3.31		
6	医療系統合教育研究センター委員会	《センター長》 大池	2年	H21.4.1	H23.3.31	医・歯・薬・保の輪番で教授1名(副センター長から1名)	《副センター長》 〔部門内〕教務委員長 →実質的な任期は1年 ※センター長は各部局選出の副センター長4名から1名が輪番で選出(原則、副センター長経験者から) ★H21-H22年度は(保)からセンター長を選出
		~~《副センター長》~~ ★H21-22年度は「委員」 鬼塚		(H21.4.1	H22.3.31)	保健学部門教授から1名	
		中尾(久)		H20.4.1	H22.3.31	保健学部門の教員から1名	
7	病院地区協議会	加来	2年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門長	医学・歯学・薬学研究院長、生体防御医学研究所長、病院長、保健学部門長、医系学部等事務部長、病院事務部長、医療系統合教育研究センター長及び(オブザーバーとして)副病院長(歯科部門)
		大池		H21.4.1	H22.3.31	医療系統合教育研究センター長	
8	病院地区学生感染対策委員会	平田(秀)	2年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門の学府の学生の教育または感染対策に責任を持つ組織に所属する教員のうちから選出された者1名	(H20年度まで) 保健学部門保健委員長(学生委員会副委員長)が兼ねる →実質的な任期は1年 ★H21年度から部門内保健委員会は廃止 →学生委員会副委員長が兼ねる →実質的な任期は1年
9	九州大学医の倫理に関する協議会(仮称)ワーキンググループ	中尾(久)					H20年度までの設置
10	九州大学医の倫理に関する協議会	加来				保健学部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
11	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会	中尾(久)	2年	H20.4.1	H22.3.31	保健学部門教授1名	
		豊福		H21.4.1	H23.3.31	保健学部門講師以上1名	
12	病院~~医系地区部局~~臨床試験倫理審査委員会(21.5.1名称変更)	藤本	2年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門教授1名	
13	ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会	平田(伸)	2年	H20.4.1	H22.3.31	保健学部門教授1名	※H21年度病院キャンパスの審査委員会の整理統合により、 医学研究院委員会 →病院地区委員会
14	九州大学病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会	樗木	2年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門教授1名	※H21年度病院キャンパスの審査委員会の整理統合により、 医学研究院委員会 →病院地区委員会
15	総合研究棟管理運営委員会	大喜、平田(伸)	2年	H20.4.1	H22.3.31	教授が望ましい	大喜…教授1名 松崎…部局管理運用部分の許可を受けている者
16	職員等用駐車区域運営委員会幹事会	杉島、長山	-			教授1名、准教授以下1名	
17	病院地区特許・技術移転相談室協力教員	永淵					
18	病院サイクロトロン生産放射性元素の医学的利用に関する委員会	佐々木・鬼塚					
19	病院放射性医薬品委員会	佐々木					
20	病院地区教育情報委員会	大喜、中尾(久)、鬼塚				教育を担当する副部門長 学府教育を担当する委員会の委員長 学部教育を担当する委員会の委員長 全学情報環境利用委員会委員	
21	病院先進医療適応評価委員会	金岡	2年		H23.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	

【医学研究院委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	医学研究院情報公開委員会	加来 《必要に応じて選出》		H20.4.1	H22.3.31	(官職指定) 教育研究評議委員	年5回程度 ★内規を改正予定(→保健学部門を含む委員会とする)
2	遺伝子治療臨床研究審査専門委員会	樗木	2年	H21.4.1	H23.3.31		※H21年度病院キャンパスの審査委員会の整理統合により、九州大学病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会に改組(→病院地区委員会)
3	ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会	平田(伸)	2年	H20.4.1	H22.3.31		
4	医学研究院再任審査委員会	岡村	当該年度の審査終了まで(1年)	H21.4.1	H23.3.31	医学研究院(保健学部門を除く)及び医学部附属病院以外の九州大学教員及び当該再任審査に関する専門的知識を有する学外有識者のうち選出された者	年1～2回;10分／回程度
5	医学研究院教員業績評価専門部会	※加来(部門長) 佐々木	-				※H20年度:医学研究院の評価基準(暫定案)を策定
6	基礎研究B棟管理運営委員会委員	※加来(部門長) 永淵 川本				※部門長 当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる →実質的な任期は2年	基礎B等の改修及び改修後の利用計画等について
7	ハラスメント等防止対策委員会	《必要に応じて選出》					★H21年度から保健学部門を含む委員会とする予定
8	大学院運営のあり方ワーキンググループ	(保健学部門) 東田・平田(伸)・佐々木・藤本、加来、梅村、川本				(保健学部門) 委員長、分野長、その他WGが必要と認めた者	H20年度保健学部門会議で承認され、発足

【病院地区倫理審査委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会	中尾(久)	2年	H20.4.1	H22.3.31	保健学部門講師以上2名	※中尾(久)教授はH21.3.18保健学部門会議承認 豊福教授はH21.4.1保健学部門会議付議予定
		豊福		H21.4.1	H23.3.31		
2	医系地区部局臨床試験倫理審査委員会	藤本	2年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門教授1名	※H21.4.1保健学部門会議付議予定
3	医系地区部局ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会		2年	H21.4.1	H23.3.31	※保健学部門教員の選出なし	医学研究院基礎系の教授1名、医学研究院臨床系の講師以上2名、歯学研究院の教授1名、薬学研究院の講師以上1名、生医研の講師以上1名
4	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会	平田(伸)	2年	H20.4.1	H22.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	
5	病院治験倫理審査委員会		2年	H21.4.1	H23.3.31	※保健学部門教員の選出なし	医学研究院・病院所属教授2名、診療科所属講師以上4名、検査部長または副検査部長1名
6	病院遺伝子治療臨床研究倫理委員会	樗木	2年	H21.4.1	H23.3.31	保健学部門教授1名	

※倫理審査委員会規程等が5月1日付で制定・廃止されたことにより、各委員の任期の始期が21年5月1日となった

【全学委員会】

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会評議員	加来	2年	H20.4.1	H22.3.31	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第5号（各学部の教授1名）	医学部の教育研究評議員は、H18年度以降保健学科長が兼ねている。
		大池	1年	（H21.4.1	H22.3.31）	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第7号（センター群協議会Ⅰ議長）	※医療系統合教育研究センター長がセンター群協議会Ⅰ議長に就任 ★評議員はセンター群協議会Ⅰ議長とセンター群協議会Ⅱ議長の輪番制（1年） →実質的な任期は1年
2	センター群協議会Ⅰ	大池	2年	H21.4.1	H23.3.31）	九州大学センター群協議会規則第3条第1項第2号（医療系統合教育研究センター長）	留学生センター 医療系統合教育研究センター 高等教育開発推進センター の施設の長及び当該施設所属または担当の教授
4	学生委員会	北原	無	（H20.4.1	H22.3.31）	オブザーバーとして参加のため任期無	〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は2年
		平田(秀)		（H21.4.1	H23.3.31）		
5	学生生活・修学相談室相談員	北原	2年	（H20.4.1	H22.3.31）		〔部門内〕学生委員会委員長・副委員長
		平田(秀)		（H21.4.1	H23.3.31）		
6	入学試験審議会	加来	無				保健学科長がオブザーバーとして参加
7	入学試験実施委員会	東田	無	（H21.4.1	H22.3.31）	オブザーバーとして参加のため任期無	〔部門内〕入学試験実施委員会委員長 →実質的な任期は1年
8	入学者選抜研究委員会	田宮	2年	H20.5.1	H22.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号　（総長が必要と認めた者若干人）	統計のできる准教授クラス
9	教務委員会	鬼塚 中尾	2年	（H21.4.1 （H21.5.1	H22.3.31） H22.3.31）	第6条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長、大学院委員会委員長 →実質的な任期は1年
10	全学教育運営会議	鬼塚	2年	（H21.4.1	H22.3.31）	その他運営会議が必要と認めた者	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
11	全学教育に関する情報処理改訂ワーキンググループ	大喜					H20.6.5全学教育運営会議承認に基づき設置
12	全学教育専門委員会	鬼塚	2年	（H21.4.1	H22.3.31）	第3条(7)委員長が必要と認めた教授又は准教授	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年 ※開催頻度：低

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
13	全学教育企画委員会（基礎科学科目）企画部会［情報処理科目］	大喜					
14	全学FD委員会	鬼塚	2年	(H21.4.1	H22.3.31)	第9条(9)委員長が必要と認めた教授	〔部門内〕教務委員会委員長 →実質的な任期は1年
15	高等教育開発推進センター委員会	長弘	2年	H20.4.1	H22.3.31	各学部から教授1名 ※医学として	
16	情報通信基盤連絡会議	大喜	無			教員1名	元岡キャンパス等におけるネットワーク(KITE)整備のための連絡会議が名称変更
17	伊都キャンパスネットワーク	大喜					
18	総合情報伝達システム委員会	豊福					
19	情報化推進企画小委員会	豊福					
20	環境保全管理委員会	小坂	2年	(H21.4.1	H22.3.31) ★H21年度委員の任期は、H20-H22年度委員の残任期間（→1年）	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	特殊廃液処理施設運営委員会委員を兼ねる(H18年度から) ★〔部門内〕施設・環境委員会構成員となる
21	特殊廃液処理施設運営委員会	小坂	2年	(H21.4.1	H22.3.31) ★H21年度委員の任期は、H20-H22年度委員の残任期間（→1年）	処理施設を利用する部局(医学部保健学科)の教授及び准教授のうちから1名	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から)
22	放射線障害防止委員会	豊福	無				放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
23	21世紀プログラム専門委員会	小坂	2年	H20.4.1	H22.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として	旧21世紀プログラム実施委員会　看医検分野の輪番
24	全学情報環境利用委員会	大喜 (医学研究院として選出の委員：恒吉教授の後任) 任期は残任期間	2年	H20.4.1 H21.4.1	H22.3.31	各研究院の教授及び准教授のうちから選ばれた者各1人	(旧：情報基盤センター学内共同利用運営委員会)
25	研究用微生物安全管理委員会	藤本	2年	H21.4.1	H23.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠(短大)
26	動物実験委員会	永淵	2年	H20.4.1	H22.3.31	その他委員会が必要と認めた者(第3条第1項第7号)	※医学とは別枠
27	ハラスメント等対策委員会	(医・薬)	2年	H20.4.1	H22.3.31	医歯薬生病の教授、助教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪番 ※H20.10.1～セクシャルハラスメント対策委員会から改称
28	ハラスメント等相談員	平野 (薬)	2年	(H21.4.1 ★H21年度相談員の任期は、H20-H22年度相談員の残任期間（→1年） H20.4.1	H22.3.31) H22.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪番 ※H20.10.1～改称

番号	委員会名	現委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
29	九州大学男女共同参画室員	平田(伸)				総長指名	
30	全学教育広報誌「radix」編集委員会	(歯)→H21.4.1～(薬)				病院地区学部(医・歯・薬)の教員1名	医・歯・薬の輪番 H19年度:小坂教授
31	百周年記念事業専門委員会	岡村	2年	H20.1.1	H21.12.31	各研究院及び医学部から選出された教授各1名	※医学部保健学科からの選出・個人募金部会兼務
32	キャンパス計画専門委員	(歯)	2年	H20.11.09	H22.11.08	医歯生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・保の輪番
33	キャンパス計画及び施設管理委員会	(歯)	2年	H20.4.1	H22.3.31	医歯薬生の教授から1名	医・歯・薬・生・保の輪番 新キャンパス計画専門委員会委員で構成
34	G30実施調整会議委員	豊福				保健学専攻の教授又は准教授から1名	概ね国際交流専門委員会委員で構成

平成21年度
年　　報

作成日　：　平成25年9月

発行者　：　保健学部門　平成25年度　年報委員会
佐々木雅之・梅村創・中尾久子・小野ミツ
前野有佳里・高橋昭彦・外園栄作・平田秀紀

発　行　：　九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL：092-642-6683